

Stella シリーズカメラ

共通機能操作マニュアル



弊社製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問やご要望がありましたら、お気軽にディーラーにご連絡ください。

本マニュアルは、ネットワーク上でネットワークカメラを使用・管理する方法について説明しています。ネットワーキングの経験は、製品を使用する際に役立ちます。操作の前に本マニュアルを注意深く読み、いつでも参照できるように保管してください。

本マニュアルには技術的に不正確な箇所や印刷エラーが含まれている場合があります、その内容は予告なく変更されることがあります。更新は本マニュアルの新バージョンに追加されます。本マニュアルに記載されている製品や手順は改善または更新されます。

著作権表示

本マニュアルは、翻訳や変換などいかなる形式や手段によっても複製してはなりません。

カナダ産業省 ICES-003 準拠：

本クラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

安全上の指示

これらの指示は、危険や財産の損失を回避してユーザーが製品を正しく使用できるようにするものです。注意事項は、「警告」と「注意」に分けられます。

警告：これらの警告のいずれかを無視した場合、重傷または死亡に至る可能性があります。

注意：これらの注意のいずれかを無視した場合、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告： 怪我や死亡を防止するためにこれらの安全対策に従ってください。	注意： 怪我や物的損害を防止するために、これらの安全対策に従ってください。



警告

- ◆ 設置は有資格のサービス担当者が行い、現地の電気安全規制に厳密に準拠する必要があります。
- ◆ 火災や感電の危険を防止するため、設置する前に製品を雨や湿気から遠ざけてください。
- ◆ ヒートシンク、電源レギュレータ、プロセッサなど、高温になる可能性がある部品には触れないでください。
- ◆ 電源：DC 12VまたはPoE
- ◆ プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- ◆ 本製品を壁や天井に取り付ける場合は、装置をしっかりと固定してください。
- ◆ 製品が正しく動作しない場合は、販売店にご連絡ください。絶対に自分でカメラを分解しようとししないでください。



注意

- ◆ カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- ◆ 極端に高温または低温の場所、ほこりの多い場所、または湿気の多い場所で装置を保管または設置したり、強い電磁波にさらしたりしないでください。
- ◆ メーカーが推奨するコンポーネントおよび部品のみを使用してください。
- ◆ カメラを落としたりカメラに衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 熱の蓄積を防止するため、カメラ周辺の空気の循環を妨げないでください。
- ◆ レーザービームがイメージセンサーを損傷する可能性があります。イメージセンサーの表面をレーザービーム装置が使用されている場所に暴露しないでください。
- ◆ ブロワーを使ってレンズカバーのほこりを取り除いてください。
- ◆ 柔らかい乾いた布でカメラの表面を拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭き取ることができます。その後、乾拭きしてください。
- ◆ アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性のものは表面の仕上げを傷めるので使用しないでください。
- ◆ 将来輸送する際に輸送用として利用できるように、パッケージを保管してください。

EU適合宣言



2012/19/EU (WEEE (電機電子廃棄物) 指令) : この記号の付いた製品は、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分することはできません。適切にリサイクルするために、同等の新しい機器を購入したとき、この製品を最寄りのサプライヤーに返却するか、指定された収集場所で処分してください。詳細については www.recyclethis.info を参照してください。



2006/66/EC (電池指令) : この製品には、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分できない電池が含まれています。特定の電池情報については、製品資料を参照してください。バッテリーにはこの記号が付いています。記号には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルするために、電池をサプライヤーまたは指定された収集場所に返却してください。詳細については www.recyclethis.info を参照してください。

※参考画像が英語表記になっておりますが、機能項目は日本語表記と同様です。

内容

第 I 章	製品説明	1
1.1	製品概要	1
1.2	主な特徴	1
1.3	ハードウェアの概要	2
	180 度パノラマネットワークカメラ	2
1.4	アラームインターフェースの接続方法	4
1.5	防水コネクタの接続方法	4
1.6	システム要件	5
第 II 章	ネットワーク接続	6
2.1	カメラを LAN に接続する	6
2.1.1	カメラを PC に直接接続する	6
2.1.2	スイッチまたはルーター経由で接続する	6
2.2	動的 IP 接続	6
第 III 章	ネットワークカメラへアクセスする	8
3.1	IP アドレスを割り当てる	8
3.1.1	Tools を使用して IP アドレスを割り当てる	8
3.1.2	ブラウザ経由で IP アドレスを割り当てる	13
3.2	Web ブラウザからアクセスする	15
3.2.1	IE ブラウザ経由でアクセスする	15
3.2.2	プラグインフリーでアクセスする	17
第 IV 章	システム運用ガイド	23
4.1	ライブビデオ	23
4.2	再生	26
4.3	ローカル設定	27
4.4	基本設定	28
4.4.1	ビデオ	28
4.4.2	画像	30
4.4.3	音声	39
4.4.4	ネットワーク	41
4.4.5	日付と時刻	52
4.5	詳細設定	53
4.5.1	ストレージ	53
4.5.2	セキュリティ	57
4.5.3	SIP	61
4.5.4	ログ	64
4.6	イベント	66
4.6.1	基本イベント	66
4.6.2	VCA イベント	74
4.6.3	People Counting (人数カウント)	90
4.6.4	ヒートマップ (オプション)	96
4.6.5	顔検知 (オプション)	101
4.7	LPR (オプション)	104
4.7.1	ライブビデオ	104

4.7.2	設定.....	105
4.7.3	スマート検索.....	116
4.8	システム	118
4.9	メンテナンス.....	119
4.9.1	システムメンテナンス.....	119
4.9.2	自動再起動.....	121

第 I 章 製品説明

1.1 製品概要

費用対効果が高く信頼性の高い、一貫した範囲のネットワークカメラは、組み込み Linux オペレーティングシステムに基づき、ネットワークカメラはローカルまたはリモートで簡単かつ確実にアクセスおよび管理ができます。また、高性能 DSP ビデオ処理モジュールを内蔵したこのカメラは、低消費電力と高安定性を誇ります。最新の H. 265/H. 264/MJPEG ビデオ圧縮アルゴリズムと、業界をリードする HD デュアルストリームテクノロジーをサポートし、限られたネットワークリソースで最高レベルのビデオ画質を実現します。完全に機能的なこのカメラは、柔軟で包括的なアラームリンケージメカニズム、デイ/ナイト自動スイッチ、プライバシーマスキングなどをサポートします。

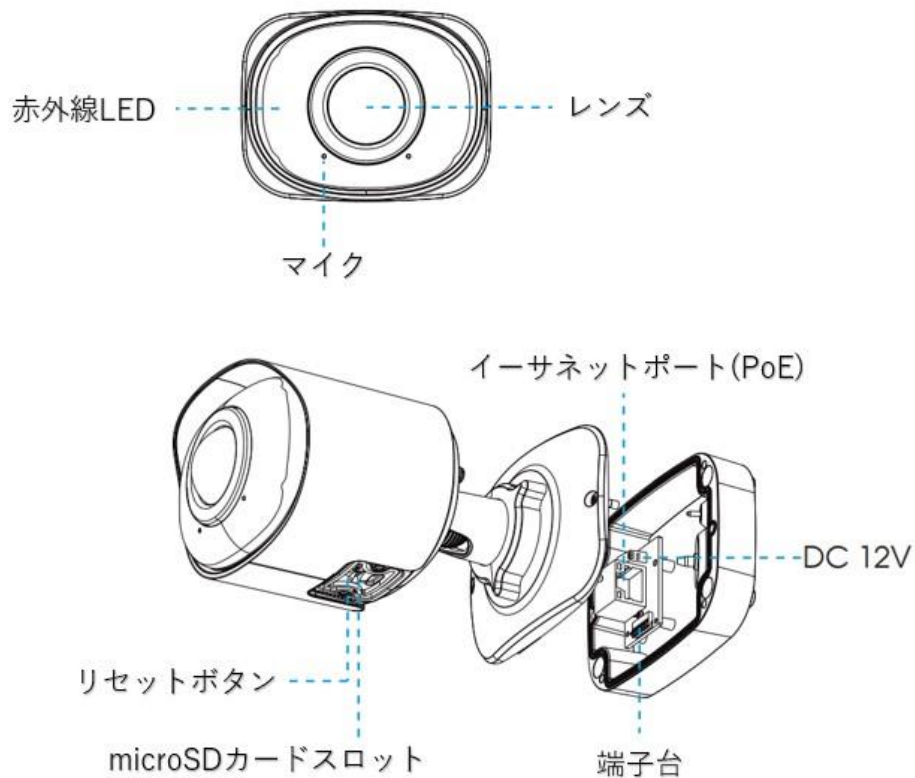
実際のアプリケーションでは、ネットワークカメラは LAN 内で独立して動作するか、強力な安全監視システムを形成するためにネットワーク化されます。金融、教育、工業生産、民間防衛、ヘルスケアなどの分野で安全のために幅広く利用されています。

1.2 主な特徴

- ✧ 信頼性の高い Linux OS に基づいています。
- ✧ H. 265/H. 264/MJPEG ビデオ圧縮機能
- ✧ プラグインフリーモードをサポート
- ✧ スマートストリームをサポート
- ✧ ONVIF プロファイル G&Q&S&T をサポート
- ✧ カメラのセキュリティに関する質問の有効化と設定をサポート (V4x. 7. 0. 69 以降)
- ✧ メインストリーム/セカンドストリーム/サードストリームをサポート
- ✧ PoE 電源をサポート
- ✧ オートスイッチ付き ICR フィルター、True Day & Night
- ✧ 内蔵 WEB サーバー、IE/Firefox/Chrome/Safari ブラウザをサポート
- ✧ IPC を容易に管理するための UPnP プロトコル
- ✧ 動作検知、プライバシーマスキング、ネットワーク障害検知、ROI (対象エリア)
- ✧ ヒートマップ機能に対応
- ✧ FTP アップロード、SMTP アップロード、SD カード記録および SIP 電話
- ✧ G. 711/AAC 音声圧縮機能
- ✧ アラーム I/O (プロブレットカメラとボックスカメラには内蔵、ドームカメラにはオプション)
- ✧ 内蔵マイク
- ✧ リアルタイムビデオ信号増幅
- ✧ 柔軟な管理のため 3 つの特権レベルのユーザー
- ✧ microSD/SDHC/SDXC カードのローカルストレージサポート、エッジストレージの拡張
- ✧ ローカル PAL/NTSC 信号出力

1.3 ハードウェアの概要

180 度パノラミニバレットネットワークカメラ



注意：

- 1) PoE は電源に使用できます。
- 2) リセットボタン：電源を入れた状態でリセットボタンを 5 秒間押すと、デバイスは工場出荷時のデフォルトに復元されます。

・ 180 度パノラマミニドームネットワークカメラ

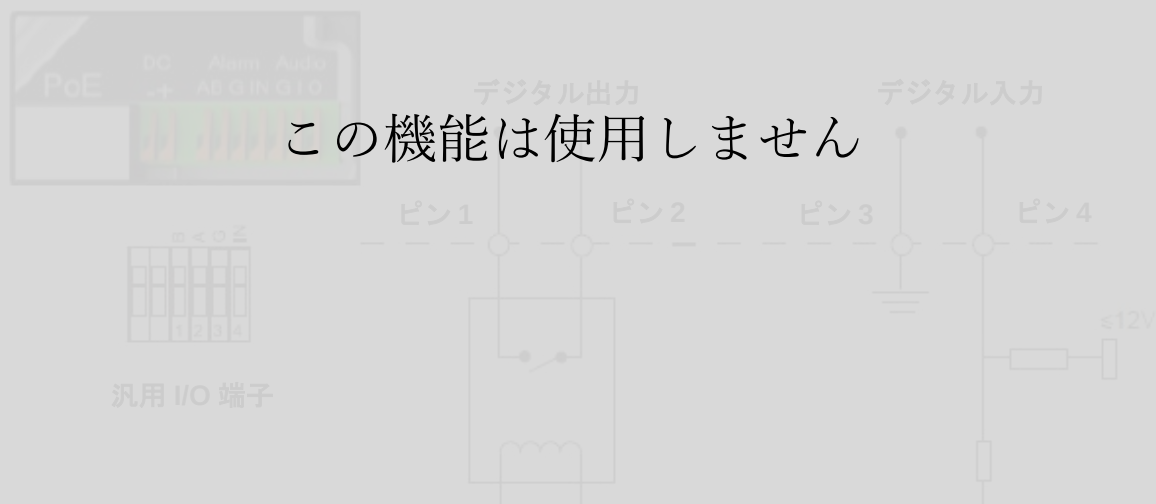


注意

- 1) PoE は電源に使用できます。
- 2) リセットボタン: [リセット] ボタンを 5 秒間押すと、デバイスは工場出荷時のデフォルトに復元されます。

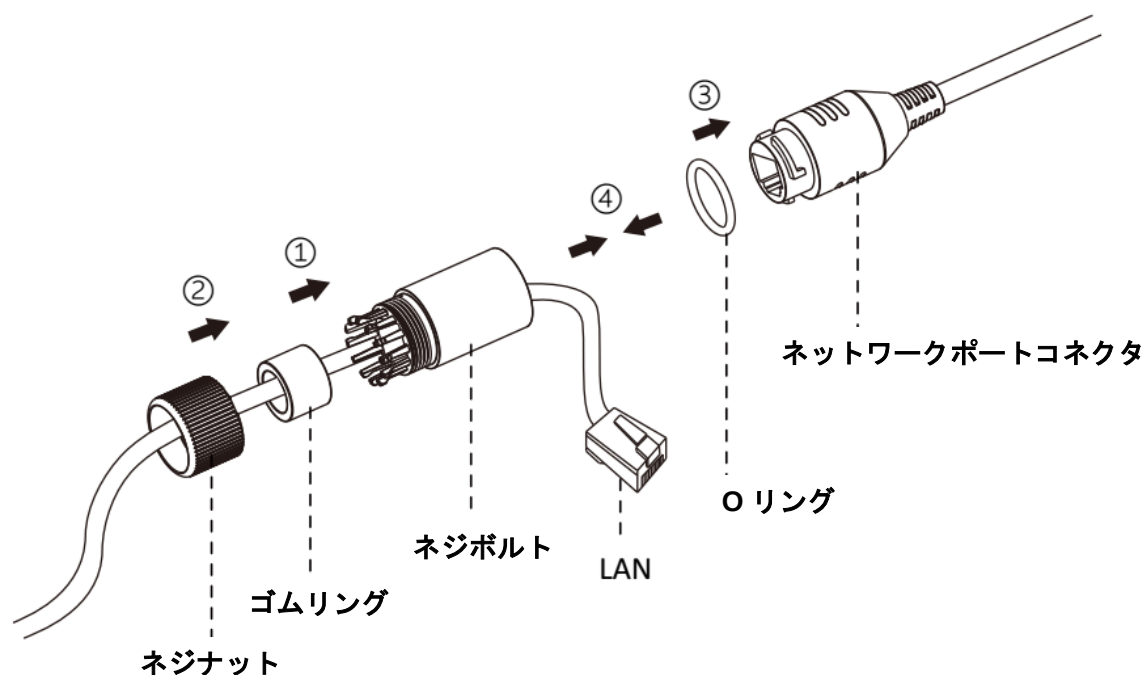
1.4 アラームインターフェースの接続方法

カメラの外部インターフェースは以下の通りです。外部警報装置を設置するには、図を参照してください。



ピン 1 : アラーム出力 NC/NO 24V DC 1A
ピン 2 : アラーム出力 NC/NO 24V DC 1A
ピン 3 : アラーム入力 NC/NO ≤12V
ピン 4 : アラーム入力 NC/NO ≤12V

1.5 防水コネクタの接続方法



ステップ 1 : ネットワークケーブルをネジナット、ゴムリング、ネジボルトに通します。
ステップ 2 : ゴムリングをネジボルトに挿入します。
ステップ 3 : ネジナットをネジボルトに接続します。

ステップ4 : 0 リングをネットワークポートコネクタにはめます。

ステップ5 : RJ45 をネットワークポートコネクタに接続し、ネジボルトとコネクタを締めます。

1.6 システム要件

オペレーティングシステム : Windows 7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU : 1.66GHz 以上

RAM : 2G 以上

グラフィックメモリ : 256MB 以上

インターネットプロトコル : TCP/IP (IPv4/IPv6)

Web ブラウザ : Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Mozilla Firefox、Google Chrome、および Safari

第 II 章 ネットワーク接続

2.1 カメラを LAN に接続する

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが最も一般的な接続方法です。カメラには、その LAN と互換性のある IP アドレスを割り当てる必要があります。

2.1.1 カメラを PC に直接接続する

この方法では、カメラに接続されているコンピュータだけがカメラを見ることができます。カメラには、コンピュータと互換性のある IP アドレスが割り当てられている必要があります。詳細は次の図のとおりです。



図 2-1-1 カメラを直接 PC に接続

2.1.2 スイッチまたはルーター経由で接続する

次の図を参照して、ネットワークカメラをスイッチまたはルーター経由で LAN に接続してください。



図 2-1-2 スイッチまたはルーター経由で接続

2.2 動的 IP 接続

◆ ルーター経由でネットワークカメラを接続する

ステップ 1: ネットワークカメラをルーターに接続します。

ステップ 2: カメラで、LAN IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを割り当てます。

ステップ 3: ルーターで、ポート転送を設定して下さい（例えば 80、8000 および 554 ポート）。ポート転送の手順はルーターによって異なりますので、ポート転送の方法については、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

- ステップ4: ドメイン名のプロバイダーから提供されたドメイン名を使用してください。
- ステップ5: ルーターの設定インターフェースで DDNS 設定を行います。
- ステップ6: ドメイン名でカメラにアクセスしてください。

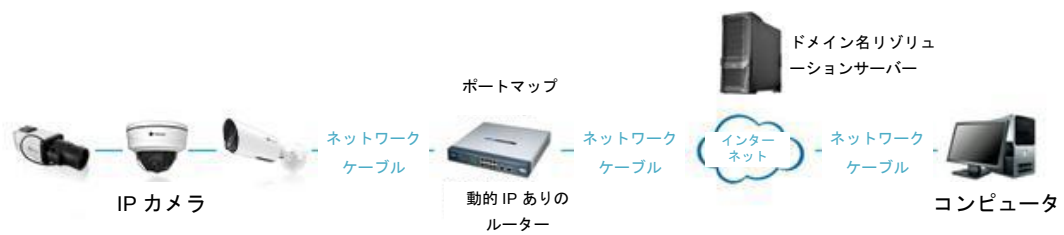


図 2-2 動的 IP を使用したルーター経由でネットワークカメラを接続

第 III 章 ネットワークカメラへアクセスする

アクセスを可能にするには、カメラに IP アドレスを割り当てる必要があります。

3.1 IP アドレスを割り当てる

アクセスを可能にするには、ネットワークカメラに IP アドレスを割り当てる必要があります。ネットワークカメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.1.108 です。デフォルトのユーザー名は「admin」、パスワードは初回起動時に決める必要があります。

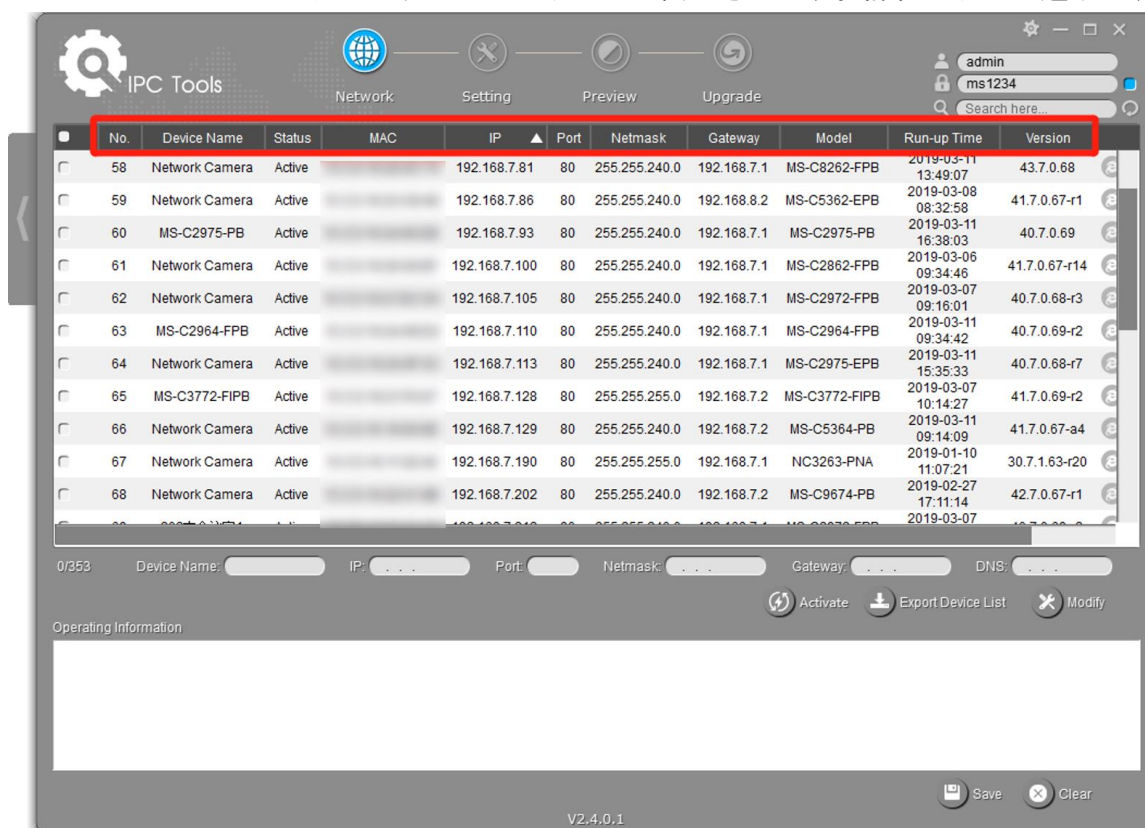
Smart Tools またはブラウザを介してカメラの IP アドレスが変更できます。カメラをコンピュータと同じ LAN に接続してください。

3.1.1 Tools を使用して IP アドレスを割り当てる

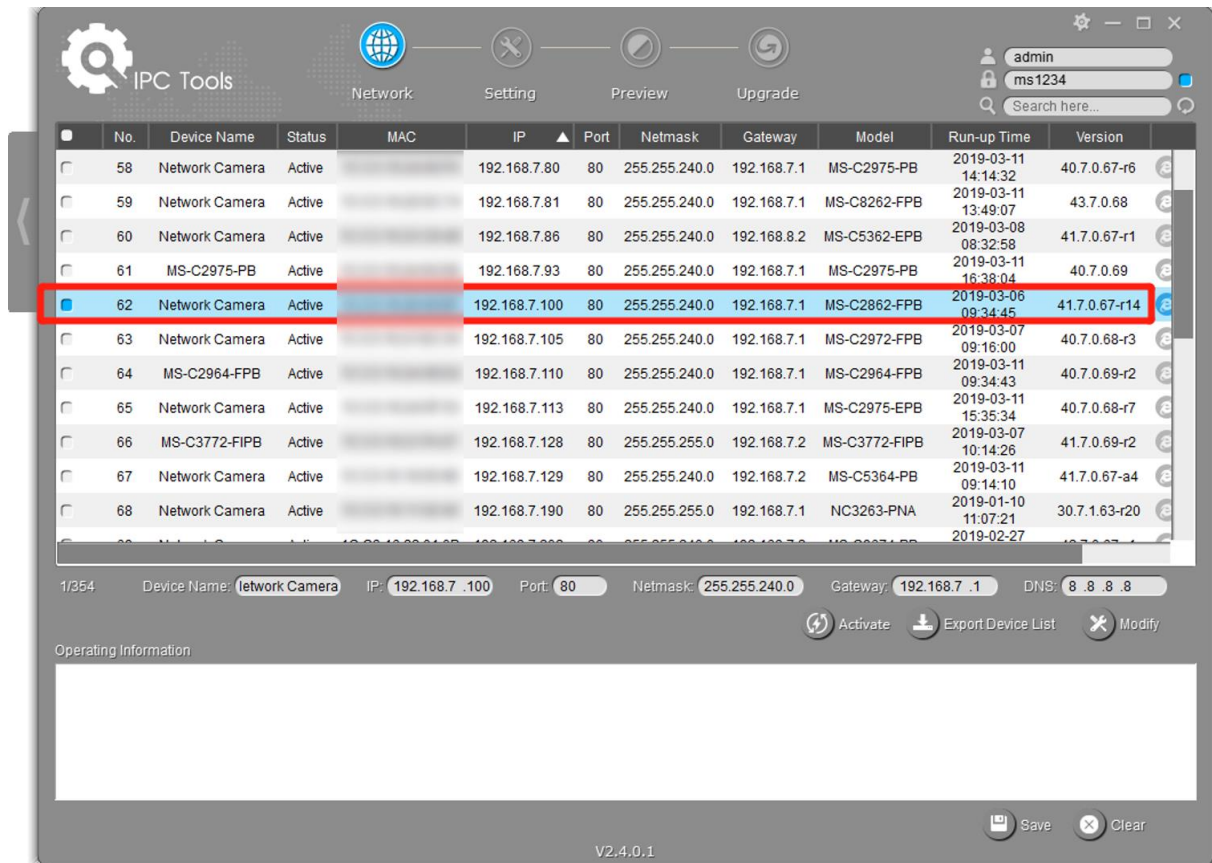
Tools は、LAN に接続された複数のオンラインネットワークカメラを自動的に検知し、IP アドレスを設定し、ファームウェアアップグレードを管理することができるソフトウェアツールです。複数のカメラに IP アドレスを割り当てるときにお勧めします。

ステップ 1: Tools をインストールします (ソフトウェアは弊社の Web サイトからダウンロードできます)。

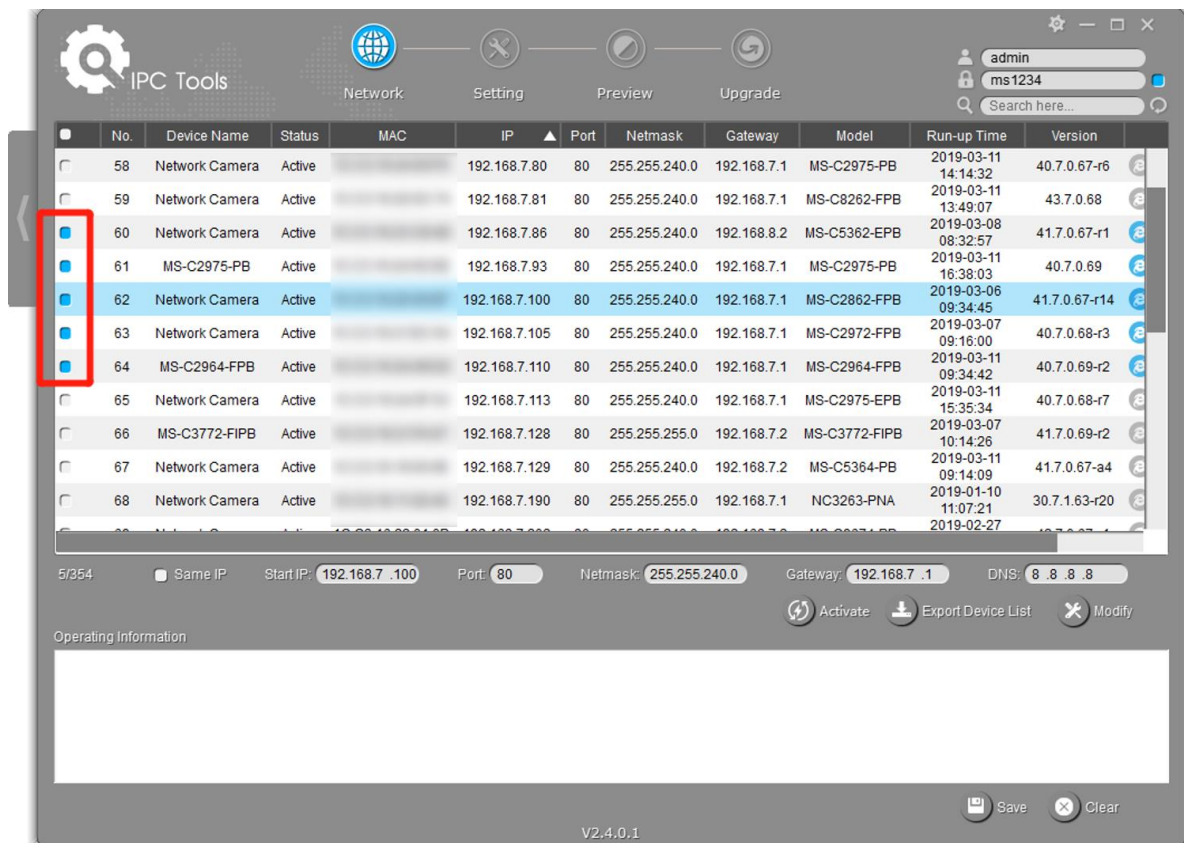
ステップ 2: Tools を起動し、IPC Tools ページをクリックしてから、IP アドレス、MAC アドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスクを含むデバイス情報を入力すれば、すべてのネットワークカメラのゲートウェイが表示されます。詳細は以下の通りです。



ステップ3: MAC アドレスに従って1台または複数のカメラを選択してください。

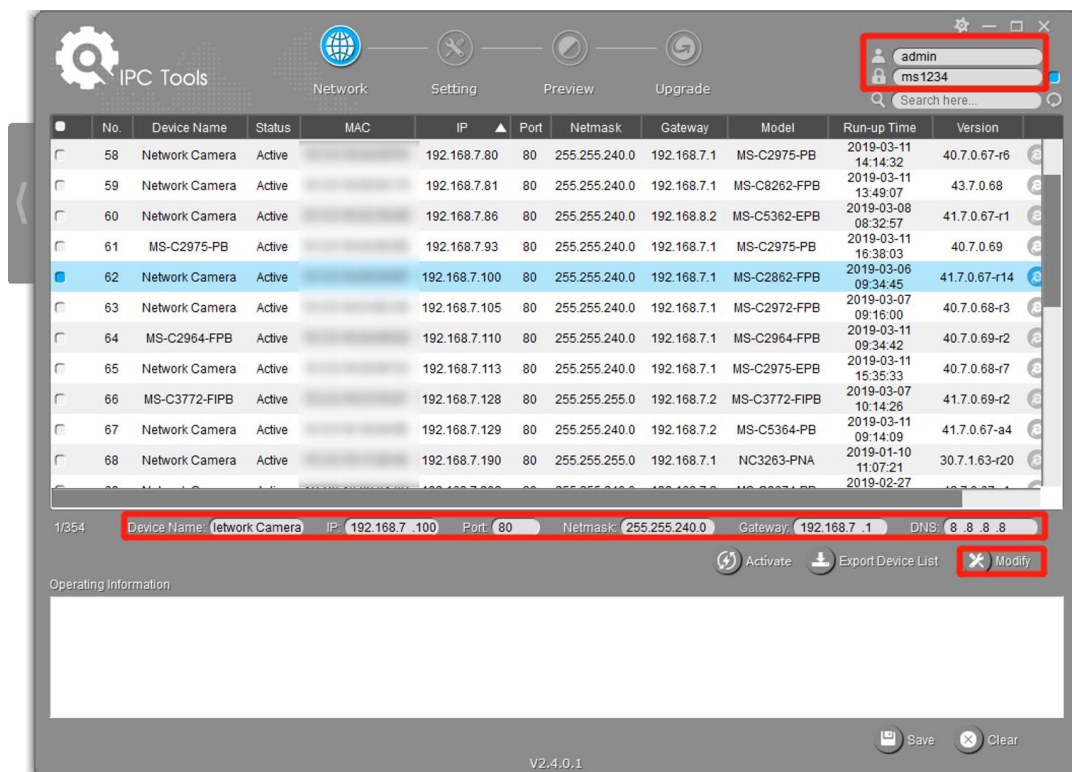


1台のカメラを選択



複数のカメラを選択

ステップ4： 選択したカメラのステータスバーに「Active」と表示されている場合は、ユーザー名とパスワードが直接入力できます。IP アドレスまたは他のネットワーク値を変更してから「Modify」ボタンをクリックします。

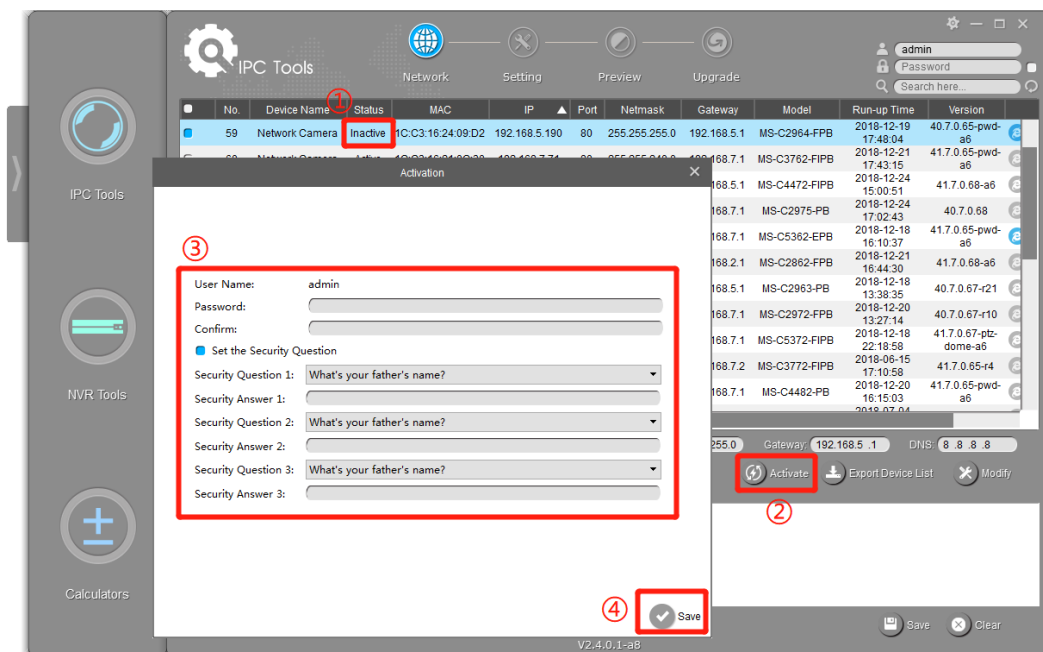


初めて使用する際に、選択したカメラのステータスバーに「Inactive」と表示されている場合は、

 **Activate** をクリックしてパスワードを設定します。パスワードを忘れた場合のために、カメラを有効にするときにセキュリティの質問を設定することもできます（3つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます）。「Save」をクリックすると、有効化が成功したことが示されます。

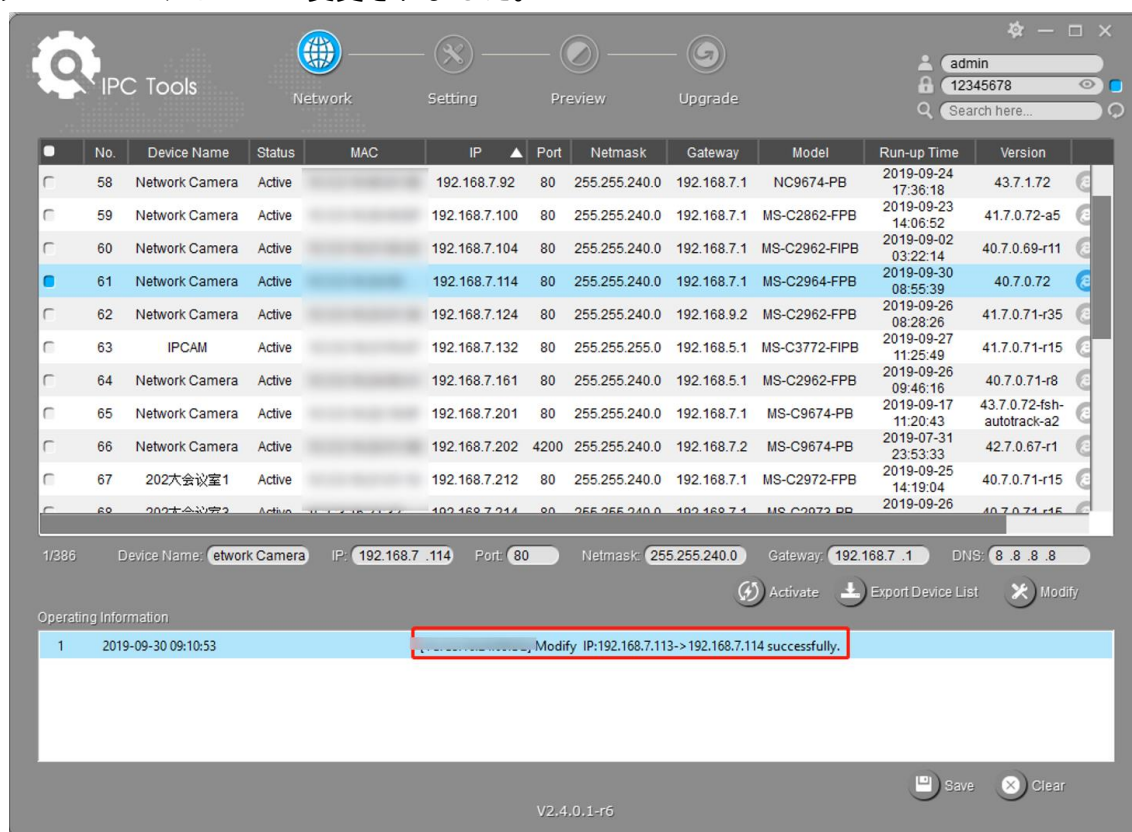
注意

- (1) パスワードは8文字から32文字の長さで、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- (2) カメラを有効にするには Smart Tools を V2.4.0.1 以上にアップグレードする必要があります。

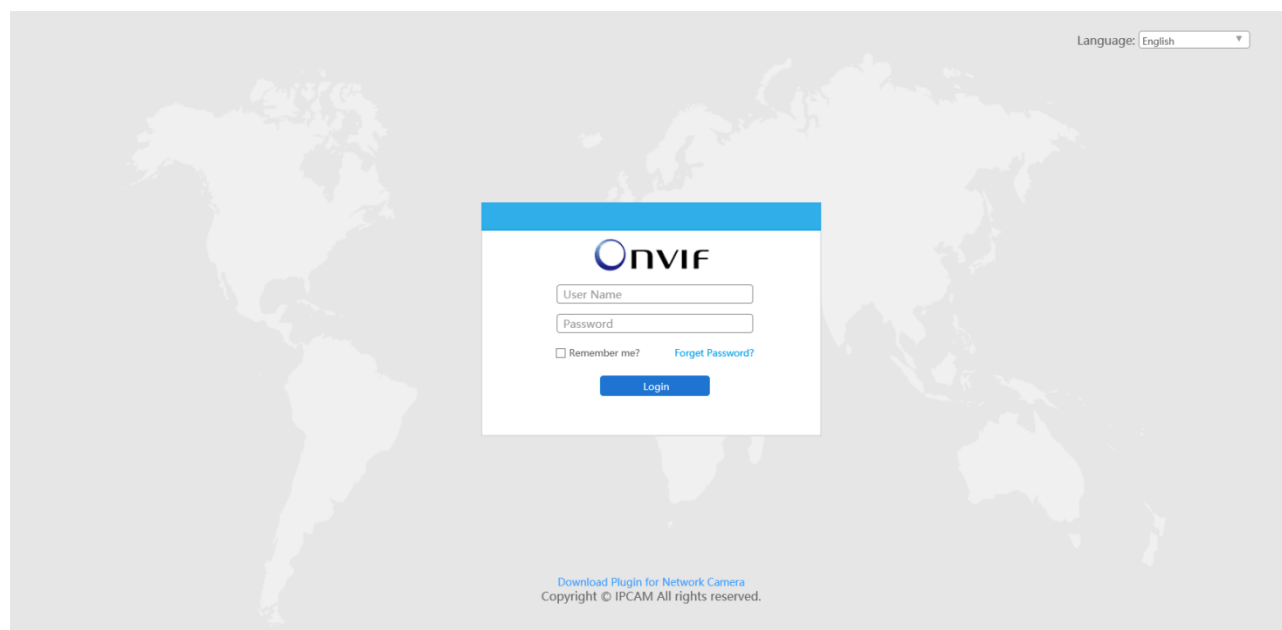


有効にした後は、IP アドレスまたは他のネットワーク値が変更できます。変更後は「Modify」ボタンをクリックしてください。

ステップ5: IP アドレスが変更されました。



ステップ6: 選択したカメラをダブルクリックすると、Web ブラウザを経由して直接カメラにアクセスできます。Internet Explorer のウィンドウがポップアップします。



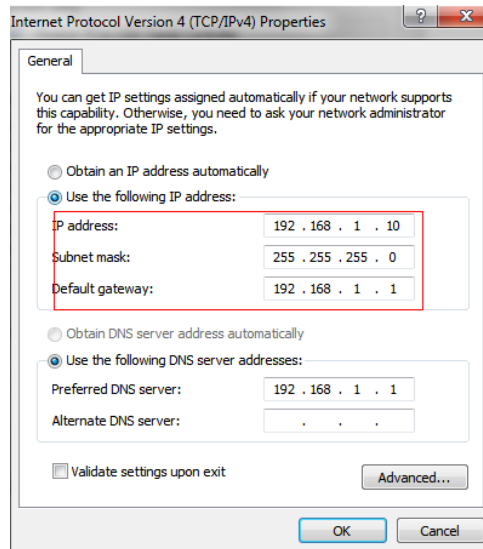
Smart Tools 使用方法の詳細については、Smart Tools のユーザーマニュアルを参照してください。

3.1.2 ブラウザ経由で IP アドレスを割り当てる

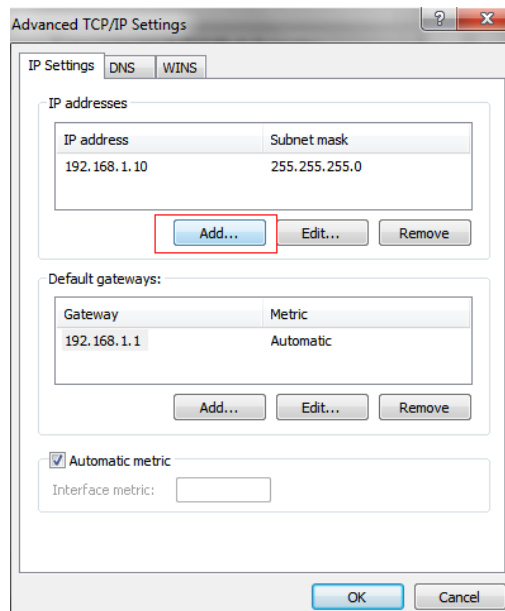
コンピュータのネットワークセグメントとカメラのネットワークセグメントが異なる場合は、手順に従って IP アドレスを変更してください。

ステップ 1: コンピュータの IP アドレスを 192.168.1.0 セグメントに変更します。以下の 2 つの方法があります。

- a. スタート→コントロールパネル→ネットワークとインターネット接続→ネットワーク接続→ローカルエリア接続の順にクリックした後、ダブルクリックします（図 3-1-8 を参照）。

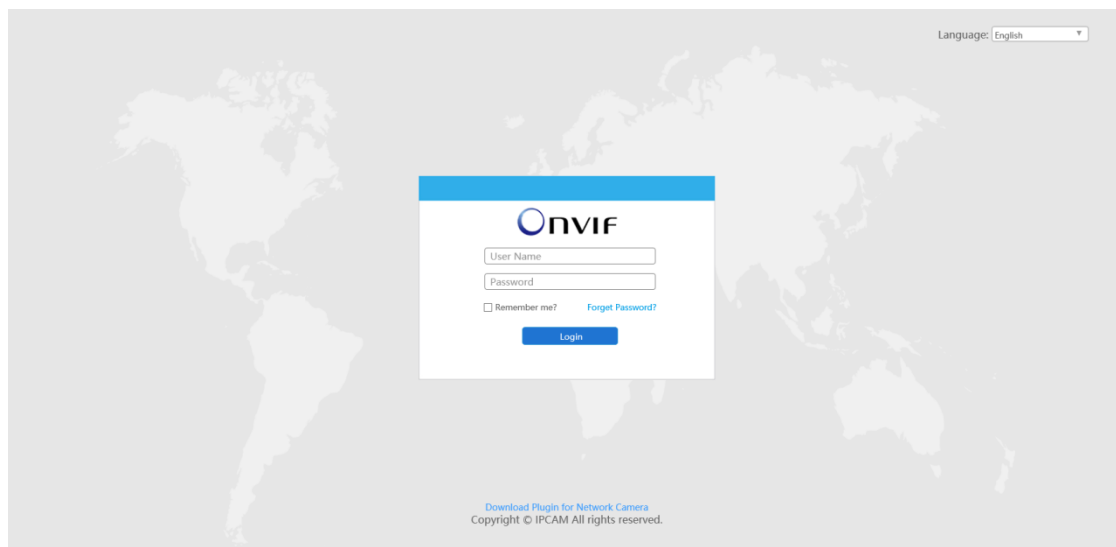


- b. 「Advanced」をクリックし、「IP settings」→「IP address」→「Add」の順にクリックします（図 3-1-9 参照）。ポップアップウィンドウで、ネットワークカメラと同じセグメントにある IP アドレスを入力します（例: 192.168.1.10、ただしこの IP アドレスは既存のネットワーク上の IP アドレスと競合してはならないことに注意してください）。



ステップ 2: ブラウザを起動します。アドレスバーに、カメラのデフォルトの IP アドレスを入力します。
http://192.168.1.108

ステップ 3: カメラのファームウェアのバージョンが V4x 7.1.69 未満の場合は、ログインページが直接表示されます。ログインページが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名: **admin**

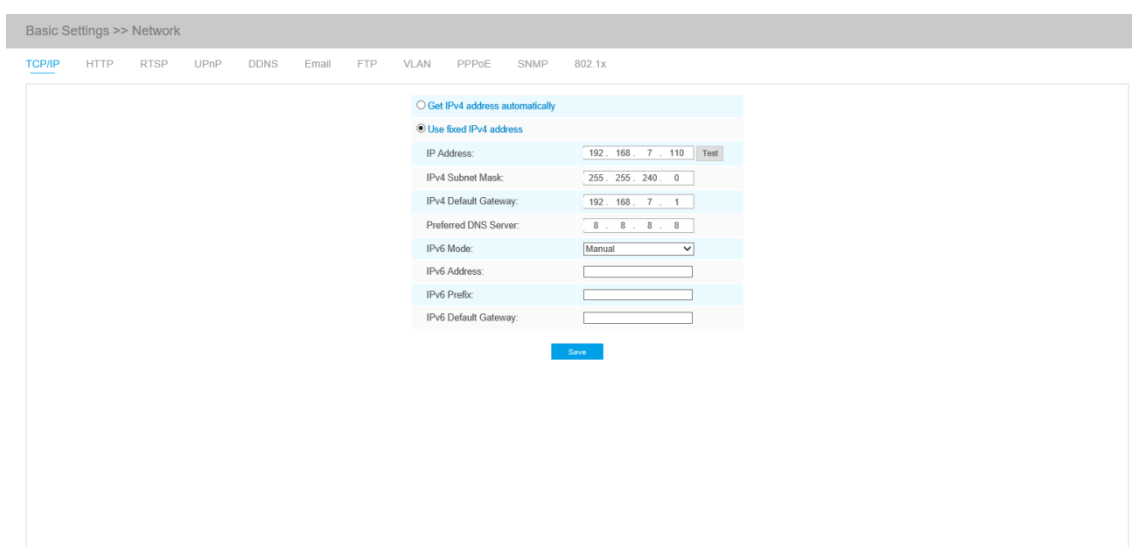


初めて使うとき、最初にパスワードを設定する必要があります。起動後、デバイスに3つのセキュリティの質問を設定することもできます。その後、ユーザー名 (admin) とカスタムパスワードを使用してデバイスにログインできます。

注意:

- (1) パスワードは8文字から32文字の長さで、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- (2) あらかじめセキュリティの質問を設定している場合は、パスワードを忘れたときに、ログインページの「forget password」をクリックして、3つの質問に答えてパスワードをリセットできます。

ステップ 4: ログイン後、「Configuration」→「Basic Settings」→「Network」→「TCP / IP」を選択してください。
ネットワーク設定ページが表示されます (次の図のとおり)。



ステップ 5: IP アドレスまたは他のネットワーク値を変更してください。次に「Save」ボタンをクリックしてください。

ステップ 6: これでデフォルト IP アドレスの変更が完了しました。

3.2 Web ブラウザからアクセスする

このカメラは、最も標準的なオペレーティングシステムとブラウザで使用できます。推奨ブラウザは Internet Explorer、Firefox、Chrome、Safari です。

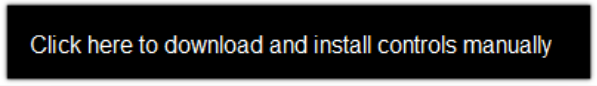
3.2.1 IE ブラウザ経由でアクセスする

ブラウザを使ってカメラにアクセスする前に、まず MsActiveX をインストールする必要があります。以下のステップを参照してください。

ステップ 1: IE ブラウザを起動してカメラの IP アドレスを入力してください。

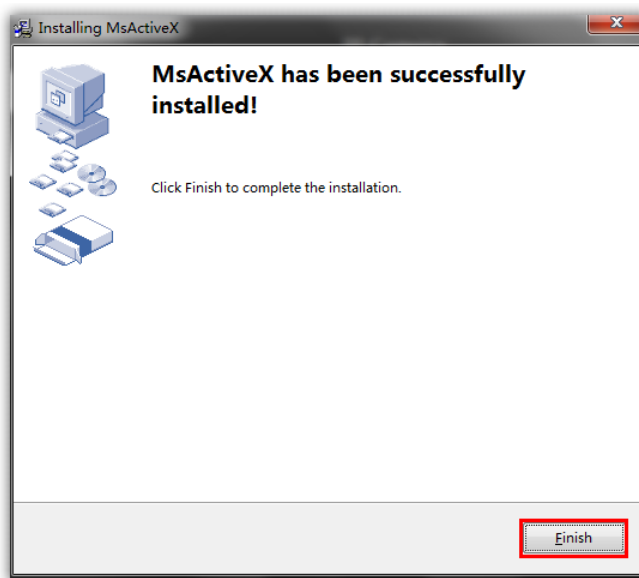
ステップ 2: ユーザー名とパスワードを入力して「Login」をクリックしてください。

ステップ 3: デバイスに初めてログインすると、ブラウザはコントロールのインストールを促します。図 3-2-1 のとおり「Click here to download and install controls manually」をクリックしてください。



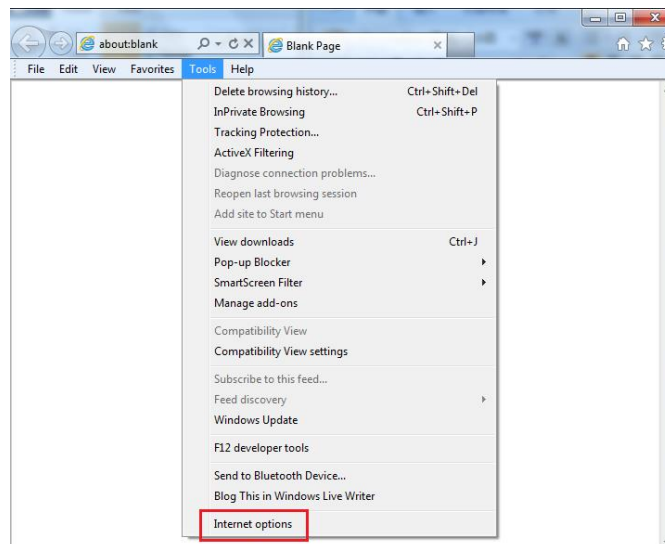
注意: コントロールのインストール中は、ブラウザを閉じてください。

ステップ 4: プロンプトに従ってコントロールをインストールします。完了すると、図 3-2-2 のとおりウィンドウが表示されます。「Finish」をクリックしてブラウザを更新すると、ビデオが表示されます。



IE9 以上のブラウザを使用している場合は、カメラの Web リンクを信頼済みサイトとして追加することをお勧めします。以下の説明を参照してください。

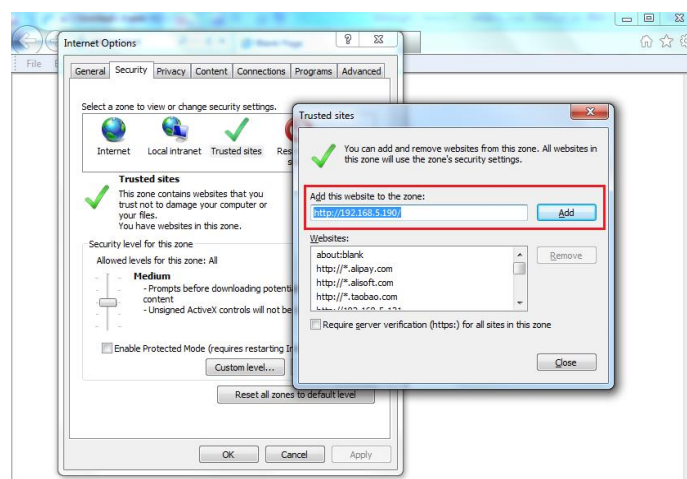
ステップ 1: IE 9 以降のバージョンのブラウザを起動し、「Tools」→「Internet Options」を選択します。



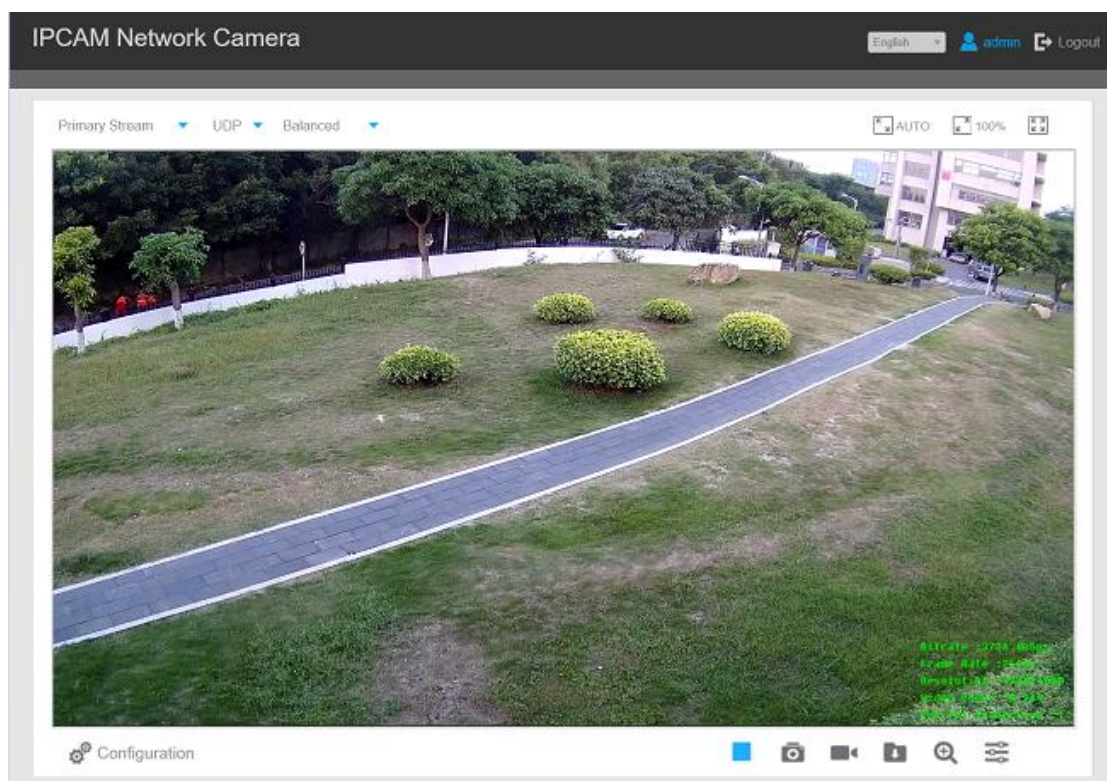
ステップ2: 「Security」、次に「Trusted」を選択します。



ステップ3: カメラの IP アドレスを空欄に入力し、「Add」をクリックしてください。



ステップ4： IP アドレスを入力して下さい。ネットワークカメラの Web GUI に正常にログオンすると、ユーザーは次のようにライブビデオを見ることができます。



3.2.2 プラグインフリーでアクセスする

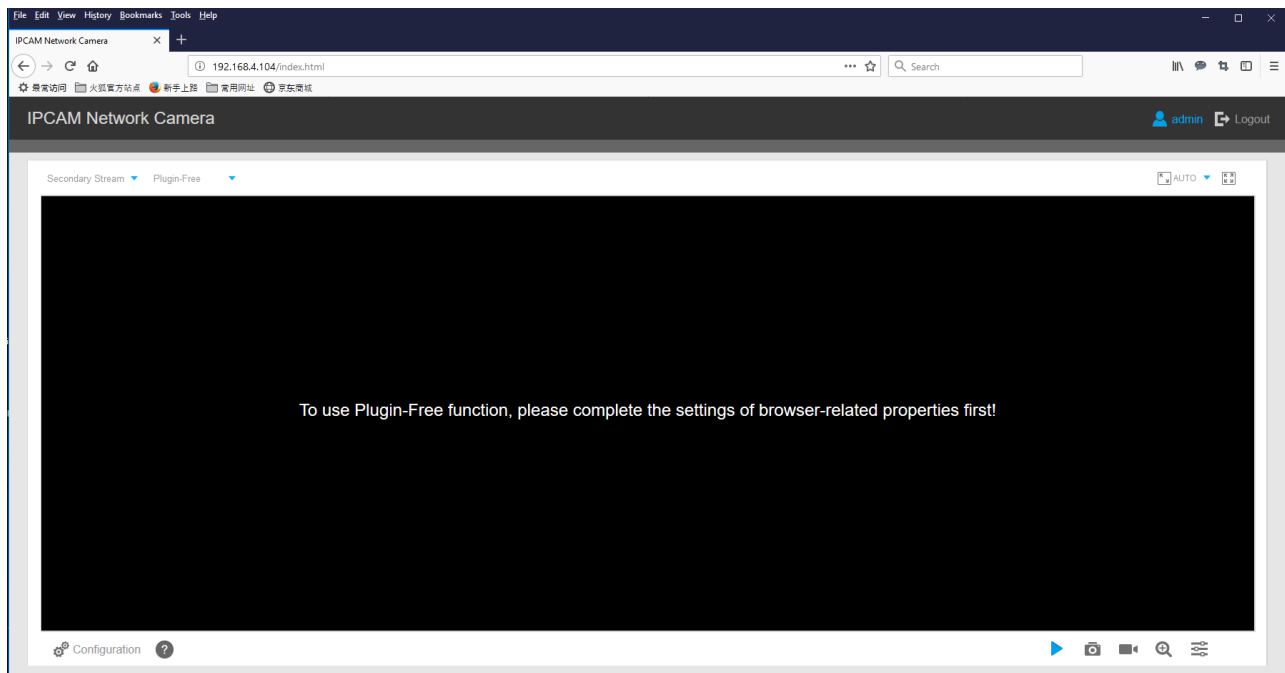
プラグインフリーモードにより、プラグインなしでブラウザでビデオをプレビューすることができます。現在のプラグインフリーモードは、Windows システム、MAC システムおよび Android システム用の Firefox & Google Chrome & Safari & Edge ブラウザでサポートされています。H.265 と H.264 の両方のビデオコーデックはカメラのプラグインフリーモードでサポートされており、デフォルトではセカンダリストリームを再生します。

注意：

- 1) プラグインフリーモードを使用するには、カメラを V4x.7.1.70 以上にアップグレードする必要があります。
- 2) V4x.7.0.70～V4x.7.0.73 のバージョンでは、Chrome ブラウザーを使用する場合、ブラウザーのバージョンが V69 以降のみプラグインフリーモードがサポートされます。Chrome ブラウザーを設定するには、以下の手順に従ってください。
- 3) V4x.7.0.70～V4x.7.0.73 のバージョンでは、Firefox ブラウザーを使用する場合、ブラウザーのバージョンが V65 以降のみプラグインフリーモードがサポートされます。Firefox ブラウザーを設定するには、以下の手順に従ってください。
- 4) V4x.7.0.74 のバージョン以降では、ブラウザーの設定不要でプラグインフリーモードが利用でき、Firefox、Google Chrome、Safari、Edge でサポートされています（ブラウザーを最新バージョンにアップグレードしてください）。

(1) Chrome ブラウザを使用している場合

ステップ 1： Chrome ブラウザからカメラにアクセスします。



ステップ 2： ウェブページの左したの “?” をクリックして、下記のプラグインフリーモードの説明を参照できます。

Plugin-Free Mode instruction:

Step 1:

Input the URL in address bar:

<chrome://flags/#enable-webassembly-threads>

Step 2:

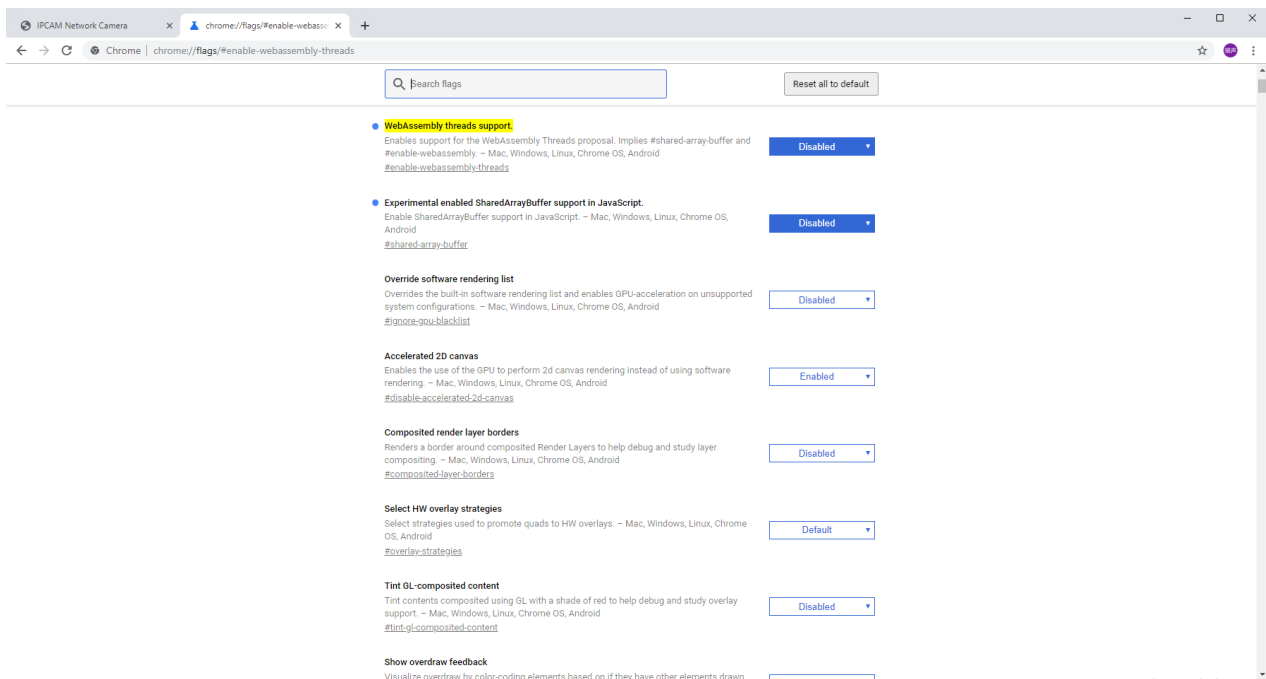
Set 2 flags to True status and reboot browser:

--WebAssembly threads support.

--Experimental enabled SharedArrayBuffer support in JavaScript.

ステップ 3： アドレスバーに URL を入力：<chrome://flags/#enable-webassembly-threads>

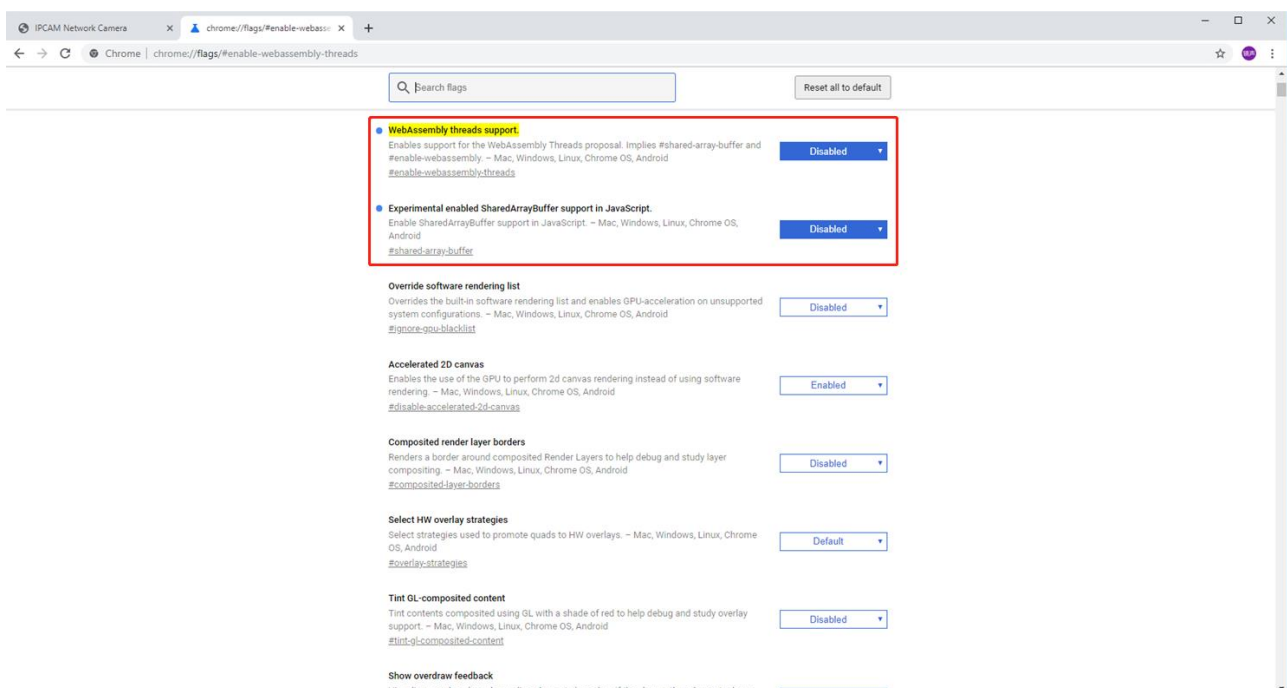
下記の Web ページに入ります。



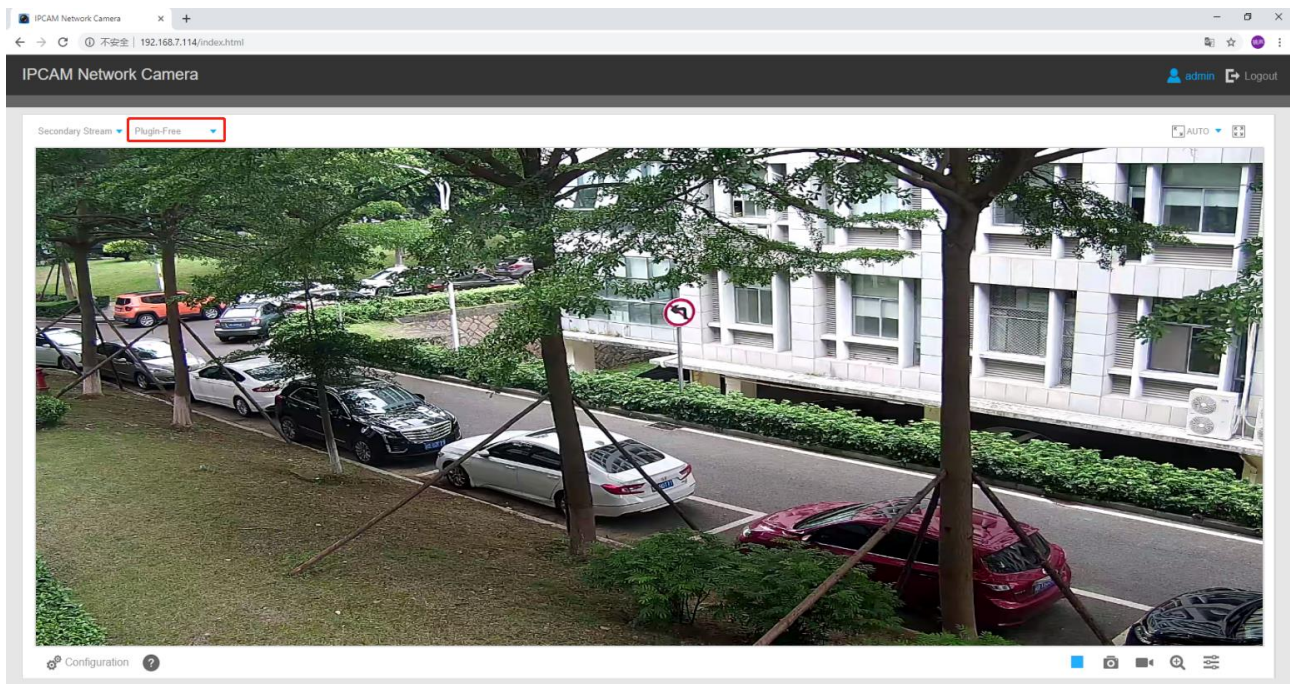
ステップ 4 : 2つのフラグを True ステータスに設定してブラウザを再起動します :

--” WebAssembly threads” をサポートします。

--JavaScript での” Experimental enabled SharedArrayBuffer” をサポートします。



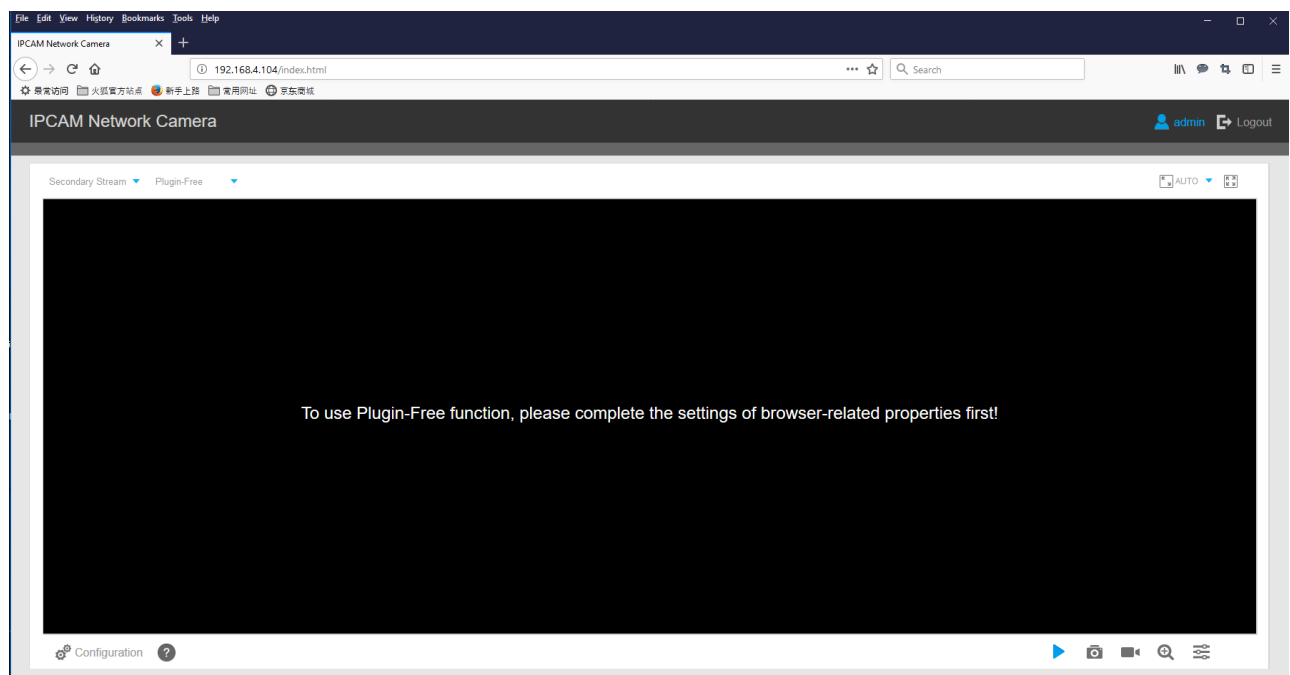
ステップ 5 : ライブビューインターフェイスでプラグインフリーモードを選択することで、プラグインなしでビデオをプレビューできます。



ライブビューや他の設定インターフェースでビデオをプレビューすることをサポートします。

(2) Firefox ブラウザを使用している場合

ステップ1: Firefox ブラウザからカメラにアクセスする。



ステップ2: ウェブページの左したの “?” をクリックして、下記のプラグインフリーモードの説明を参照できます。

Plugin-Free Mode instruction:

Step 1:

Input the URL in address bar:

<about:config>

And accept the requiring.

Step 2:

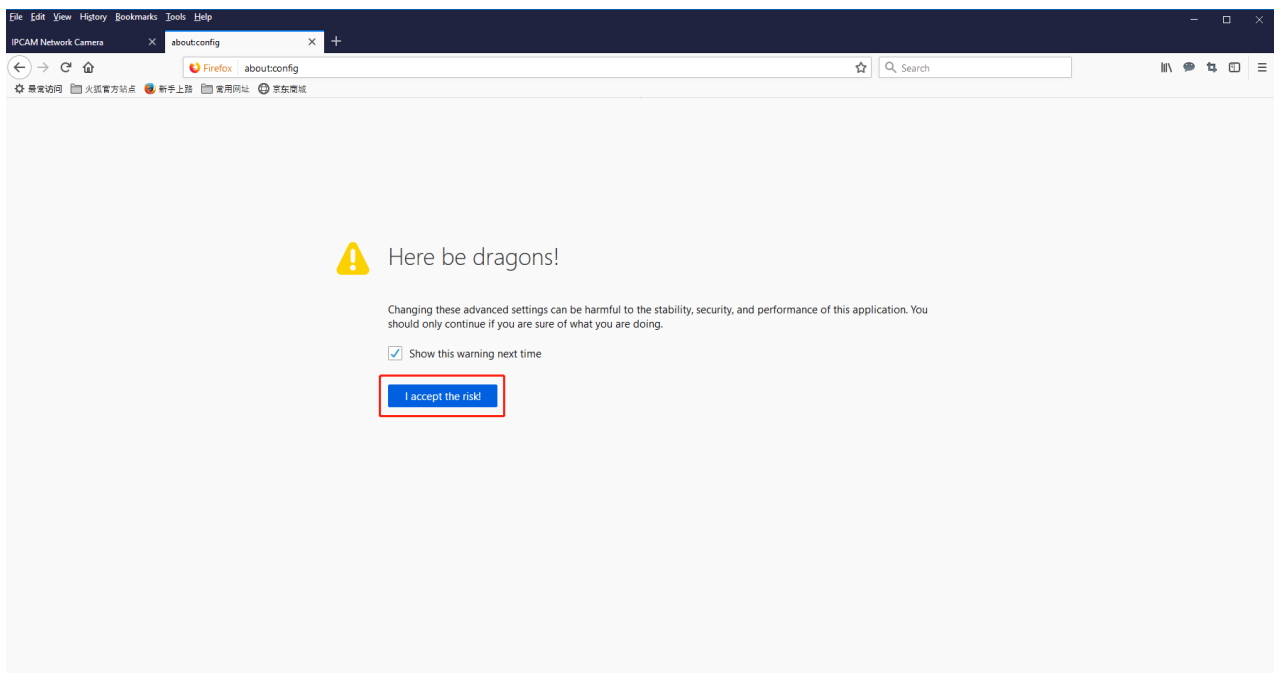
Set 2 flags to Enabled status and reboot browser:

--javascript.options.wasm.

--javascript.options.shared_memory.

ステップ3：アドレスバーに URL を入力：<about:config>

そして要求を受け入れます。



下記の Web ページに入ります。

Preference Name	Status	Type	Value
accessibility.AOM.enabled	default	boolean	false
accessibility.accesskeycausesactivation	default	boolean	true
accessibility.blockautorefresh	default	boolean	false
accessibility.browsewithcaret	default	boolean	false
accessibility.browsewithcaret_shortcut.enabled	default	boolean	true
accessibility.delay_plugin_time	default	integer	10000
accessibility.delay_plugins	default	boolean	false
accessibility.force_disabled	default	integer	0
accessibility.handler.enabled	default	boolean	true
accessibility.indicator.enabled	default	boolean	false
accessibility.lastLoadDate	modified	integer	1558337001
accessibility.loadedInLastSession	modified	boolean	true
accessibility.monoaudio.enable	default	boolean	false
accessibility.mouse_focuses_formcontrol	default	boolean	false
accessibility.support.url	default	string	https://support.mozilla.org/%LOCALE%/kb/accessibility-services
accessibility.tabfocus	default	integer	7
accessibility.tabfocus_applies_to_xul	default	boolean	false
accessibility.typeaheadfind	default	boolean	false
accessibility.typeaheadfind.autostart	default	boolean	true
accessibility.typeaheadfind.casesensitive	default	integer	0
accessibility.typeaheadfind.enablesound	default	boolean	true
accessibility.typeaheadfind.flashBar	default	integer	1
accessibility.typeaheadfind.linksonly	default	boolean	false
accessibility.typeaheadfind.manual	default	boolean	true
accessibility.typeaheadfind.matcherCountLimit	default	integer	1000
accessibility.typeaheadfind.prefillwithselection	default	boolean	true
accessibility.typeaheadfind.soundURL	default	string	beep
accessibility.typeaheadfind.startlinksonly	default	boolean	false
accessibility.typeaheadfind.timeout	default	integer	5000
accessibility.usetexttospeech	default	string	
accessibility.warn_on_browsewithcaret	default	boolean	true

ステップ 4 : 2 つのフラグを True ステータスに設定してブラウザを再起動します :

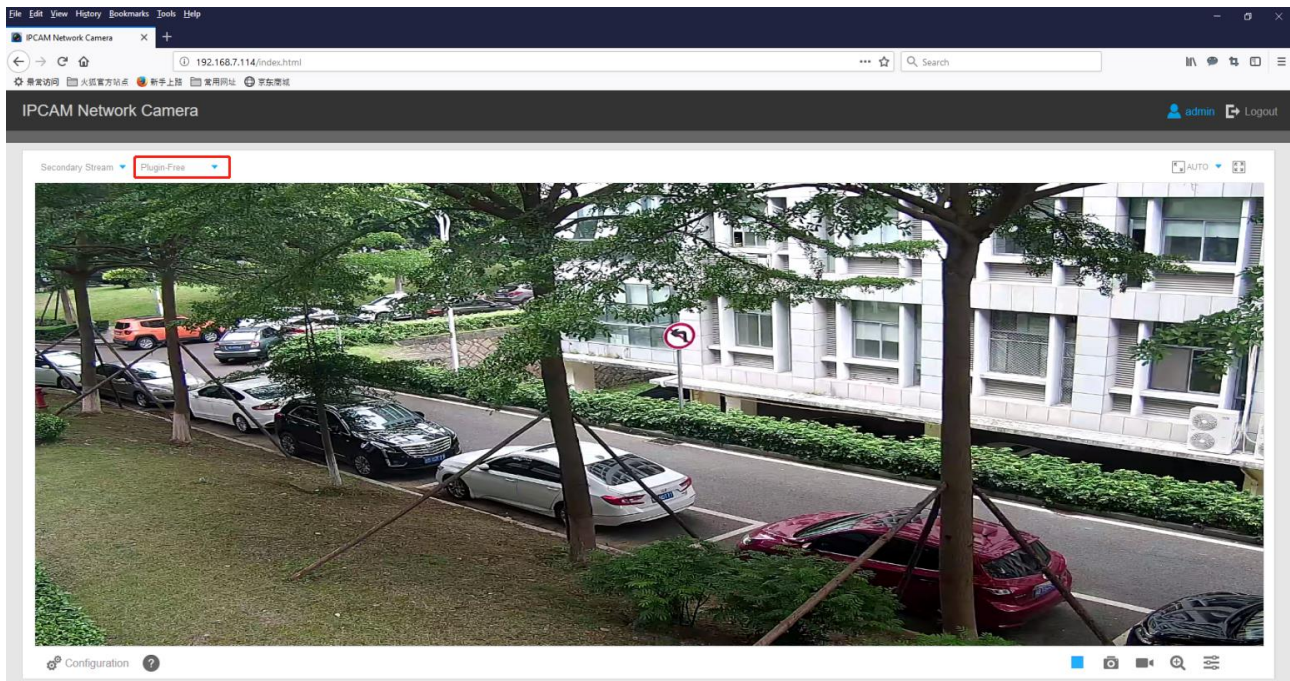
`--javascript.options.wasm.`

`--javascript.options.shared_memory.`

Preference Name	Status	Type	Value
javascript.options.wasm	default	boolean	true
javascript.options.wasm_baselinejit	default	boolean	true
javascript.options.wasm Ionjit	default	boolean	true
javascript.options.wasm_verbose	default	boolean	false

Preference Name	Status	Type	Value
javascript.options.shared_memory	modified	boolean	true

ステップ 5 : プラグインフリーモードを選択すると、プラグインなしでビデオをプレビューできます。



ライブビュー、再生や他の設定インターフェースなどでビデオをプレビューすることをサポートします。

第 IV 章 システム運用ガイド

4.1 ライブビデオ

ネットワークカメラの Web GUI に正常にログインすると、ユーザーは次のようにライブビデオを見ることができます。

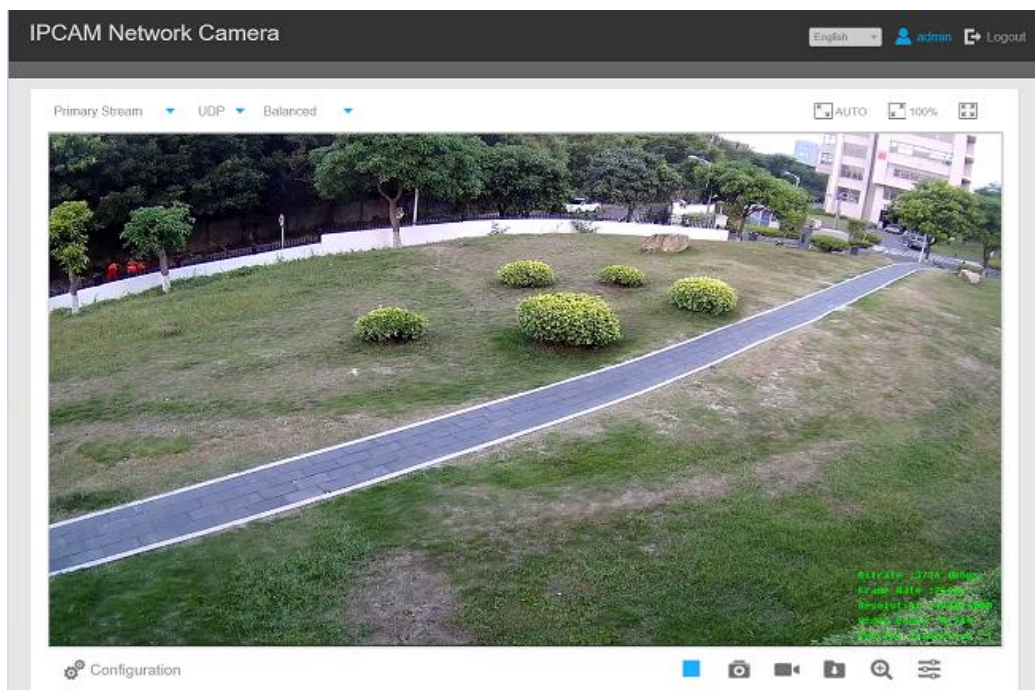
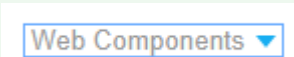
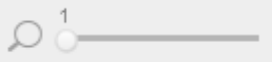
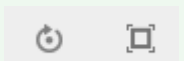


表 4-1-1 ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 画像調整	輝度：シーンの輝度を調整します。 コントラスト：色と明るさのコントラストを調整します。 彩度：画像の彩度を調整します。彩度が高いほど、色がより「澄んだ／色鮮やか」に見え、低いほど「色味が乏しく」見えます。 鮮明度：画像の鮮明度を調整します。鮮明度が高いほど、ピクセルの境界が鮮明になり、画像がより「鮮明」に見えます。 2D DNR/3D DNR：ノイズ除去レベルを調整します。 デフォルト：輝度、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。
2		クリックすると設定ページにアクセスできます。
3		現在のビデオウィンドウに表示するストリーム（Primary/Secondary/Tertiary）を選択します。
3		ソフトウェアバージョンが43以上のカメラでのみ利用可能です。 Web Components：Firefox、Safari、Chrome（Chrome バージョン 44 以下）をサポート。ビュー表示にはコンポーネントをインストールする必要があります。 MJPEG：Firefox、Safari、Chrome（Chrome バージョン 45 以上）でビュー表示をサポート。 （注意：IE はデフォルトで Web Components mode を選択します。この場合、オプションは表示されません。）
4		TCP：より信頼性の高い接続。 UDP：より瞬間的な接続。ただし、ライブビューがうまく表示されない場合は、TCP 接続に変更してください。 HTTP：特にインターネット環境において、より速くより安全な接続。
5		Least Delay：最も瞬間的なモード。 Balanced：Least Delay と Best Fluency との間のバランスの取れたモードで、許容可能な遅れを保ちながら滑らかさを維持します。 Best Fluency：最も滑らかなモード。
6	 ウィンドウサイズ	クリックするとウィンドウサイズで画像が表示されます。
7	 実際のサイズ	クリックすると、実際のサイズで画像が表示されます。

8	 全画面	クリックすると画像が全画面表示されます。
9	 録画	録画中は、アイコンが赤に変わります。
10	 アラーム	Smart Event のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
11	 アラーム	動作検知のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
12	 アラーム	上記 2 種類のアラームを除いた他のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
		レンズのズーム距離を調整します。（カメラに電動レンズが搭載されている場合のみ機能します。）
		レンズの焦点を調整します。（カメラに電動レンズが搭載されている場合のみ機能します。）
		アイリスのサイズを調整します。（カメラに P アイリスが搭載されている場合のみ機能します。）
		補助焦点とレンズの初期化。（カメラに電動レンズが搭載されている場合にのみ機能します。）
		このボックスにチェックを入れると、アイリスが自動的に調整されます。（カメラに P アイリスが搭載されている場合にのみ機能します。）
14		ライブビュー開始／停止
15	 キャプチャ	クリックして現在の画像を撮り、設定したパスに保存します。デフォルトのパスは C:\VMS\+-1¥ IMAGE-MANUAL
16	 録画開始	クリックしてビデオ録画を開始し、設定したパスに保存します。デフォルトパスは C:\VMS\+-1¥MS_Record. です。もう一度クリックすると録画が停止します。
17	 音声再生	音声入出力を有効にします。音声設定ページでも設定できます。
18	 パス設定保存	ライブビューの操作で撮られた画像やビデオ録画のストレージパスを設定します。
19	 デジタルズーム有効	有効にすると、マウスホイールを使ってビデオ画像の特定のエリアを拡大できます。
20	 会話開始	有効にすると、リアルタイムで会話を開始できます。

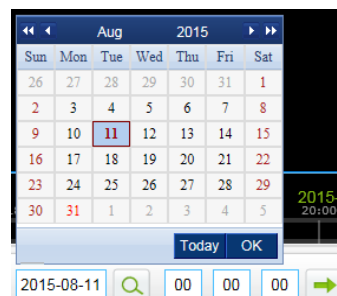
4.2 再生

このセクションでは、SD カードまたは NAS (ネットワーク接続ストレージ) に保存されている録画済みビデオファイルの表示方法について説明します。

ステップ 1 : メニューバーの「Playback」をクリックして再生インターフェースに入ります。



ステップ 2 : 日付ボタンをクリックして、日付ウィンドウが表示されたら日付を選択します。



注意 :

- 1) 明るい赤の日付は現在の日付を意味します。濃い赤の数字と白い背景の日付は週末を意味します。濃い赤の数字と青い背景の日付は、今選択されている日付を意味します。
 - 2) Firefox (バージョン 65 およびそれ以上) & Google Chrome (バージョン 69 およびそれ以上) にプラグインをインストールせずに再生をプレビューできるプラグインフリー再生機能をサポートしています。
- この機能を使用する前に、ブラウザのプロパティを設定する必要があります。ブラウザの設定の詳細については、[3.2.2 プラグインなしのアクセス](#)を参照してください。

ステップ 3 :  をクリックして、この日に見つかったビデオファイルを再生します。

再生インターフェースのボタン上のツールバーを使用して再生の進行状況を制御できます。

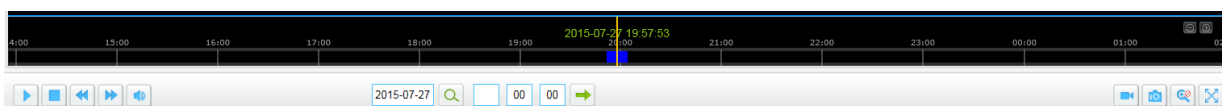
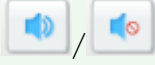
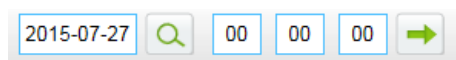


表 4-1-2 ボタンの説明

ボタン	操作
	再生
	一時停止
	停止
	早戻し
	早送り
	音声 On/Off
	検索
	移動
	時間絞り込み／拡大
	録画開始／停止
	スナップショット
	ズーム On/Off
	全画面

注意：

1) マウスでプログレスバーをドラッグして正確な再生ポイントを決めます。時間を入力して  をクリックし、「Set Playback Time」フィールドで再生ポイントを決めることもできます。  をクリックして、プログレスバーをズームアウト／ズームインすることもできます。



4.3 ローカル設定

この設定ページでは、録画ファイル長さとストレージパスをカスタマイズできます。

Live View Settings	
Record File Length:	30 minutes
Record File Path:	C:\VMS\+1\MS_Record Browse Open
Preview Picture Path:	C:\VMS\+1\IMAGE-MAN Browse Open
Playback Settings	
Playback Record File Path:	C:\VMS\+1\Playback\MS Browse Open
Playback Picture Path:	C:\VMS\+1\Playback\IMAI Browse Open
Save	

4.4 基本設定

4.4.1 ビデオ

このモジュールでは、ストリームパラメータを設定し、さまざまなネットワーク環境や要求に適応させることができます。

プライマリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Video Codec:	H.265
Frame Size:	1080P(1920*1080)
Maximum Frame Rate:	25 fps
Bit Rate:	4096 kbps
Smart Stream:	On
Level:	5
Bit Rate Control:	CBR
Profile:	Main
I-frame Interval:	50 frame(1-120)
Save	

録画ストリームタイプ（一般）

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Record Stream Type:	Event
Enable Event Stream:	☒
Video Codec:	H.264
Frame Size:	1080P(1920*1080)
Maximum Frame Rate:	25 fps
Bit Rate:	4096 kbps
Smart Stream:	Off
Bit Rate Control:	CBR
Profile:	Main
I-frame Interval:	50 frame(1-120)
Save	

録画ストリームタイプ（イベント）

セカンダリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream **Secondary Stream** Tertiary Stream

Enable:	☒
Video Codec:	H.265
Frame Size:	640*480
Maximum Frame Rate:	25 fps
Bit Rate:	512 kbps
Smart Stream:	On
Level:	5
Bit Rate Control:	CBR
Profile:	Main
I-frame Interval:	50 frame(1-120)

Save

サードストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream **Tertiary Stream**

Enable:	☒
Video Codec:	H.264
Frame Size:	640*480
Maximum Frame Rate:	25 fps
Bit Rate:	1024 kbps
Smart Stream:	On
Level:	5
Bit Rate Control:	CBR
Profile:	Main
I-frame Interval:	50 frame(1-120)

Save

表 4-4-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Record Stream Type	一般とイベントは、プライマリストリームでのみ使用できます。一般はビデオの連続録画を指し、イベントにはモーション、例外、LPR などのアラームをトリガーするイベントが含まれます。 このアイテムは、異なるレコーディングストリームタイプに対して異なるビットレートとフレームレートを個別に設定できます。ユーザーがイベントを選択すると、イベントが発生したときにビデオストリームタイプの設定に従ってビデオが録画されるため、録画ストレージスペースが大幅に削減されます。
Enable Event Stream	この項目は、イベントストリームを選択した場合にのみオプションです。
Video Codec	「-A」と「-B」のカメラには違いがあります。 -A : H. 264/MJPEG が利用可能 -B : H. 265/H. 264/MJPEG が利用可能
Frame Size	オプションに含まれるのは 8M (3840×2160)、6M (3072×2048)、5M (2592×1944)、5M (2560×1920)、5M (2560×1440)、4M (2592×1520)、3M (2304×1296)、3M (2048×1536)、1080P (1920×1080)、2M (1600×1200)、1. 3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576) セカンダリストリーム用に含まれるのは 704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176 ターシャリストリーム用に含まれるのは 1920×1080、1280×720、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176

Maximum Frame Rate	1 秒あたりの最大リフレッシュフレームレート
Bit Rate	1 秒あたりのデータ送信ビット数。この項目は、H. 265/H. 264 を選択した場合にのみオプションです。
Smart Stream	Smart Stream モードは、高品質の画像を確保しながらネットワークカメラの帯域幅とデータ保存要件を大幅に削減する 10 レベルの調整が可能な Codec です。Smart Stream モードの On/Off は任意に設定できます。 Level : ニーズに合わせてレベル 1~10 が利用可能
Bit Rate Control	CBR : 固定ビットレート。CBR 出力は一定です。 VBR : 可変ビットレート。VBR ファイルでは時間セグメント毎に出力データ量が変わります。
Image Quality	Low/Medium/High が利用可能。この項目は VBR を選択した場合のみのオプションです。
Profile	H. 264 用のオプション。ニーズに合わせて Main/High/Base が選択可能
I-frame Interval	I-frame interval を 1~120 に設定してください。デフォルトは 50 です。この項目は H. 265/H. 264 を選択した場合のみのオプションです。数は必ずフレーム数の倍数にしてください。
JPEG Quality	Low/Medium/High/Higher が利用可能。この項目は MJPEG を選択した場合のみのオプションです。

注意：

「Frame Size」のオプションは、選択したモデルによって異なります。

4.4.2 画像

このモジュールでは、表示情報、画像の強調、デイ/ナイト設定を設定できます。（OSD オン・スクリーン・ディスプレイ）コンテンツとビデオ時間を表示することで豊富な画像情報が表示できます。

表示

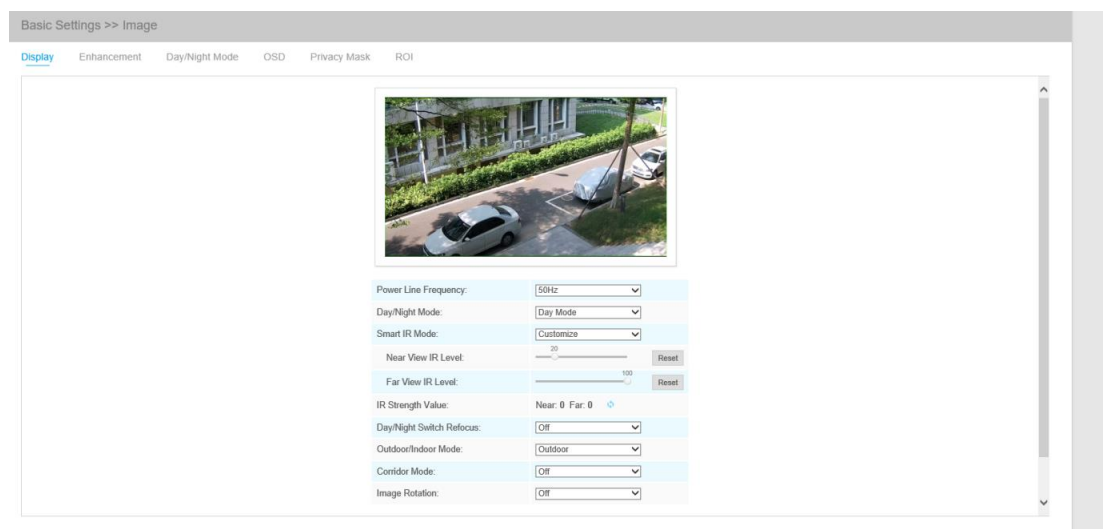
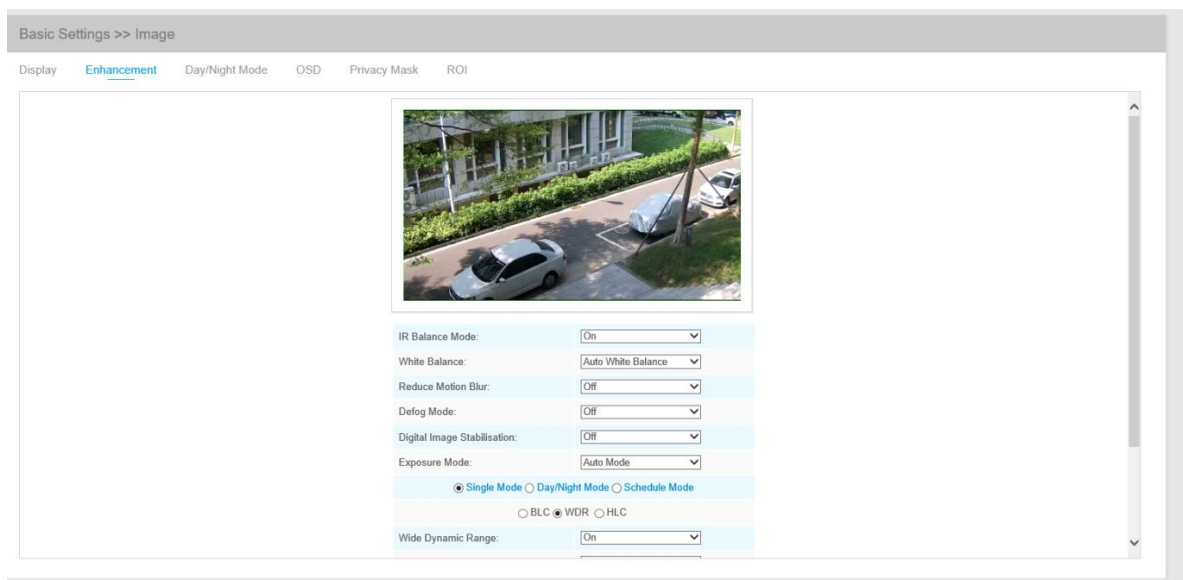


表 4-4-2 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Power Line Frequency	30fps カメラモデルの場合は 60Hz フリッカー、25fps カメラモデルの場合は 50Hz フリッカーです。
Day/Night Mode	露出レベル、最大露出時間、IR-CUT 間隔など、このモードに関連したいくつかのパラメータがあります。 Night Mode : ナイトモード設定に基づいてライブビューで表示 Day Mode : デイモード設定に基づいてライブビューで表示 Auto Mode : 環境に基づいてライブビューで表示し、デイモードをナイトモードに、またはナイトモードをデイモードに切り替える感度を設定 Customize : ナイトモードを開始／終了する時間設定に基づいてライブビューで表示
Day to Night Value	デイモードからナイトモードに切り替えるための感度です。赤外線センサーの現在値がこの値より低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります。
Night to Day Value	ナイトモードからデイモードに切り替えるための感度です。赤外線センサーの現在値がこの値より大きい場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。
IR Light Sensor Value	赤外線センサーの現在値
Smart IR Mode	赤外線 LED 技術の向上により、オブジェクトの距離に関係なく、ハイビームとロービームを組み合わせることで、より優れた画像の明瞭度と品質の提供が可能です。また、ロービームとハイビームの輝度は、ズーム比に基づいて手動または自動で調整できます。さらに、赤外線反射防止パネルを使用することで、赤外線の透過率が大幅に向上しています。 最高効果を達成するため、赤外線強度設定のオートモードまたはカスタマイズをサポートします。
Near view level	ロービーム LED 照明の光の強度を 0~100 に調整します。
Far view level	ハイビーム LED 照明の光の強度を 0~100 に調整します。
IR Strength Value	ロービーム LED 照明とハイビーム LED 照明の光の量の現在値
Day/Night Switch Refocus (電動レンズと AF レンズを備えたモデルのみ)	このオプションを有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替えるときにカメラの焦点が再調整されます。
Outdoor/Indoor Mode	ニーズに合わせて屋外または室内モードを選択します。
Corridor Mode	利用可能な3つのオプションから、ニーズに合わせて1つ選択できます。 Off : 画像を通常方向に維持 Clockwise90° : 画像を時計回りに90° 回転 Anticlockwise90° : 画像を反時計回りに90° 回転

Image Rotation	利用可能な4つのオプションから、ニーズに合わせて1つ選択できます。 Off : 画像を通常の方法に維持 Rotating 180° : 画像を上下に反転 Flip horizontal : 画像を水平に反転 Flip vertical : 画像を垂直に反転
Local Display Video (プロブレット専用)	ローカルディスプレイには NTSC または PAL を選択します。
Smoked Dome Cover	この機能はプロドーム専用です。プロドームにスモークドームカバーが搭載されている場合は、この機能を有効にして通常の画像を表示します。
Lens distort correct (180° パノラミニブレットのみのみ)	利用可能な 2 つのオプションから、ニーズに合わせて 1 つ選択できます。 Off : 180° パノラミニブレットの元の画像を選択 On : 180° パノラミニブレットの歪み補正画像を選択

機能強化



機能強化

表 4-4-3 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
IR Balance Mode	赤外線 LED を On/Off するオプションがあります。 IR Balance Mode は、露出過多や暗さの問題を避け、赤外線 LED は実際の照明に応じて変化します。
White Balance	白いオブジェクトを白く映し、環境光による色のゆがみを除去します。 Auto White Balance : このオプションは自動的にホワイトバランス機能を有効にします。 Manual White Balance : このオプションは H. 265 シリーズ専用です。赤ゲインレベルと青ゲインレベルを手動で設定してください。 Incandescent Lamp : 光が白熱灯と似ている場合は、このオプションを選択します。 Warm Light Lamp : 光が暖色光ランプと似ている場合は、このオプション

	ンを選択します。 Natural Light : 自然光以外の光がない場合は、このオプションを選択します。 Fluorescent Lamp : 光が蛍光灯と似ている場合は、このオプションを選択します。 Schedule mode : 上記のモードを有効／無効にするスケジュールをカスタマイズできます。
Reduce Motion Blur	オブジェクトのモーションブラーを効果的に減らすには、この機能を有効にします。 デブラーレベルは 1 から 100 まで調整できます。
Defog Mode	この機能は H. 265 シリーズ専用です。霧が発生しているときの画質が向上します。図 4-4-10 を参照してください。
Digital Image Stabilization	この機能は H. 265 シリーズ専用です。画像のぶれを軽減します。
Exposure Mode	Auto Mode、Manual Mode、Schedule Mode が利用できます。 Auto Mode : カメラは光環境に応じて輝度を自動的に調整します。 Manual Mode : カメラは設定値に応じて輝度を調整します。露出時間は 1 ～1/100000 秒の間で設定できます。値が高いほど、画像は明るくなります。 Schedule Mode : Auto Mode と Manual Mode を有効／無効にするスケジュールをカスタマイズできます。
Single Mode	BLC/WDR/HLC のシングルモードを設定します。
Day/Night Mode	Day Enhancement Mode/Night Enhancement Mode で BLC/WDR/HLC を個別にサポートします。
Schedule Mode	BLC/WDR/HLC のスケジュールモードを設定します。
BLC Region	Off、Customize、Centre が使用できます（Single Mode では、WDR が無効の場合にのみ有効）。 Off : 全視野を計算し、適切な光量補正を行います。 Customize : このオプションを使用すると、補正エリアまたは補正無しエリアを手動でカスタマイズできます。 Centre : このオプションは自動的にウィンドウの中央に補正エリアを設定し、必要な光量補正を行います。
Wide Dynamic Range (WDR)	同じフレーム内の明るい部分と暗い部分の両方を捉えて表示できるこの機能を使えば、明るい部分と暗い部分にある両方のオブジェクトの詳細が見られます。 Off : WDR機能を無効にします。 On : WDRを有効にします。Low/High/Autoの3つのレベルがあります。 Customize : WDR機能を有効／無効にし、Low/High/Autoレベルを設定するスケジュールをカスタマイズします。
Wide Dynamic Level	WDR を Low/High/Auto でレベル設定します。
Anti-flicker Level	照明条件によって画面に発生するちらつきを軽減します。ちらつき防止調整は 10 段階あります。

High Light Compensation (HLC)	光が強いときに明るさを通常の範囲に調整する H. 265 シリーズ専用の機能です。図 4-4-11 を参照してください。 Off : HLC 機能を無効にします。 General Mode : HLC の一般モードを有効にします。HLC レベル設定があります。 Enhanced Mode : HLC の拡張モードを有効にします。HLC レベル設定があります。
HLC Level	HLC レベルを選択します。
Day Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC が利用できます。
Night Enhancement Mode	BLC/DR/HLC が利用できます。
Schedule Setting	BLC/WDR/HLC モードを有効／無効にするスケジュールをカスタマイズします。

注意：

- 1) 異なったホワイトバランスモードを有効／無効にするスケジュールをカスタマイズできます。

- 2) 異なった露出モードを有効／無効にするスケジュールをカスタマイズできます。

- 3) BLC/WDR/HLC モードを有効／無効にするスケジュールをカスタマイズできます。

Schedule Settings

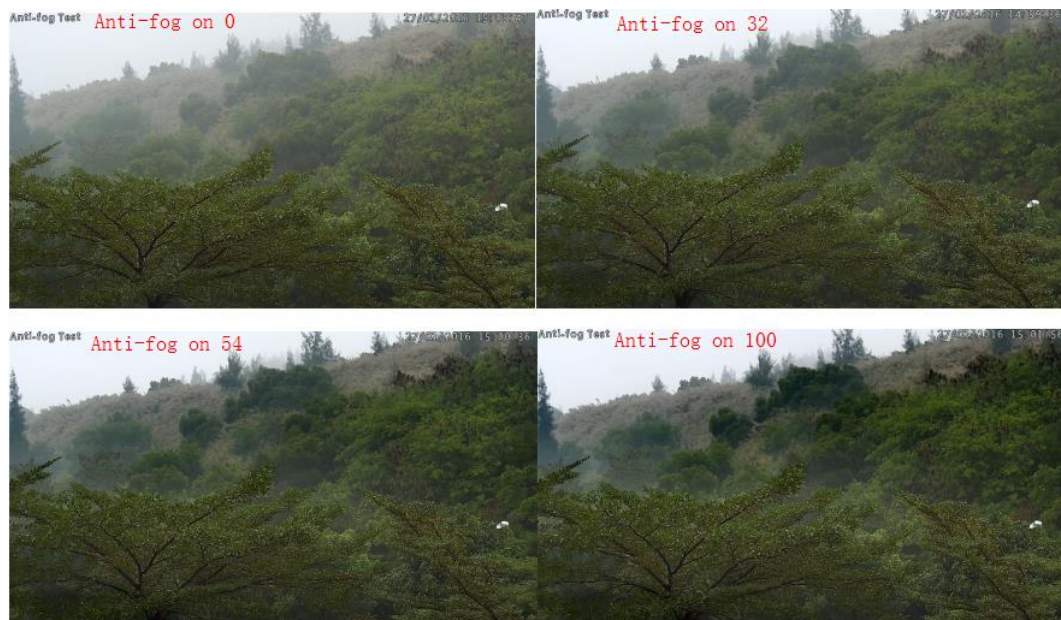
BLC

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sun													
Mon													
Tue													
Wed													
Thu													
Fri													
Sat													

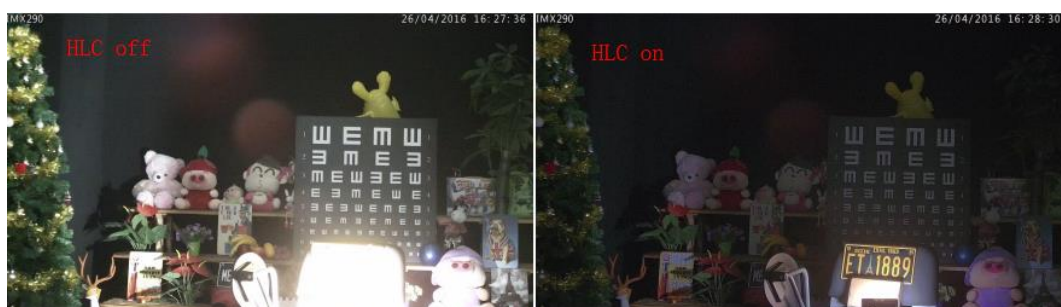
BLC
 WDR
 HLC

4) 同じ時間フレームの中では、露出（exposure）設定のほうが WDR/HLC より優先順位が高くなっています。

5) デフォグ画像



6) HLC 画像



デイ/ナイトモード

Basic Settings >> Image

Display Enhancement Day/Night Mode OSD Privacy Mask ROI



Day/Night Mode

Day/Night Mode	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	IR-CUT Latency	IR-CUT	IR LED	Color Mode
Night Mode	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W
Day Mode	5	1/25	1/100000	5s	On	Off	Color

Schedule Mode

	Timer	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	IR-CUT Latency	IR-CUT	IR LED	Color Mode
☐	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W
☐	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W
☐	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W
☐	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W
☐	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	On	B/W

Save Reset

表 4-4-4 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Exposure Level	ニーズに合わせてレベル0～10が利用できます。
Minimum Shutter	最小シャッターは最大露出時間と同じです。最小シャッターを 1～1/100000 秒に設定してください。
Maximum Shutter	最大シャッターは最小露出時間と同じです。最大シャッターを 1～1/100000 秒に設定してください。
IR-CUT Latency	あるモードから別のモードに切り替える間隔です。
IR-CUT	赤外線カットを On または Off にします。
IR LED	赤外線 LED を On または Off にします。
Color Mode	デイ/ナイトモードで B/W またはカラーモードを選択します。
Schedule Mode	異った時間における特別な要求をカスタマイズできます。デイモードとナイトモードは設定に従って自動的に切り替わります。

オン・スクリーン・ディスプレイ (OSD)

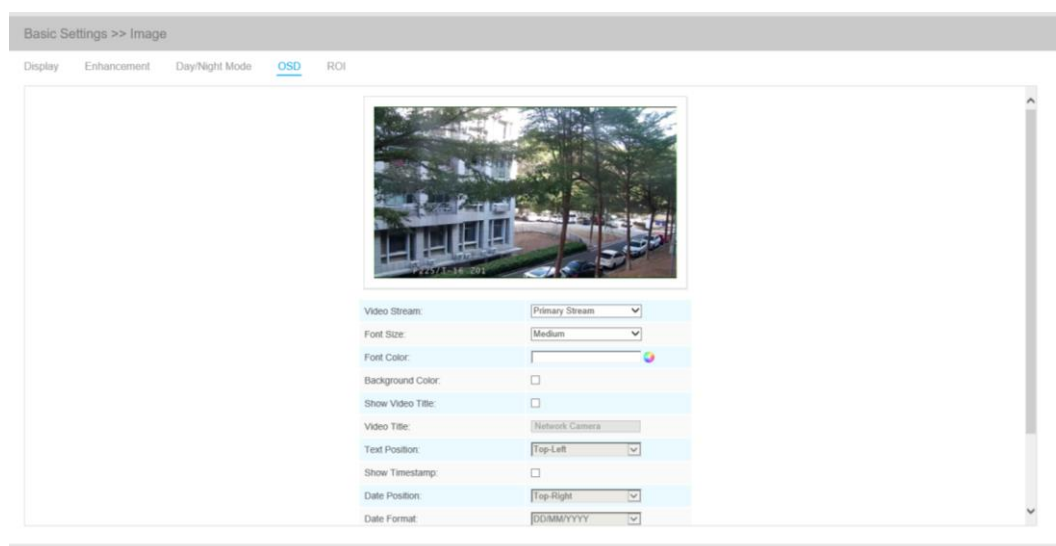
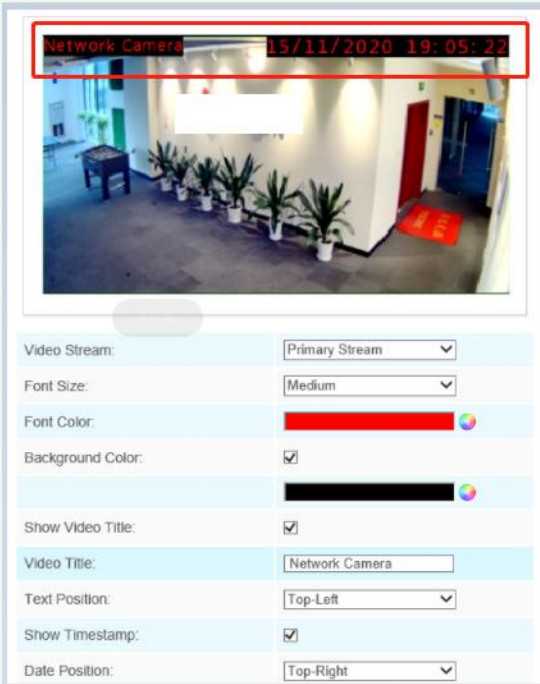


表 4-4-5 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Video Stream	有効にしてプライマリストリームとセカンダリストリームの OSD を設定します。
Font Size	タイトルと日付に最小／小／中／大／最大／オートが使用できます。
Font Color	タイトルと日付に異なった色が使用できます。
Background Color	画面に情報の背景を表示するために異なる色を設定します。 画像のフォントと背景に異なる色を設定すると、画像の OSD は次のように表示されます。  注意： 背景色をフォントの色と同じにすることはできません。
Show Video Title	ボックスにチェックを入れるとビデオタイトルが表示されます。

Video Title	OSD コンテンツがカスタマイズできます。
Text Position	画像上の OSD 表示位置
Show Time stamp	ボックスにチェックを入れると画面に日付が表示されます。
Date Position	画像上の日付表示位置
Date Format	日付のフォーマット
Copy to other streams	他のストリームに設定をコピーします。

プライバシーマスク

プライバシーマスクを使用すると、監視エリア内の特定の場所が見られたり録画されたりしないように、ライブビデオ上の特定のエリアを覆うことができます。最大 8 つまでマスクエリアを設定できます。

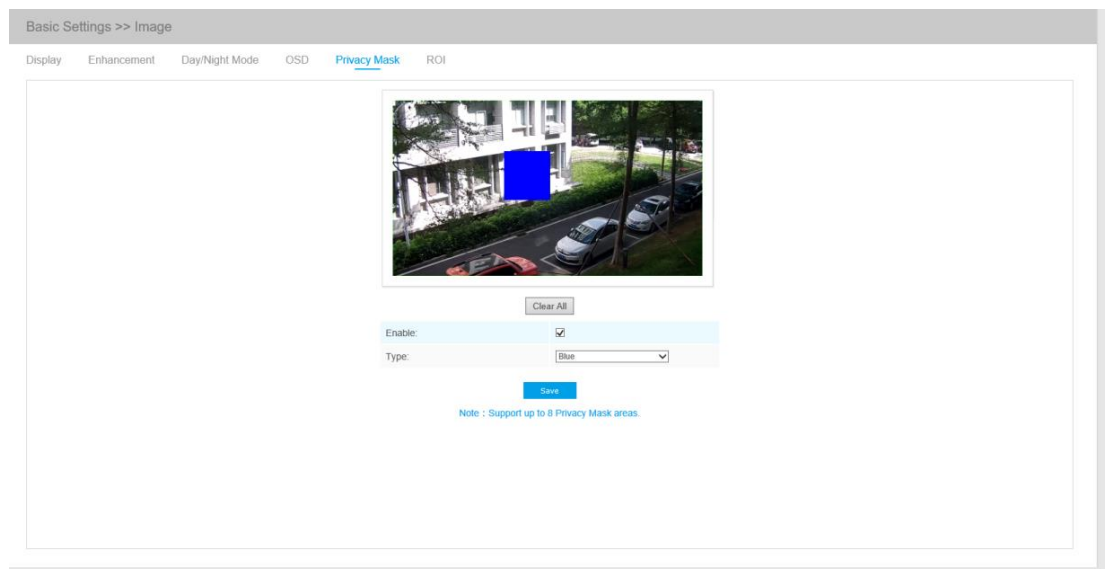


表 4-4-6 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	ボックスにチェックを入れるとプライバシーマスク機能が有効になります。
Clear All	前に描かれた全てのエリアが削除されます。
Type	プライバシーエリアに使用する色を選択してください。8 色が利用可能です：白、黒、青、黄、緑、茶色、赤、紫

ROI

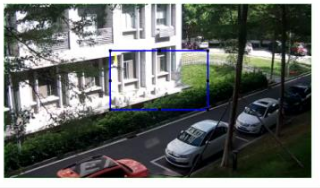
対象エリア（しばしば ROI と略される）は、特定の目的のために識別されたデータセット内の選択されたサンプルのサブセットです。ユーザーは、対象を絞ったプレビューと録画のため、シーンの最大 8 つの主要エ

リアを選択し、別々のストリームで送信することができます。

ROI 技術を使用すると、50%超のビットレートを節約できるため、要求される帯域幅が少なくなり、ストリージの使用量が減少します。従って、高解像度を得るために低いビットレートを設定することができます。

Basic Settings >> Image

Display Enhancement Day/Night Mode OSD Privacy Mask ROI



Clear All

Enable: ☒

Video Stream: Primary Stream

ID	Name	Enable	Delete
1	ROI1	☒	

Save

Note : Support up to 8 ROI areas.

表 4-4-7 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	ボックスにチェックを入れると ROI 機能が有効になります。
Clear All	以前に設定した全てのエリアがクリアされます。
Video Stream	ビデオストリームを選択します。

注意：

低いビットレートが設定できます。例えば、512Kbps のビットレートと 1080P の解像度を設定すると、ROI の画質が他のエリアよりも鮮明でなめらかになります。

4.4.3 音声

この音声機能により、カメラからの音声を聞いたり、カメラ側に音声を送信したりできます。この機能で双方向通信も可能です。音声入力が、設定された特定のアラームレベルを超えたときアラームが作動し、アラーム発生時には、設定された音声再生できます。

Enable Audio: ☐

Audio Mode: Both Audio Input & Output

Audio Input

Denoise: ☐

Encoding: AAC LC

Sample Rate: 48KHz

Audio Bit Rate: 144kbps

Input Gain: 79

Audio Output

Auto Gain Control: ☒

Output Volume: 76

Save

表 4-4-8 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Audio	ボックスにチェックを入れると音声機能が有効になります。
Audio Input	Denoise : On/Off を設定します。この機能を On に設定すると、検知されたノイズをフィルタリングすることができます。 Encoding : G. 711-ULaw、G. 711-ALaw、AAC LC、G. 722、G. 726 が利用可能です。 Audio Bit Rate: この機能は AAC LC でのみ使用可能で、最大 256kbps をサポートします。 Sample Rate : 8KHz/16KHz の 2 つのオプションがあります。 Input Gain : 入力音声ゲインレベル、0~100 Alarm Level : 音声アラームが有効になっていて、入力音量がアラームレベル 0~100 より大きい場合、アラームが作動します。
Audio Output	Auto Gain Control (AGC) : この機能は H. 265 シリーズ専用で、音声品質を向上させます。 Output Volume : 出力音量を調整します。

最大5つの音声ファイルを Audio web ページの Flash または SD カードに手動でアップロードできます。また、アップロード時に音声ファイルの名前を編集することもできます。

Audio File Storage Type: Flash

Audio File Upload

Audio File Name:

Audio File: Browse...

Upload

ID	Audio File Name	Delete
1	audio	×

Note: Only support '.wav' audio files with codec type PCM/PCMU/PCMA, 64kbps or 128kbps bitrate and no more than 500k!

注意：

- 1) 音声モードと音声出力は特定のモジュール専用です。
- 2) Codec タイプが PCM/PCMU/PCMA、64kbps または 128kbps および 500k 以下の「.wav」音声ファイルのみをサポートします

4.4.4 ネットワーク

TCP/IP

☐ Get IPv4 address automatically

☒ Use fixed IPv4 address

IP Address: Test

IPv4 Subnet Mask:

IPv4 Default Gateway:

Preferred DNS Server:

IPv6 Mode: Manual

IPv6 Address:

IPv6 Prefix:

IPv6 Default Gateway:

MTU:
(1200~1500)bytes

Save

表 4-4-9 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Get IPv4 Address Automatically	DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。

Use fixed IP address	IPv4 Address : ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されるアドレス。
	IPv4 Subnet Mask : ネットワークカメラが配置されているサブネットを識別するために使用されます。
	IPv4 Default Gateway : デフォルトルーターアドレス
	Primary DNS : DNS サーバーはドメイン名を IP アドレスに変換します。
	IPv6 Mode : IPv6 用に別のモードを選択します。手動／ルート広告／DHCPv6
	IPv6 Address : ネットワーク上のネットワークカメラを識別するための IPv6 アドレスです。
	IPv6 Prefix : IPv6 アドレスのプレフィックス長を定義します。
	IPv6 Default Gateway : デフォルトルーターの IPv6 アドレス
	MTU : 最大伝送ユニット。デフォルト値は 1500 です。必要に応じて 1200 から 1500 までの値をカスタマイズできます。

注意 :

「Test」ボタンはIPが競合しているかどうかをテストするために使用されます。

HTTP

HTTP Enable:	☒
HTTP Port:	80
HTTPS Enable:	☒
HTTPS Port:	443

HTTPS Settings	
Installed Certificate:	C=US, H/IP=IPC Reset
Attributes:	Awarded to: C=US, H/IP=IPC Issuer: C=US, H/IP=IPC Period of Validity: Dec 18 06:46:09 2019 ~ Sep 12 06:46:09 2022
Installation Type:	Create a Private Certificate ▼
Create a Private Certificate:	Create

表 4-4-10 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
HTTP Enable	HTTP の使用を開始または停止します。
HTTP Port	Web GUI ログインポート、デフォルトは80、ONVIFポートと同じです。
HTTPS Enable	HTTPS の使用を開始または停止します。
HTTPS Port	HTTPS経由のWeb GUI ログインポート、デフォルトは443です。

HTTP Settings	SSL証明書をアップロードして設定します。
---------------	-----------------------

HTTP URL は以下のとおりです。

ストリーム	URL
メインストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpeg.cgi
セカンダリストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegcif.cgi
ターシャリストリーム	http://username:password@IP:port/mjpegthird.cgi

注意：

モデルが「-A」の H.264 カメラのメインストリームを除き、ストリームの Codec タイプを MJPEG に変更する必要があります。

RTSP

RTSP Port:	554	
Playback Port:	555	
RTP Packet:	Better Compatibility	
Multicast Group Address:	239 . 6 . 6 . 6	
QoS DSCP(0~63):	0	

Save

表 4-4-11 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
RTSP Port	RTSP のポート、デフォルトは 554 です。
Playback Port	再生ポート、デフォルトは 555 です。
RTP Packet	「Better Compatibility」と「Better Performance」の 2 つのオプションがあります。カメラの画像が乱れる場合は、このオプションを切り替えてください。
Multicast Group Address	マルチキャスト機能をサポートします。
QoS DSCP	DSCP の有効値の範囲は 0~63

RTSP URL は以下のとおりです。

ストリーム	URL
メインストリーム	rtsp://username:password@IP:port/main
セカンダリストリーム	rtsp://username:password@IP:port/sub
ターシャリストリーム	http://username:password@IP:port/third

注意：

- 1) 「RTSP Port」の右側にある「」をクリックして RTSP URL のフォーマットを取得します。
- 2) 「Playback Port」の右側にある「」をクリックして再生のヒントを取得します。
- 3) DSCP は、「Differentiated Service Code Point」を指しており、DSCP 値は、データの優先順位を示すために IP ヘッダーで使用されます。
- 4) 設定を有効にするには再起動が必要です。
- 5) ターシャリストリームは、モデルに「-A」または「-B」が付いているカメラにのみ搭載されています。

UPnP

ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）は、ネットワーク機器、ソフトウェア、およびその他のハードウェアデバイス間の互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnP プロトコルは、装置がシームレスに接続することを可能にし、家庭および企業環境におけるネットワーク化を容易にします。この機能を有効にすると、ポートごとにポートマッピングを設定する必要がなくなり、カメラはルーターを経由してワイドエリアネットワークに接続されます。

Enable UPnP:	☐		
Port Mapping			
Enable Port Mapping:	☐		
Name:	UPnP		
Type:	Auto		
Protocol Name	External Port	Internal Port	Status
HTTP	21202	80	Invalid
HTTPS	22202	443	Invalid
RTSP	23202	554	Invalid
Playback	25202	555	Invalid
Save			

表 4-4-12 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
-------	-------

Enable	チェックボックスにチェックを入れて UPnP 機能を有効にします。
Enable Port Mapping	チェックボックスにチェックを入れてポートマッピングを有効にします。
Name	オンラインで検知されたデバイスの名前は編集できます。
Type	Auto : 設定なしで、対応するHTTP、HTTPS、RTSP、および再生ポートを自動的に取得します。 Manual : 手動 : 適切なHTTPポート、HTTPSポート、RTSPポート、および再生ポートを手動で設定する必要があります。手動を選択すると、ポート番号の値を自分でカスタマイズできます。

DDNS

DDNS を使用すると、IP アドレスではなくドメイン名を経由してカメラにアクセスできます。IP アドレスが変更されてドメイン情報が動的に更新されます。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります。

DDNS is not running

Enable DDNS:	☐
Provider:	freedns.afraid.org ▼
Hash:	
Host Name:	

Save

DDNS のプロバイダーとして「freedns.afraid.org」を選択できます。ユーザー登録をしてポート転送を行った後は、デバイスにアクセスできます。

表 4-4-13 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable DDNS	チェックボックスにチェックを入れて DDNS サービスを有効にします。
Provider	DDNS プロバイダーからサポートを受けてください :
Hash	検証に使用される文字列。「freedns.afraid.org」の場合のみ。
User name	DDNS プロバイダーからのアカウント名。「freedns.afraid.org」には使用できません。
Password	アカウントのパスワード。「freedns.afraid.org」には使用できません。
Host name	アカウントで有効になっている DDNS 名

注意：

- 1) DDNS を使用する前に、HTTP ポートと RTSP ポートのポート転送を行ってください。
- 2) RTSP の内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

E メール

アラームビデオファイルは、SMTP サーバーを経由して特定のメールアカウントに送信できます。使用する前に必ず SMTP を正しく設定してください。

Enable:	☐
User Name:	hdipnc
Sender Email Address:	hdipnc@sina.com
Password:	
Email Server:	smtp.sina.com
Email Port:	25
Recipient Email Address1:	user@domain.com
Recipient Email Address2:	
Encryption:	☐ SSL ☐ TLS

表 4-4-14 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	メール機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
User Name	送信者の名前。通常はアカウント名と同じです。
Sender Email Address	ビデオファイルを添付した E メールを送信するための E メールアドレス。
Password	送信者のパスワード
SMTP Server	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）。
SMTP Port	SMTP サーバーのポート。SMTP のデフォルトの TCP/ IP ポートは 25 です（保護されていません）。SSL/TLS ポートの場合は、使用するメールによって異なります。
Recipient Email Address1	ビデオファイルを受信するためのメールアドレス
Recipient Email Address2	ビデオファイルを受信するためのメールアドレス
Encryption	SMTP サーバーが要求する場合は、チェックボックスにチェックを入れて SSL または TLS を有効にしてください。

FTP

アラームビデオファイルは特定の FTP サーバーに送信できます。使用する前に FTP を必ず正しく設定してください。

FTP Server Settings	
Server Address:	192.168.8.72
Server Port:	21
User Name:	admin
Password:	*****

FTP Storage Settings	
Storage Path:	Child Directory
Parent Directory:	IP Address
Child Directory:	Device Name
Alarm Action File Name:	Customize
Video File Name:	YYYY-MM-DD
Image File Name:	YYYY-MM-DD
Timing Snapshot File Name:	Default(YYYY-MM-DD)

表 4-4-15 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Server Address	FTP サーバーアドレス
Server Port	FTP サーバーのポート、一般的には 21
User Name	FTP サーバーへのログインに使用されるユーザー名
Password	ユーザーパスワード
Storage Path	ビデオと画像が FTP サーバーにアップロードされるストレージパス Root Directory、Parent Directory、Child Directory、Customize の 4 つの FTP ストレージパスタイプがあります。
Parent Directory	Parent Directory のフォルダ名として IP アドレス／デバイス名／日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
Child Directory	Child Directory のフォルダ名として IP アドレス／デバイス名／日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
Multilevel Folder Name	ストレージパスが 2 レベルを超える場合は、ここに手動でマルチレベル FTP ストレージパスを入力します。
アラームアクション File Name	デフォルト（YYYY-MM-DD）を選択するか、アラームアクション File Name をカスタマイズします。
Video File Name	Video File Name を カ ス タ マ イ ズ す る 場 合 は YYYY-MM-DD/MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add Prefix が可能です。

Image File Name	Image File Name を カ ス タ マ イ ズ す る 場 合 は YYYY-MM-DD/MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add Prefix が可能です。
Timing Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add prefix/ベースファイル名 で上書きが可能です。

注意：

Parent Directory は Root Directory の下、Child Directory は Parent Directory の下に
あります。

VLAN

仮想 LAN (VLAN) は、コンピュータネットワークのデータリンク層 (OSI 層 2) において分割され分離されている任意のブロードキャストドメインです。LAN は「ローカルエリアネットワーク」の略語です。VLAN を使用すると、ホストが同じネットワークスイッチ上にない場合でも、ネットワーク管理者はホストをグループにまとめることができます。VLAN メンバーシップがソフトウェアを介して設定できるため、ネットワークの設計と展開が大幅に簡素化できます。VLAN がないと、リソースのニーズに応じてホストをグループ化するために、ノードの移動やデータリンクの再配線が必要になります。

VLAN Enable:	☒
VLAN ID(1~4094):	1
VLAN IP:	- . - .
VLAN Netmask:	- . - .
VLAN Gateway:	- . - .

Save

注意：

スイッチに VLAN を設定する方法は、スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

PPPoE

このカメラは PPPoE 自動ダイヤルアップ機能をサポートしています。カメラがモデムに接続された後、カメラは ADSL ダイヤルアップによってパブリック IP アドレスを取得します。ネットワークカメラの PPPoE パラメータを設定する必要があります。

Enable PPPoE:	☐
Dynamic IP:	0.0.0.0
User Name:	
Password:	
Confirm Password:	

Save

注意：

- 1) 取得した IP アドレスは PPPoE を介して動的に割り当てられるため、IP アドレスはカメラの再起動後に常に変更されます。動的 IP の不便さを解決するには、DDNS プロバイダーからドメイン名を入力する必要があります (例: DynDns.com)。
- 2) インターネットサービスプロバイダーからのユーザー名とパスワードの割り当てが必要です。

SNMP

SNMP 機能を設定して、カメラのステータス、パラメータ、およびアラーム関連の情報を取得し、ネットワークに接続されているカメラを遠隔管理できます。

SNMP を設定する前に、SNMP ソフトウェアをダウンロードし、SNMP ポート経由でカメラ情報を受信してください。Trap address を設定すると、カメラはアラームイベントと例外メッセージを監視センターに送信できます。

SNMP v1/v2	
SNMP V1 Enable:	☐
SNMP V2c Enable:	☐
Write Community:	public
Read Community:	private
SNMP v3	
SNMP V3 Enable:	☐
Read Security Name:	
Level of Security:	no auth,no priv
Write Security Name:	
Level of Security:	no auth,no priv
SNMP Port	
SNMP Port:	161

表 4-4-16 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
SNMP v1/2/3	SNMP のバージョン。SNMP ソフトウェアのバージョンを選択してください。 SNMP v1 : セキュリティを提供しません。 SNMP v2 : アクセスにパスワードが必要です。 SNMP v3 : 暗号化を提供し、HTTPS プロトコルを有効にする必要があります。
Write Community	Write Community の名前を入力してください。
Read Community	Read Community の名前を入力してください。
Trap Address	Trap address を入力してください。
Trap Port	Trap port を設定してください。デフォルトは 162 です。
Trap Community Name	Trap community の名前を入力してください。
Read Security Name	Read Security Community の名前を入力してください。
Level of Security	利用可能な 3 つのレベルがあります : (auth、priv) 、 (auth、no priv) および (no auth、no priv)
Write Security Name	Write Security Community の名前を入力してください。

Level of Security	利用可能な 3 つのレベルがあります : (auth、priv)、(auth、no priv) および (no auth、no priv)
SNMP Port	SNMP のポート、デフォルトは 161 です。

注意 :

- 1) SNMPソフトウェアの設定は、ここで行う設定と同じにする必要があります。
- 2) 設定を有効にするには再起動が必要です。

802.1x

IEEE 802.1X 規格はネットワークカメラでサポートされており、この機能を有効にするとカメラデータが保護され、カメラを IEEE 802.1X で保護されたネットワークに接続するときにユーザー認証が必要になります。

Enable 802.1x:	☒
Protocol:	EAP-MD5 ▼
Eapol Version:	1 ▼
User Name:	
Password:	
Confirm Password:	

Save

Bonjour (ボンジュール)

Bonjour は、Apple のマルチキャスト DNS サービスに基づいています。 Bonjour デバイスは、サービス情報を自動的にブロードキャストし、他のデバイスのサービス情報を受けることができます。カメラ情報がわからない場合は、同じ LAN 上の Bonjour サービスを使用して、ネットワークカメラデバイスを検索し、デバイスにアクセスできます。

Enable Bonjour:	☒
Bonjour Name:	MS-C2962-FPB-1CC316210991

Save

RTMP

リアルタイムメッセージングプロトコル (RTMP) は、当初、Flash プレーヤーとサーバー間でインターネットを介してオーディオ、ビデオ、およびデータをストリーミングするための独自のプロトコルでした。RTMP は、永続的な接続を維持し、低遅延の通信を可能にする TCP ベースのプロトコルです。ライブ放送の機能を実現し、ネットワークがあればどこからでもログインできます。

Enable RTMP:	☒
Stream Type:	Secondary Stream ▼
Server Address:	rtmp://a.rtmp.youtube.com/

Save

その他

ここでは、プッシュメッセージ設定や ONVIF 設定などのその他の機能を設定できます。

● プッシュメッセージ設定：

Push Message Settings	
Enable Push Message:	☒
Push Event Type:	Edit

プッシュメッセージ機能を有効にすると、以下に示すように、**Edit** をクリックして、i-Sight アプリにプッシュされるイベントのメッセージのタイプを選択できます。

Milesight Network Camera

Push Event Type	
☒ All	☒ Region Entrance
☒ Motion Detection	☒ Advanced Motion Detection
☒ Region Exiting	☒ Line Crossing
☒ Tamper Detection	☒ Human Detection
☒ Loitering	☒ Object Left/Removed
☒ People Counting	
☒ Face Detection	

Save

注意：i-Sight アプリには、対応するカメラのオープンアラームプッシュ機能が必要です。詳細については、*i-Sight-アプリユーザーマニュアルのアラームメッセージを参照してください。*

● ONVIF 設定：

ここでは、カメラの ONVIF 機能を有効にするか無効にするかを選択できます。カメラの ONVIF 機能が有効になっている場合、ONVIF プロトコルを介して第三者のソフトウェアで検索、追加、接続できます。通常には、ONVIF 機能のデフォルトステータスは有効になっています。

ONVIF Setting	
Enable ONVIF:	☒
Save	

4.4.5 日付と時刻

Current System Time	
Date:	03/02/2018
Time:	01:42:00

Set the System Time	
Time Zone:	-8 United States - Pacific Time
Daylight Saving Time:	Disabled
NTP Sync:	☒ Interval: 1 day
☐ Synchronize with computer time	
Date:	03/02/2018
Time:	17:41:59
☐ NTP server	
☐ Manual	
Save	

現在のシステム時刻

システムの現在の日付と時刻

システム時刻を設定する

表 4-4-17 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Time Zone	現在地のタイムゾーンを選択してください。
Daylight Saving time	Daylight Saving Time を有効にします。
NTP Sync	インターバル時間に従って定期的に時間を更新します。
Synchronize with computer time	時間をコンピュータと同期させます。
NTP server	NTP サーバーのアドレスを入力してください。
Encryption Type	設定した SNTP サーバーの時間と選択したタイムゾーンとを同期させます。
Manual	システム時刻を手動で設定します。

4.5 詳細設定

4.5.1 ストレージ

始める前に：
録画を設定するには、ネットワークストレージデバイスがネットワーク内にあるか、SD カードがカメラに挿入されていることを確認してください。
必要に応じてストレージモードを選択してください。

ストレージ管理

SD カード：

SD Card Settings

Total Size:0M Free Size:0M Used Size:0M

Format

Note: Please insert SD card.

表 4-5-5 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Format	フォーマット SD カード。SD カード内のファイルは削除されます。
Mount/UnMount	SD カードのマウント／マウント解除
Delete	サイクリックストレージを有効にし、空きディスク容量が特定の値に達すると、設定に応じて自動的に特定の割合でファイルを削除します。

NAS

ネットワークディスクはネットワーク内で使用可能で、記録されたファイルなどを保存するように正しく設定されている必要があります。
NAS（Network Attached Storage）は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データとファイルのサービスを提供します。

NAS Settings

Server Address:

File Path:

Mounting Type:

NFS

Add

表 4-5-6 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Server Address	NAS サーバーの IP アドレス
File Path	NAS ファイルのパスを入力します。例：「¥path」
Mounting Type	NFS と SMB/CIFS が利用可能です。SMB/CIFS が選択されている場合は、セキュリティを保証するためにユーザー名とパスワードを設定できます。

注意：

最大 5 台の NAS ディスクをカメラに接続できます。

録画設定

Storage Settings

Enable Recycle Storage: ☐

Save

Schedule Settings

Edit

表 4-5-7 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Recycle Storage	リサイクルストレージを有効／無効にします。このオプションを有効にすると、空きディスク容量が特定の値に達するとファイルが削除されます。
Pre-record	アラーム前の記録時間、0～10 秒を予約します
Schedule Settings	録画スケジュールを編集するには、「Edit」ボタンをクリックします。

注意：

SD カードまたは NAS が利用可能です。

スナップショット設定

Snapshot Settings	
Enable Timing Snapshot:	☐
Interval:	1 hour
Save Into Storage:	☐ (Please mount storage device.)
File Name:	Add Time Suffix
Upload Via FTP:	☐
Upload Via SMTP:	☐

Save

Schedule Settings	
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	

Edit

表 4-5-8 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Snapshot Settings	Enable Timing Snapshot : チェックボックスにチェックを入れて Timing Snapshot 機能を有効にします。 Interval : スナップショットの間隔を設定します。数字を入力して単位（ミリ秒、秒、分、時間、日）を選択してください。 Save Into Storage : スナップショットを SD カードまたは NAS に保存し、ファイル名を選択して Time Suffix を追加するか、ベースファイル名を上書きします。 Save Into NAS : スナップショットを NAS に保存し、ファイル名を選択して Time Suffix を追加するか、ベースファイル名を上書きします。 Upload Via FTP : FTP 経由でスナップショットをアップロードします。 Upload Via SMTP : SMTP 経由でスナップショットをアップロードします。 注意 : Time Suffix 追加を選択すると、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名上書きを選択した場合は、最新の画像が 1 つだけ保存されます。SD カードまたは NAS にベースファイル名上書き追加を選択すると、「スナップショット」という名前のファイルが生成され、スナップショットがそこに保存されます。
Schedule Settings	「Edit」ボタンをクリックして録画スケジュールを編集します。

エクスプローラー

ファイルが SD カードまたは NAS に保存されるよう設定されている場合、ファイルはこのページに表示されます。

ビデオを録画するためのタイムスケジュールを毎日設定し、希望する場所にビデオファイルを保存できます。

(注意 : SD カードを挿入するとファイルが表示されます。電源が入っているときに SD カードを抜き差ししないでください。)

ビデオファイルは日付順に並べられます。ファイルを検索するには、ファイルのタイプと Start Time/End Time を設定します。ファイルは毎日対応する日付で表示され、ここからファイルをコピーしたり削除したりできます。SD カード内のファイルには ftp でアクセスできます。例 : `ftp : // username : password@192.168.5.190` (ユーザー名とパスワードはカメラアカウントと同じであり、続く IP は自身のデバイスの IP です。)

Show 10 entries
Download

☐	File Name	Start Time	End Time	Type	Size
Please mount storage device first!					

File Search
Main Type:
Record
Sub Type:
All
Start Time:
2019-03-12 00:00:00
End Time:
2019-03-12 23:59:59
Search
Reset

Showing 0 to 0 of 0 entries
First Previous Next Last
Go

4.5.2 セキュリティ

ユーザー

Manage Privilege

Allow Anonymous Viewing:

☐

Security Question

Security Question:

Edit

Account Management

Add

Edit

Delete

ID	User Name	Privilege
1	admin	Administrator

Admin Password:

User Level:

Operator

User Name:

Password:

Confirm:

User Privilege

☒ All

☒ Live Video

☒ Playback

☒ Local Settings

☒ Video Settings

☒ Audio Settings

☒ Image Settings

☒ Network Settings

☒ RTSP Access

☒ Date & Time

☒ Event Settings

☒ Storage Settings

☒ Storage Format

☒ Security Settings

☒ SIP Settings

☒ Logs

☒ System

☒ Maintenance

Note: You can only add 20 users

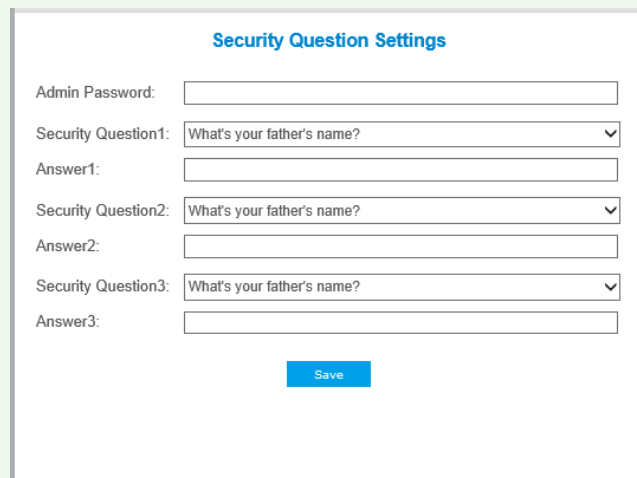
Save

表 4-5-9 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Manage Privilege	Allow anonymous viewing : チェックボックスにチェックを入れると、デバイスのアカウントを持っていないユーザーからの訪問が可能になります。

Security Question

カメラのセキュリティに関する質問を 3 つ設定するには、「Edit」ボタンをクリックします。パスワードを忘れた場合は、ログインページの「Forget Password」ボタンをクリックして、3 つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます。



以下に 12 のデフォルトの質問があります。セキュリティの質問もカスタマイズできます。



Account Management

「Add」ボタンをクリックすると、アカウント管理ページが表示されます。管理者パスワード、ユーザーレベル、ユーザー名、新しいパスワード、確認を入力してカメラにアカウントを追加し、をクリックしてユーザー特権を編集できます。追加されたアカウントは、アカウントリストに表示されます。

Admin Password : アカウントを追加できるのは、正しい管理者パスワードを入力した後のみです。

User Level : アカウントの特権を設定します。

User Name : アカウントを作成するためのユーザー名を入力します。

Password : アカウントのパスワードを入力します。

Confirm : パスワードを確認します。

Admin アカウントの下のアカウントリストでアカウントを編集および削除できます。デフォルトの管理者アカウントの場合、変更できるのはパスワードのみで、削除することはできません。

注意 :

- 1) 20 ユーザーのみ追加可能です。
- 2) V4x. 7. 0. 69 以降の場合、初めてログインするときに、デフォルトの管理者パスワードを削除してパスワ

ードを設定できます。また、デバイスに対するセキュリティの質問の設定もサポートされています。ユーザーは、パスワードを忘れた場合に正しいセキュリティの質問に答えることでパスワードをリセットできるので、ユーザーには便利です。

3) オンラインユーザー

ここでは、カメラにログインしているユーザーのリアルタイムステータスが表示されます。

Online User				
Refresh				
No.	User Name	User Level	IP Address	User Login Time
1	admin	Administrator	192.168.7.110	2021-02-20 10:12:29
2	admin	Administrator	192.168.7.79	2021-02-20 09:16:06
3	admin	Administrator	192.168.7.25	2021-02-19 17:12:02

表 4-5-6 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Refresh	クリックすると、カメラにアクセスしているユーザーの最新のステータスが表示されます。
No.	カメラにログインしているユーザーのシリアル番号を記録します。 注意： 1) リストに表示されるレコードは最大 30 個です。 2) 同じユーザーが同じ IP アドレスでカメラにログオンしている場合、記録は 1 つしかありません。
User Name	カメラにログインしているユーザーの名前です。
User Level	カメラにログインしているユーザーのレベルです。
IP Address	デバイスカメラ Web にログインしているユーザーがいる IP アドレスです。
User Login Time	カメラにログインしているユーザーのカメラシステム時間です。

アクセスリスト

General Settings

Maximum Number of Concurrent Streaming:

9

IP Access List

Rule:

Single

IP Address:

Add

Enable Access List Filtering:

☐

Filter Type:

☐ Allow
☒ Deny

Save

表 4-5-10 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
General Settings	Maximum number of concurrent streaming : 最大同時ストリーミング数を選択します。オプションには無制限、1～9 があります。
IP access list	Rule : Single、Network and Range が利用可能です。 IP address : デバイスにアクセスするためのアドレスを入力します。
Enable access list filtering	ある IP アドレスへのアクセスまたはアクセス制限が可能です。
Filter type	アクセスまたはアクセス制限

セキュリティサービス

SSH Settings

Enable SSH:

☒

SSH Port:

6022

Save

表 4-5-11 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
SSH Settings	Secure Shell (SSH) には多くの機能があります。Telnet を置き換えることができ、FTP、POP、さらには PPP 用のセキュアチャンネルも提供します。

ウォーターマーク

Watermark Settings

Enable Watermark:

☒

Watermark String:

Save

ウォーターマークは、情報セキュリティを保護する効果的な方法であり、偽造防止の追跡可能と著作権保護を実現します。フィッシュアイネットワークカメラは、ウォーターマーク機能をサポートし、情報セキュリティを確保します。

について

Open Source Software Licenses

[View Licenses](#)

ユーザーは、[ライセンスの表示] ボタンをクリックして、カメラのいくつかのオープンソースソフトウェアライセンスを表示できます。

4.5.3 SIP

Session Initiation Protocol (SIP) は通信プロトコルであり、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク上の音声およびビデオ通話などのマルチメディア通信を制御するために広く使用されています。ユーザーはこのページで SIP 関連のパラメータを設定できます。ネットワークカメラは、アラームが作動したときに呼び出す SIP エンドポイントとして設定できます。ビデオ IP 電話を使用している場合は、許可された番号に電話をかけて、ビデオを確認することもできます。この機能を使用するには、SIP ページの設定が正しく行われている必要があります。SIP を介してビデオを取得する方法は 2 つあります。1 つは IP アドレスを直接ダイヤルすること、もう 1 つはアカウント登録モードです。詳細は次のとおりです。

方法1：IPダイレクトモード

SIP電話でカメラのIPアドレスを直接ダイヤルすると、ビデオを見ることができます。

(**注意：SIP電話とカメラは同じネットワークセグメントにある必要があります**)。

方法2：アカウント登録モード

- 1) SIPを使用する前に、SIPサーバーからカメラのアカウントを登録する必要があります。
- 2) 同じSIPサーバーからSIPデバイスの別のユーザーアカウントを登録します。

3) SIPデバイスからカメラのユーザーIDを呼び出すと、SIPデバイス上のビデオを取得します。

SIP 設定

Unregistered	
Enable:	☐
Register Mode:	Enable ▼
User ID:	500
User Name:	sipclient
Password:	*****
Server Address:	192.168.5.101
Server Port:	5060
Connection Protocol:	UDP ▼
Video Stream:	Secondary Stream ▼
Max Call Duration:	1800 s (0 means no limitation.)

Note:SIP supports Direct IP call.

Save

表 4-5-12 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Unregistered/ Registered	SIP 登録ステータス。「Unregistered」または「Registered」が表示されます。
Enable	SIP の使用を開始または停止します。
Register Mode	Enable mode または Disable mode のどちらを使用するかを選択します。Enable mode は登録アカウントで SIP を使用することを意味します。Disable mode は、アカウントを登録せずに SIP を使用し、単に IP アドレスを使用して電話をかけることを指します。
User ID	SIP ID
User Name	SIP アカウント名
Password	SIP アカウントパスワード
Server Address	サーバーIP アドレス
Server Port	サーバーポート
Connection Protocol	UDP/TCP
Video Stream	ビデオストリームを選択します。
Max Call Duration	SIP を使用するときの最大電話時間です。

注意：

- 1) SIP は直接 IP 通話をサポートします。

アラーム電話リスト

Phone Type:	Phone Number ▼
To Phone Number:	
Remark Name:	
Duration:	From 00 : 00 To 24 : 00

表 4-5-13 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Phone Type	電話番号（電話番号による電話） & ダイレクト IP 電話（ピアツーピア IP 電話を受け入れるにはチェックを入れます。）
To Phone Number/ IP Address	電話番号または IP アドレスによる電話
Remark Name	表示名
Duration	SIP を使用するタイムスケジュール

ホワイトリスト

Phone Type:	Phone Number ▼
Phone Number:	
Add	
Enable White List Number Filter:	☐
Save	

表 4-5-14 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Phone Type	電話番号（電話番号による電話） & ダイレクト IP 電話
Phone Number/ IP Address	ホワイトリストに載っている電話番号または IP アドレスなど
Enable White List Number Filter	有効にすると、指定の電話番号または IP アドレスのみにアクセスできます。

4.5.4 ログ

ログには、Web 経由でカメラにアクセスした時間と IP に関する情報が含まれます。

Show 30 entries

Time	Main Type	Sub Type	Param	User	IP	Detail	Log Search
2017-09-04 13:35:41	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	Main Type:
2017-09-04 13:29:18	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	All Types
2017-09-04 13:29:14	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	Sub Type:
2017-09-04 13:28:54	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	All Types
2017-09-04 13:28:53	Operation	Login Remotely	-	admin	192.168.8.50	-	Start Time:
2017-09-04 05:50:00	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	2017-09-04 00:00:00
2017-09-03 18:35:25	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	End Time:
2017-09-03 05:43:58	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	2017-09-04 13:30:26
2017-09-02 18:37:57	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	Search
2017-09-02 05:41:22	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	Log Export
2017-09-01 18:43:37	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	Save Period:
2017-09-01 17:00:57	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	Permanent
2017-09-01 16:55:24	Event	Motion Detection Stop	-	-	-	-	Save
2017-09-01 16:55:19	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	
2017-09-01 16:55:17	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	
Showing 1 to 30 of 1,221 entries							
First Previous 1 2 3 4 5 ... 41 Next Last							Go

表 4-5-19 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Main Type	メインログタイプが 5 つあります : All Type、Event、Operation、Information、Exception
Sub Type	メインタイプが選択されているという前提で、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます。
Start Time	タイムログが開始します。
End Time	タイムログが終了します。
Log Export	ログをエクスポートします。
Save Period	ログ保存の期間を設定します。選択可能な 8 つのオプションがあります : 永久、30/60/120/180/240/300/360 日
Go	ログのページ数を入力します。

4.6 イベント

4.6.1 基本イベント

動作検知 (Motion Detection)

ステップ1：動作エリア (Motion Region) を設定します。

Enable Motion Detection:

☒

Sensitivity:

5

Onvif Motion ActiveCells Settings:

Normal

Set Motion Region

Network Camera

26/04/2020 14:58:47

Bitrate :3906.1kbps
Frame Rate :23.976
Resolution:1920x1080
Video Codec :H.264
Audio Stream :Off
Firmware Connection :3.0

Select All

Clear All

Note: Please draw the screen for setting!

表 4-5-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Motion Detection	チェックボックスにチェックを入れて動作検知機能を有効にしてください。
Sensitivity	感度レベル、1～10
Onvif Motion ActiveCells Settings	オプションには、「Normal」および「Compatible」があります。他社製ソフトウェアの動作エリアの設定が当社のものである場合は、このオプションを「Compatible」に設定してください。
Select All	ボタンをクリックすると、エリア内の動きが検知されます。
Clear All	ボタンをクリックすると、前に描かれたエリアが削除されます。

ステップ2：動作検知スケジュールを設定します。

Schedule Settings

Sun																									
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

Edit

ステップ 3： アラームアクションを設定します。

Alarm Action

Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

表 4-5-2 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Save Into Storage	アラーム記録ファイルを SD カードまたは NAS に保存します。
Upload Via FTP	FTP で録画ファイルをアップロードします。
Upload Via Email	E メール経由でファイルをアップロードします。
External Output	カメラに外部出力が搭載されている場合は、動作持続時間を設定した後に、機能を有効にできます。
Play Audio	カメラに音声スピーカーが搭載されている場合は、音声スピーカーの設定を行った後に機能を有効にできます。
Play Buzzer	カメラにブザーが搭載されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて機能を有効にできます。
Alarm to SIP Phone	SIP 機能を有効にした後、SIP 電話の呼び出しをサポートします。
HTTP Notification	指定された HTTP URL におけるアラームニュースのポップアップをサポートします。 注意：

- 1) 最大 3 つの HTTP 通知を同じイベントに追加できます。
- 2) HTTP 通知は Basic 認証と Digest 認証をサポートしています。

注意：

HTTP notification 機能は、カメラが VMS ソフトウェアにメッセージを送信するための単なる 1 つの方法です。メッセージが何を意味するのかを定義し、この種のメッセージを受け取った後に何をすべきかを決定するのは VMS です。そのため、カメラの HTTP Notification 機能を使用できるのは、VMS がこの種のメッセージフォーマットをサポートしている場合だけです。

ここでは HTTP Notification 機能を紹介する例として Digifort を取り上げます。

以下は、Digifort VMS とカメラに HTTP Notification を設定する詳細なステップです。

ステップ 1： アラームを有効にし、動作エリアと検知スケジュールを設定します。

ステップ 2： アラームアクションとして HTTP Notification にチェックを入れて、フィールドを埋めてから Alarm setting を保存します。最大 3 つの HTTP 通知を同じイベントに追加できます。

HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	5 (0-900) s
URL:	192.168.8.75:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=annie
User Name:	admin
Password:	••••••••

HTTP User Name: admin (カメラのユーザー名)

HTTP Password: 123456 (カメラのパスワード)

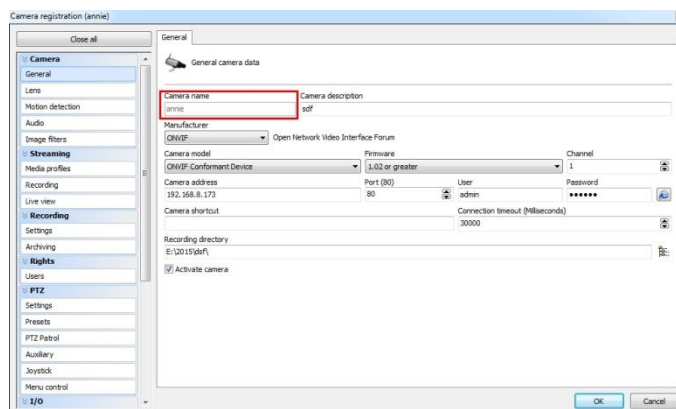
HTTP Notification URL:

<http://IP:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=CameraName>

IP は Digifort がインストールされている PC の IP を指します。

8601 は Digifort の動作信号用のポートです。

CameraName は、下の図のように、Digifort VMS で設定したカメラ名です。

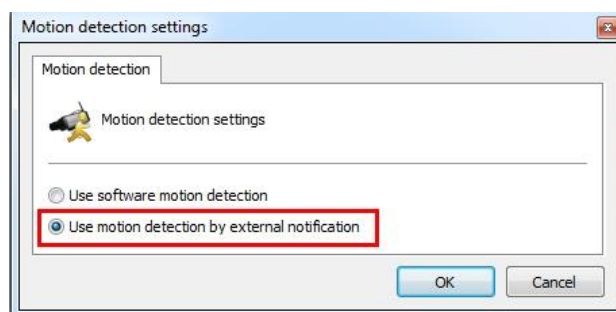


例：

<http://192.168.8.75:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=annie>

この URL フォーマットは Digifort VMS で正確にサポートされているので、上記のようにカメラに設定してカメラをうまく作動させることができます。

ステップ3: 「Use motion detection by external notification」を選択します。



ステップ4: 成功すると、カメラに動作検知アラームが設定されていれば Surveillance の中でデバイスアイコンが黄色に変わるのが見えます。



従って、この機能をうまく使うことができるかどうかを決めるのは VMS ソフトウェアです。

ステップ5: Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Play Audio Interval:	Auto ▼
Save	

表 4-5-3 ボタンの説明

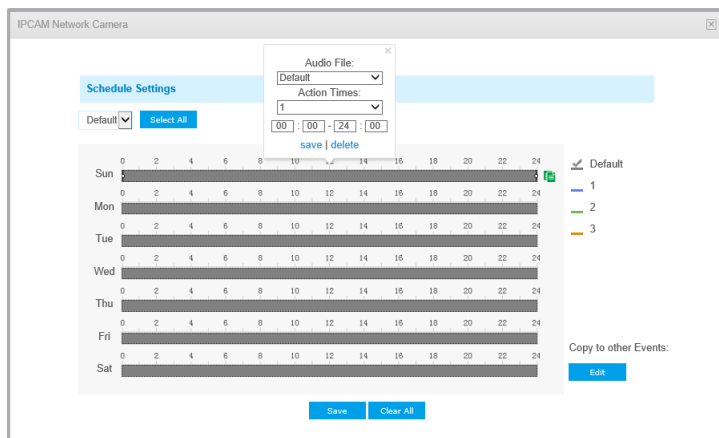
パラメータ	機能の説明
Record Video Sections	6 つの異なる時間が利用可能です (5、10、15、20、25、30 秒)。
Snapshot	スナップショット数。1~5
Snapshot Interval	スナップショットに 1 を超える数を選択しない限り、編集できません。
Email Triggered Interval	オート/ 10 秒/ 20 秒/ 40 秒/ 60 秒/ 100 秒/ 5 分/ 15 分/ 30 分/ 1 時間/ 8 時間/ 12 時間/ 24 時間が利用可能です。
External Output Action Time	アラームが持続する時間。最初にアラームアクションの External Output を有効にしない限り編集できません。
Audio Action Settings	音声スケジュールを設定して、異なる音声ファイルと動作時間を、異なる時間に作動させます。これは、アラーム動作に対応しています。

Play Audio Interval

オート／10 秒／30 秒／1 分／5 分／10 分が利用可能です。

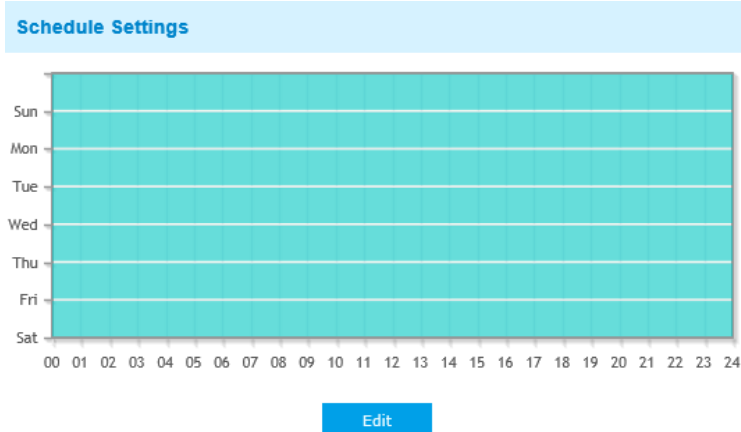
注意：

Audio Action のスケジュールをカスタマイズできます。



音声アラーム (Audio Alarm)

音声アラーム機能を使用する前に「Audio」を有効にします。



Alarm Action

Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

[Save](#)

項目の意味はここでは繰り返さないで、表 4-5-2 と 4-5-3 を参照してください。

外部入力 (External Input)

Enable External Input:	☐
------------------------	--------------------------

Schedule Settings	
Sun	
Mon	
Tue	
Wed	
Thu	
Fri	
Sat	

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

[Edit](#)

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

[Save](#)

項目の意味はここでは繰り返さないなので、表 4-5-2 と 4-5-3 を参照してください。

その他のアラーム

Alarm Type	Network Disconnected IP Address Conflict Record Failed SD Card Full SD Card Uninitialized SD Card Error No SD Card
Enable Network Disconnected Alarm:	☐
Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	30 seconds
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto

Save

表 4-5-4 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Alarm Type	ネットワークが切断された、IP アドレスが競合した、記録に失敗した、SD カードがいっぱい、SD カードが初期化されていない、SD カードエラーおよび SD カードがないといったアラームタイプが使用可能です。 チェックボックスをオンにして、選択したアラームタイプを有効にします。
アラームアクション	Save Into SD Card : アラーム記録ファイルを SD カードに保存します。 Upload Via Email : 電子メールでアラーム記録ファイルをアップロードします。このオプションは、記録に失敗した、SD カードがいっぱい、SD カードが初期化されていない、SD カードエラー、SD カードがない場合に使用できます。 External Output : カメラに外部出力が搭載されている場合は、動作持続時間を設定した後に、機能を有効にできます。 Play Audio : カメラにスピーカーが搭載されている場合は、音声スピーカーを設定した後に機能を有効にできます。 Play Buzzer : カメラにブザーが搭載されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて機能を有効にできます。
Alarm Setting	Record Video Sections : 6 つの時間が利用可能です (5、10、15、20、25、30 秒)。 Snapshot : スナップショット数。1~5 Snapshot Interval : スナップショットに 1 を超える数を選択しない限り、編集できません。 Email Triggered Interval : 自動/ 10 秒/ 20 秒/ 40 秒/ 60 秒/ 100 秒/ 5 分/ 15 分/ 30 分/ 1 時間/ 8 時間/ 12 時間/ 24 時間が利用可能です。

この機能を利用する際に、Record Failed、SD Card Full、SD Card Uninitialized、SD Card Error、またはNo SD Cardを選択し、関連するアラームタイプの Upload via Email チェックボックスをオンにしてください。

External Output Action Time : アラーム持続時間。最初にアラームアクションの External Output を有効にしない限り編集できません。

Audio Action Settings : 音声スケジュールを設定して、異なる音声ファイルと動作時間を、異なる時間に作動させます。これは、アラーム動作に対応しています。

Play Audio Interval : オート / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分が利用可能です。

外部出力 (External Output)

External Output	
Normal Status:	☐ Open ☒ Grounded
Current Status:	Grounded
Test Save	

まず **Normal Status** を設定してください。**Current Status** が **Normal Status** と異なる場合、アラームが発生します。

4.6.2 VCA イベント

スマートイベントは、ネットワークカメラに高度で正確なビデオ分析を提供するビデオコンテンツ分析技術 (VCA) を使用しています。AI チップが搭載された新世代のビデオ分析は、人間、車両、およびオブジェクトのパターン認識モデルの膨大な属性を認識することができます。車両および人間に関連するイベントはセキュリティ監視において非常に重要であるため、それらのイベントを選別し、監視性能と効率を大幅に向上させ、時間や労力を節約します。

注意 : AI カメラと非 AI カメラがあります。

Region Entrance (侵入検知)

Region Entrance は、不審者やオブジェクトの侵入による潜在的な脅威から特別な場所を保護するのに役立ちます。Region entrance を有効にすることで、オブジェクトが選択されたエリアに侵入するとアラームが作動します。

Advanced Settings >> VCA

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing Loitering Human Detection People Counting Object Left/Removed Settings

Enable Region Entrance Detection: ☒

Sensitivity:

Effective Region Settings:

Set Entrance Detection Region



Select All Clear All

Note: Please draw the screen for setting!

Schedule Settings

侵入検知インターフェイス（非 AI カメラ用）

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing Loitering Object Left/Removed

Enable Region Entrance Detection: ☐

Sensitivity:

Detection Object: ☒ Human ☒ Vehicle

Set Entrance Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:



Select All Clear All

Min Size: * pixel(11~320*240)

Max Size: * pixel(11~320*240)

Note: Please draw the screen for setting!

Schedule Settings

侵入検知インターフェイス（AI カメラ用）

ステップ 1：侵入検知を有効にし、検出感度を設定します。

ステップ 2：検出オブジェクトを選択します。人間または車両の属性を選択し、人間または車両を検出して関連イベントをトリガーすると、カメラはアラームが発生します。

注意：すべての AI カメラはこの機能に対応可能です。

ステップ 3：侵入検知のエリアとオブジェクトサイズの制限を設定します。

表 4-6-5 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Minimum Size	最小サイズ画面を描画するか、ピクセル数を入力して、検出されたオブジェクトの最小サイズを設定します。オブジェクトがこのサイズよりも小さい場合、オブジェクトは検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。

Maximum Size	最大サイズ画面を描画するか、ピクセル数を入力して、検出されたオブジェクトの最大サイズを設定します。オブジェクトがこのサイズよりも大きい場合、オブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは 320*240 です。
--------------	---

ステップ 4： 検知スケジュールを設定します。

ステップ 5： アラームアクションを設定します。

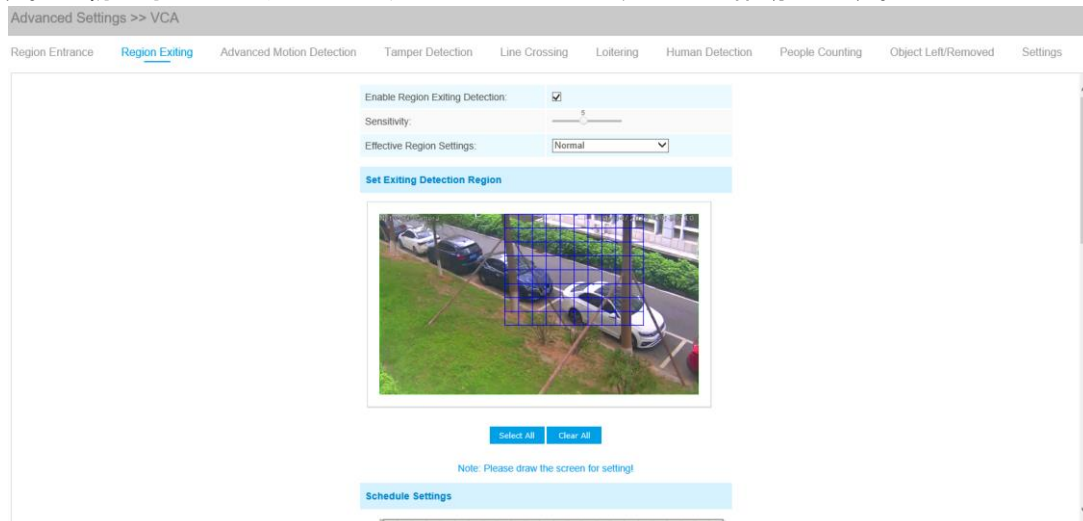
Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ 6： Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

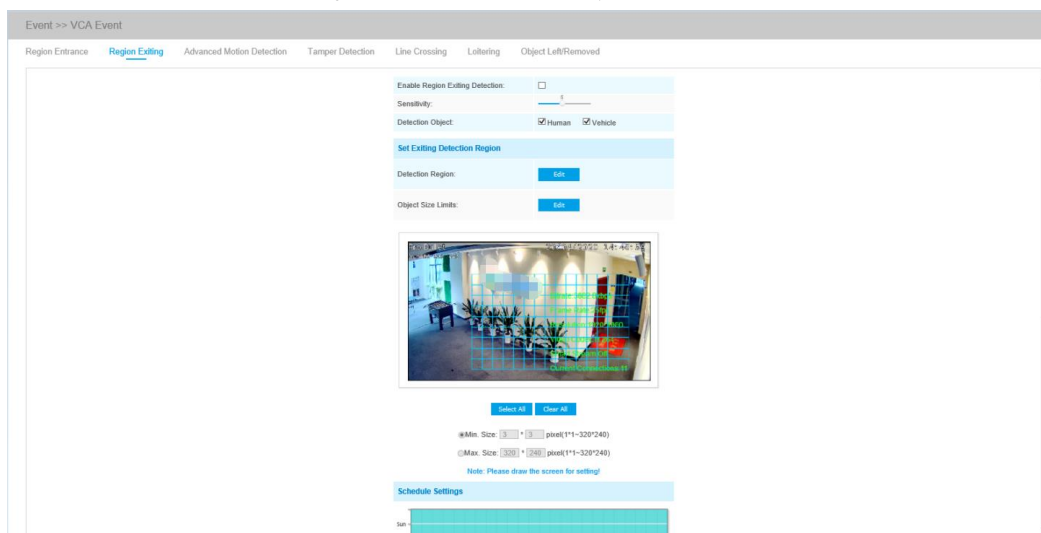
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	s(1~999)
Play Audio Interval:	Auto

Region Exiting (退出検知)

Region Exiting は、どんな人物またはオブジェクトも監視されているエリアから出ないようにすることです。人物やオブジェクトがエリアから出るとアラームが作動します。



退出検知インターフェイス（非 AI カメラ用）



退出検知インターフェイス（AI カメラ用）

ステップ 1：退出検知を有効にし、検出感度を設定します。

ステップ 2：検出オブジェクトを選択します。人間または車両の属性を選択し、人間または車両を検出して関連イベントをトリガーすると、カメラはアラームが発生します。

注意：すべての AI カメラはこの機能に対応可能です。

ステップ 3：退出検知のエリアとオブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ 4：検知スケジュールを設定します。

ステップ 5：アラームアクションを設定します。

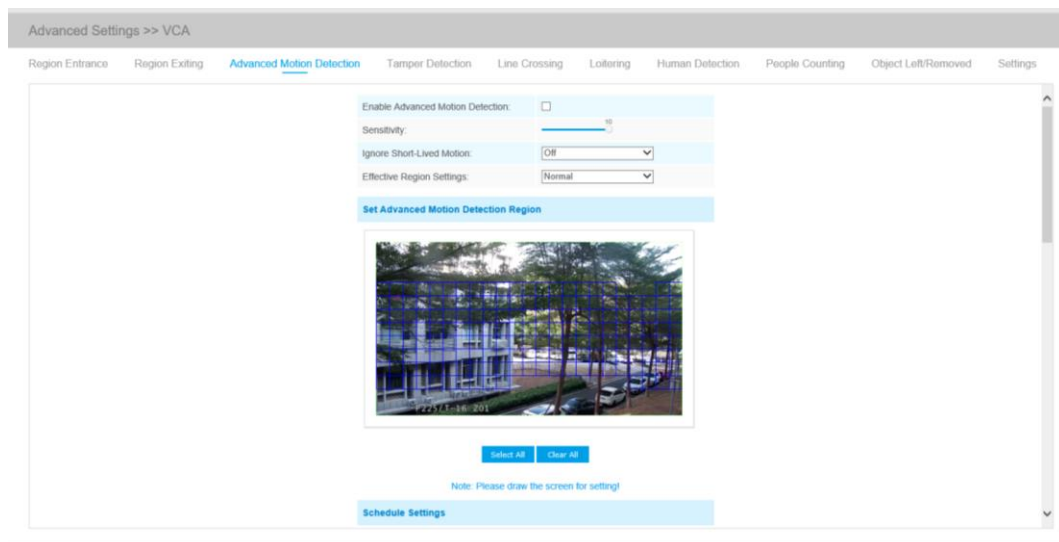
Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ6：Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

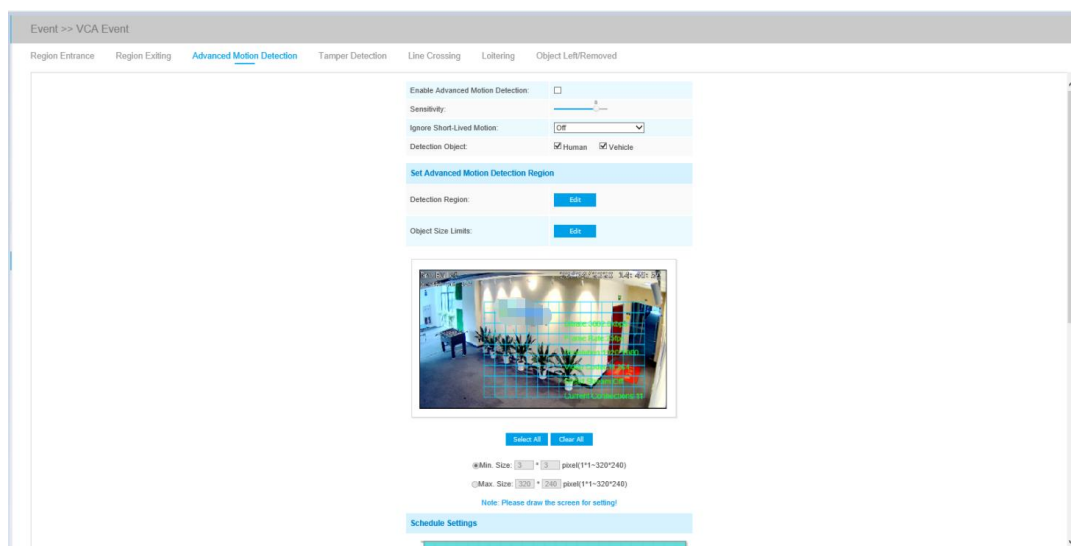
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize
Audio Action Settings:	10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Play Audio Interval:	Auto

Advanced Motion Detection（アドバンスモーション検知）

従来の動作検知とは異なり、Advanced Motion Detection は、照明の変化や自然な木の動きなどの「ノイズ」を除去することができます。選択したエリア内をオブジェクトが移動すると、アラームが発生します。



アドバンスモーション検知インターフェイス（非 AI カメラ用）



アドバンスモーション検知インターフェイス（AI カメラ用）

- ステップ 1：アドバンスモーション検知を有効にし、検出感度を設定します。
- ステップ 2：[短時間のモーション時間を無視する]を設定します。時間を設定した場合、オブジェクトの移動時間が設定時間内であれば、アラームは発生しません。
- ステップ 3：検出オブジェクトを選択します。人間または車両の属性を選択し、人間または車両を検出して関連イベントをトリガーすると、カメラはアラームが発生します。
- 注意：**すべての AI カメラはこの機能に対応可能です。
- ステップ 4：アドバンスモーション検知のエリアとオブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。
- ステップ 5：検出スケジュールを設定します。
- ステップ 6：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ7: Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	s(1~999)
Play Audio Interval:	Auto

注意:

- 1) 感度は、さまざまな要件に応じてさまざまな動きを検出するように設定できます。感度レベルが低い場合、わずかな動きでもアラームはトリガーされません。
- 2) 「短時間のモーションを無視する」機能は、時間設定内の瞬間的なオブジェクトの動きによって引き起こされる誤警報を回避することです。

Tamper Detection (妨害検知)

Tamper Detection は、カメラの焦点が合っていない、カメラがふさがれる、カメラが動かされるな

どの侵襲行為を検知するために使用されます。この機能は、上記の行為が発生したときに直ちにセキュリティスタッフに警告します。

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection **Tamper Detection** Line Crossing Loitering Human Detection Object Left/Removed

Enable Tamper Detection: ☐

Sensitivity:

Schedule Settings

Sun
Mon
Tue
Wed
Thu
Fri
Sat

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Edit

Alarm Action

Save Into Storage: ☐ File Format: Record (Please mount storage device.)

Upload Via FTP: ☐ File Format: Record

Upload Via Email: ☐ File Format: Snapshot (Please enable the Email)

妨害検知インターフェイス（非 AI カメラ用）

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection **Tamper Detection** Line Crossing Loitering Object Left/Removed

Enable Tamper Detection: ☐

Sensitivity:

Schedule Settings

Sun
Mon
Tue
Wed
Thu
Fri
Sat

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Edit

Alarm Action

Save Into Storage: ☐ File Format: Record

Upload Via FTP: ☐ File Format: Record

Upload Via Email: ☐ File Format: Snapshot

妨害検知インターフェイス（AI カメラ用）

ステップ1：妨害検知を有効にし、検出感度を設定します。

ステップ2：検知スケジュールを設定します。

ステップ3：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ4：Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

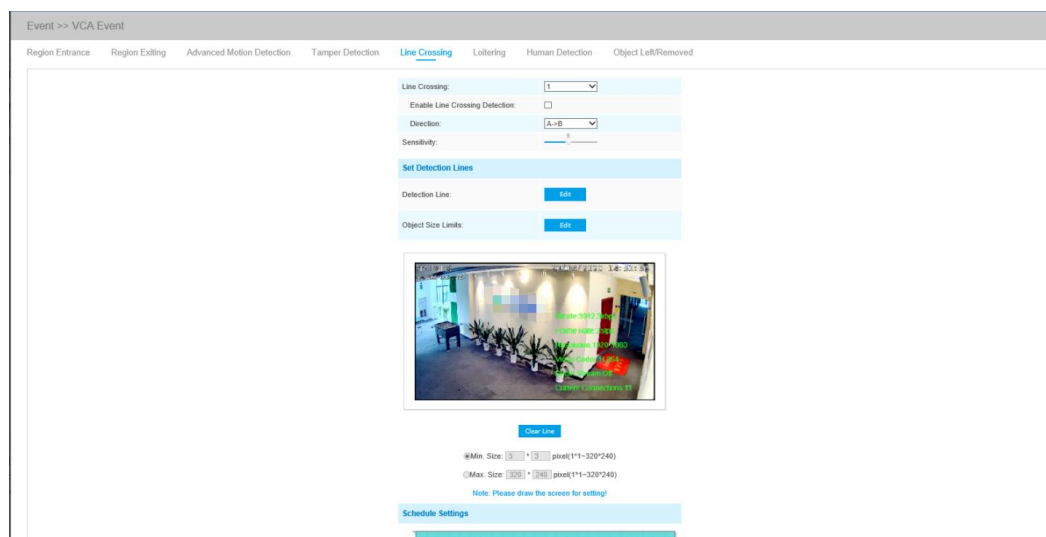
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

注意：

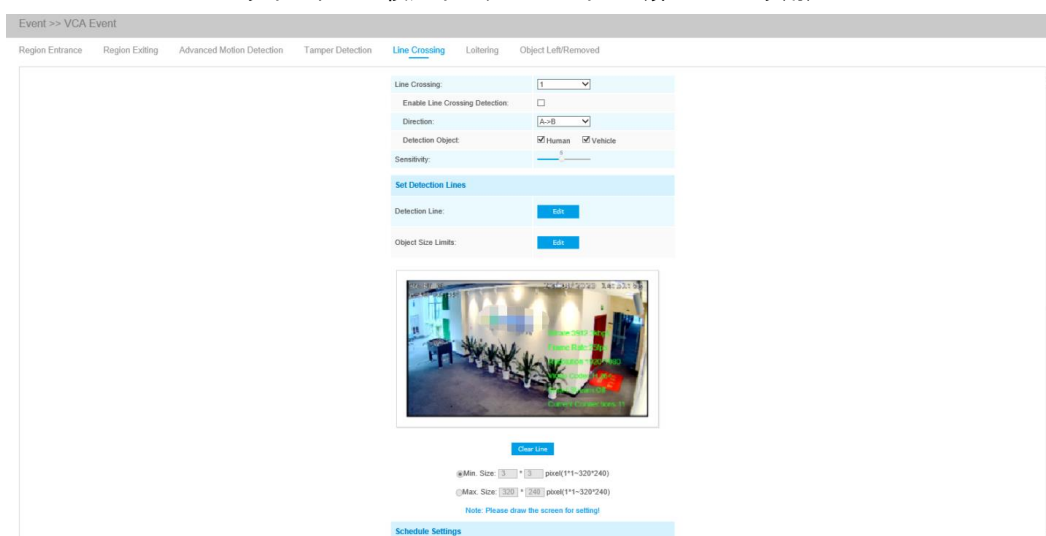
このアルゴリズムは、妨害検知機能でのピンぼけ検出をサポートしています。

Line Crossing（ラインクロス検知）

Line Crossing Detection は、ほとんどの屋内および屋外環境で機能するように設計されています。定義された仮想線を横切るオブジェクトをカメラが検知するたびにイベントが発生します。



ラインクロス検知インターフェイス（非 AI カメラ用）



ラインクロス検知インターフェイス（AI カメラ用）

設定手順は次のとおりです。

ステップ 1：ラインの本数を選択してください。

ステップ 2：Line Crossing Detection 機能を有効にして Direction（方向）を定義してください。

ステップ 3：検出オブジェクトを選択します。人間または車両の属性を選択し、人間または車両を検出して関連イベントをトリガーすると、カメラはアラームが発生します。

注意：すべての AI カメラはこの機能に対応可能です。

ステップ 4：検出感度を設定します。

ステップ 5：検知ラインを描画し、オブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ 6：検知スケジュールを設定します。

ステップ 7：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ 8 : Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	s(1~999)
Play Audio Interval:	Auto

注意 :

一度に 4 本のラインまで設定できます。アラームを作動させるために選択する 3 つの方向モードがあります。「A→B」は、「A」側から「B」側に線をまたいで交差するオブジェクトがあるとアラームが作動することを意味します。「B→A」も同様です。「A↔B」は、オブジェクトが左右どちらから横切ったときにアラームが作動することを意味します。

Loitering（滞留検知）

特定の期間、オブジェクトが定義されたエリア内で滞留していると、アラームが発生します。

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing **Loitering** Human Detection Object Left/Removed

Enable Loitering Detection: ☒

Min. Loitering Time: (3-1800) s

Set Loitering Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:

Min. Size: pixel(11~320*240)

Max. Size: pixel(11~320*240)

Note: Please draw the screen for setting!

滞留検知インターフェイス（非 AI カメラ用）

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing **Loitering** Object Left/Removed

Enable Loitering Detection: ☐

Min. Loitering Time: (3-1800) s

Detection Object: ☒ Human ☒ Vehicle

Set Loitering Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:

Min. Size: pixel(11~320*240)

Max. Size: pixel(11~320*240)

Note: Please draw the screen for setting!

滞留検知インターフェイス（非 AI カメラ用）

ステップ 1：滞留検知を有効にし、最小滞留時間を設定します。

ステップ 2：検出オブジェクトを選択します。人間または車両の属性を選択し、人間または車両を検出して関連イベントをトリガーすると、カメラはアラームが発生します。

注意：すべての AI カメラはこの機能に対応可能です。

ステップ 3：滞留検知のエリアとオブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ 4：検知スケジュールを設定します。

ステップ 5：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ 6 : Alarm settings を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、選択したエリアにオブジェクトが移動すると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが解除されるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

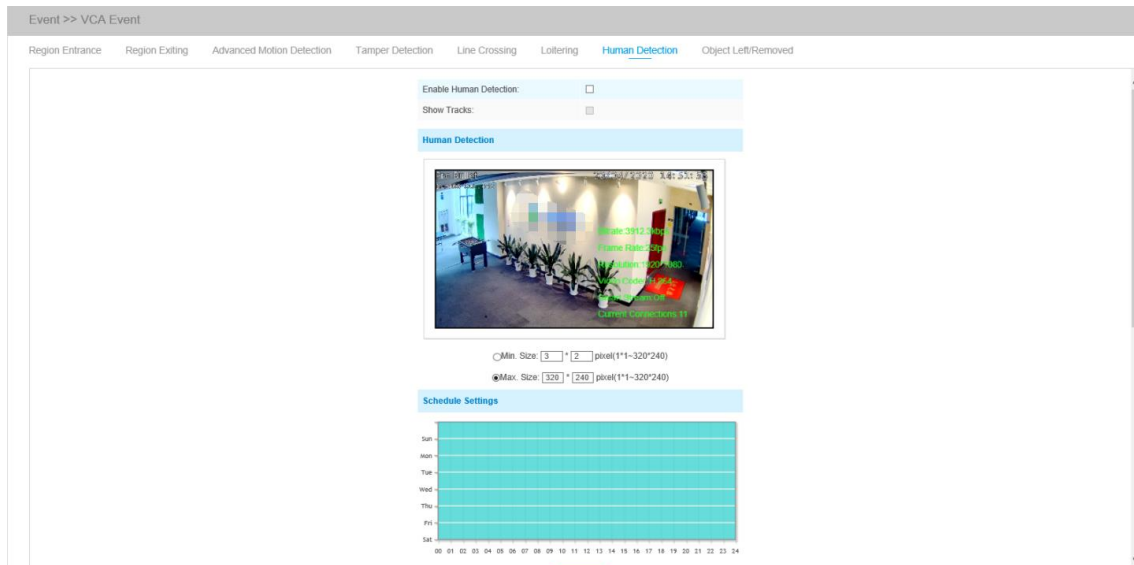
注意：

最小滞留時間を 3 秒から 1800 秒に設定した後、選択されたエリア内を最小滞留時間を超えてうろついているオブジェクトは、アラームを作動させます。また、滞留「Object Size」を設定できません。設定したサイズよりも大きいオブジェクトだけがアラームを作動させます。

Human Detection (人間検知)

Human detection は、オブジェクトが人であるかどうかを判断するために使用されます。人間検知を有効にした場合、検知エリアにオブジェクトが現れると、フレームに ID が表示されます。オブジェクトが人の場合は、「人」としてマークされます。「Show Tracks」を有効にすると、動いているオブジェクトの通った跡が画面に表示されます。

注意： [人間検知] のタブは、すべての AI カメラで個別に表示されなくなりました。



ステップ 1：人間検知を有効にします。

ステップ 2：トラックの表示をチェックします。

ステップ 3：オブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ 4：スケジュール設定を設定します。

ステップ 5：アラームアクションを設定します。PTZ 自動追尾を有効にすると、カメラは「人間」としてマークを付け、検出されたオブジェクトが人間である場合は自動的に人物を追尾します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐
White LED:	☐
PTZ Auto Tracking:	☒

ステップ 6：アラーム設定を設定します。外部出力を有効にして一定の外部出力アクション時間を選択すると、検出されたオブジェクトが「人間」としてマークされている場合、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが解放されるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

Object Left/Removed（置き去り/持ち去り）（オプション）

Object Left は、オブジェクトが予め定義されたエリアに置き去りされた場合、置き去りを検知してアラームプロンプトを表示できます。Object Removed は、オブジェクトが予め定義されたエリアから持ち去りされた場合、持ち去りを検知してアラームプロンプトを表示できます。

Advanced Settings >> VCA

Region Entrance
Region Exiting
Advanced Motion Detection
Tamper Detection
Line Crossing
Loitering
Human Detection
People Counting
Object Left/Removed
Settings

Enable Object Left: ☐
Enable Object Removed: ☐
Min. Time: (10~1800)s
Sensitivity:
Effective Region Settings:

Set Detection Region

Select All
Clear All

Note: Please draw the screen for setting!

置き去り/持ち去りインターフェイス（非 AI カメラ用）

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing Loitering **Object Left/Removed**

☐ Enable Object Left
☐ Enable Object Removed
 Min. Time: (10~1000)s
 Sensitivity: (0~100%)

Set Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:



@Min. Size: * pixel(11~320*240)
 @Max. Size: * pixel(11~320*240)

Note: Please draw the screen for setting!

Schedule Settings

置き去り/持ち去りインターフェイス (AI カメラ用)

ステップ1: 置き去り検知/持ち去り検知を有効にします (または、両方の機能を同時に有効にすることもできます)。

ステップ2: 最短時間を設定します。

ステップ3: 検出感度を設定します。

ステップ4: 検出エリアとオブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズの制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ5: 検出スケジュールを設定します。

ステップ6: アラーム動作を設定します。

Alarm Action

Save Into Storage: ☐ File Format: (Please mount storage device.)
 Upload Via FTP: ☐ File Format:
 Upload Via Email: ☐ File Format:
 External Output: ☐ (Please configure the External Output Action Time.)
 Play Audio: ☐ (Please enable the Audio Speaker.)
 Alarm to SIP Phone: ☐ (Please open the SIP.)
 HTTP Notification: ☒
 HTTP Notification URL:
 Enable: ☒
 Trigger Interval: (0-900) s
 HTTP Method:
 Snapshot: ☐
 URL:
 User Name:
 Password:

ステップ7: アラーム設定をします。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選

択すると、オブジェクトが選択したエリアに入ると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが止まるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

注意：

1. 最小時間を3秒から1800秒に設定した後、選択したエリア内にオブジェクト置き去りされるか、または最小時間内に選択したエリアからオブジェクトが持ち去りされるか、アラームが発生します。
2. 置き去り/持ち去り検知機能はオプションですが、この機能を必要とするならば、販売元に連絡してください。

4.6.3 People Counting（人数カウント）

People Counting では、設定時間中に何人の人が出入りするかをカウントすることができます。

Event >> People Counting

People Counting Statistics Report

Enable People Counting: ☐

Set Detection Lines

Detection Line:

Object Size Limits:



*Min. Size: 3 * 3 pixel(1*1~320*240)
*Max. Size: 320 * 240 pixel(1*1~320*240)
Note: Please draw the screen for setting!

設定手順は以下のとおりです。

ステップ 1：人数カウントを有効にします。

ステップ 2：検出ラインとオブジェクトサイズの制限を設定します。オブジェクトサイズ

の制限は、表 4-6-5 を参照できます。

ステップ 3 : 検出スケジュールを設定します。

ステップ 4 : カウント OSD を設定します。

Counting OSD	
Show Video Title:	☒
Font Size:	Small ▼
Font Color:	
Text Position:	Top-Left ▼

People Counting の OSD は、手動リセットと自動ゼロ調整をサポートしています。

Counting Reset:	Reset ☐ Reset the statistics report together?
Enable Auto Reset:	☒
Day:	Everyday ▼
Time:	00:00:00 

ステップ 5 : アラームトリガーを設定します。しきい値が 1 から 9999 までの特定の値に達すると、アラームがトリガーされます。

Alarm Trigger	
Enable Alarm	☒
Thresholds:	☐ In: 9999 ☐ Out: 9999 ☐ Capacity: 9999 ☐ Sum: 9999

ステップ 6 : アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ 7: アラーム設定を設定します。外部出力を有効にして[一定の外部出力アクション時間]を選択すると、しきい値が設定した特定の値に達すると、外部出力アクションのアラーム時間は、アラームが解放されるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

Save

注意：

矢印の方向に交差すると「In」と記録され、反対側は「Out」と記録されます。

統計レポート

有効期間中の結果は、「統計レポート」インターフェースに表示されます。

Event >> People Counting

People Counting [Statistics Report](#)

Statistics Result

Report Search

Main Type:
People Counting

Report Type:
Daily Report

Statistics Type:
People Entered

Start Time:
2021-02-20 00:00:00

Search

Report Export

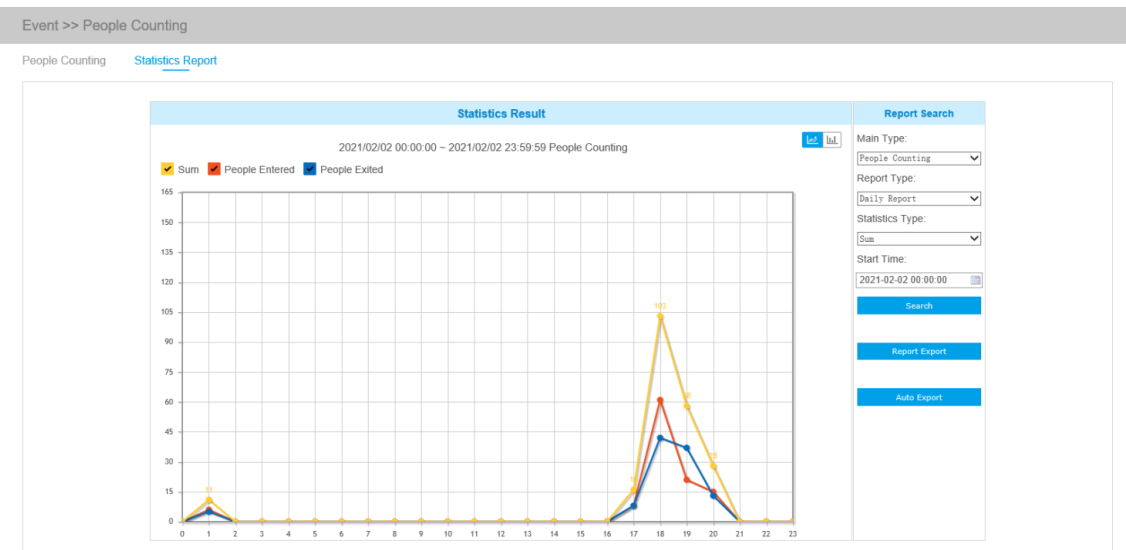
Auto Export

ステップ 1：メインタイプを選択します。

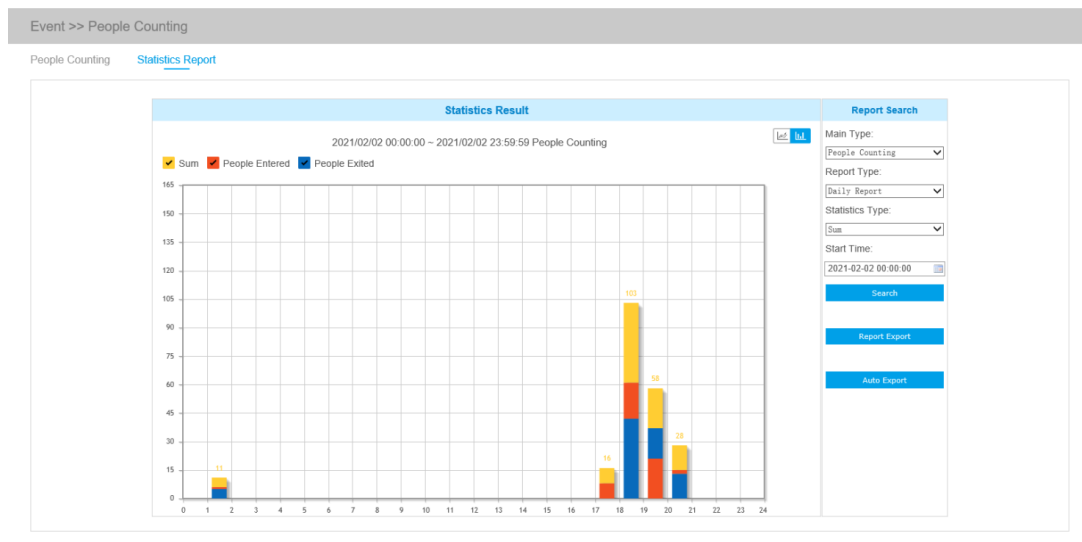
ステップ 2：日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートを含むレポートタイプを選択します。

ステップ 3：入場人数、退場人数また合計を含む統計タイプを選択します。

ステップ 4：[開始時刻]を選択し、[Search](#) ボタンをクリックすると、カメラは開始時刻から（ユーザーが選択したレポートタイプに基づいて）日/週/月/年のデータを自動的にカウントし、対応するレポートを生成します。また、以下に示すように、[📊](#)または[📈](#)をクリックして統計レポートの表示モードを切り替えることもできます。



人数カウント-統計レポート（折れ線グラフ）



人数カウント統計レポート（棒グラフ）

ステップ 5 : ボタン **Report Export** をクリックして、以下に示すように[エクスポート]ウィンドウをポップアップします。[ファイル形式]を選択して、レポートをローカルにエクスポートできます。

Milesight Network Camera

Export

File Format:
☐ PNG
☐ CSV

Save

ステップ 6 : ボタン **Auto Export** をクリックして、以下に示すように統計レポート設定をポップアップします。

Milesight Network Camera

Statistics Report Settings

Export Type:
☐ People Counting

Day:

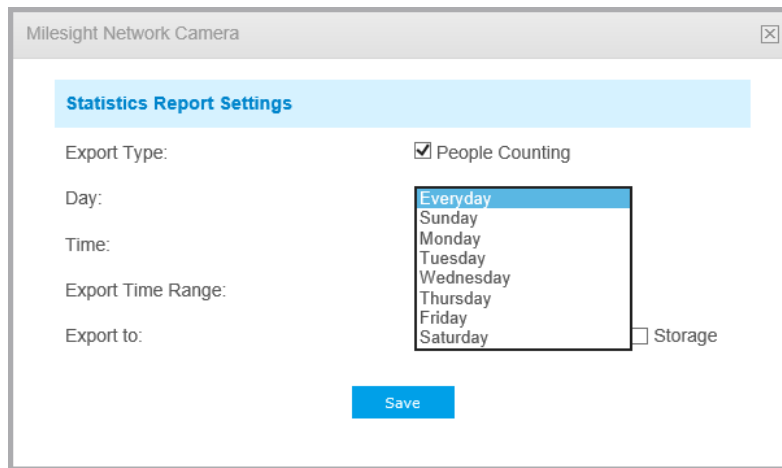
Time:

Export Time Range:

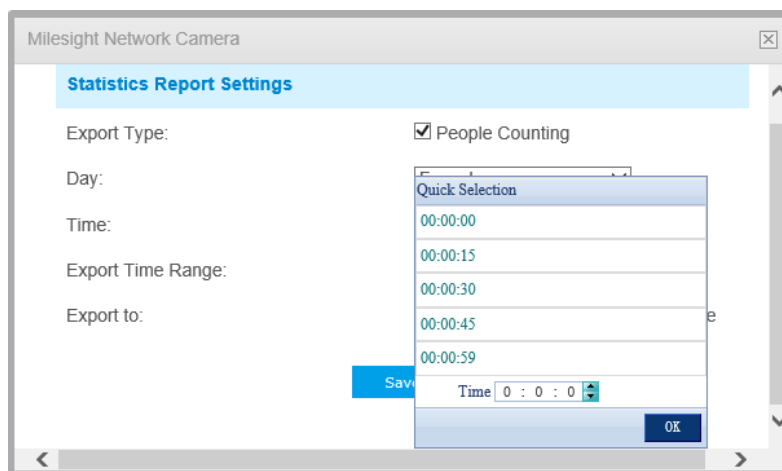
Export to:
☐ FTP
☐ Email
☐ Storage

Save

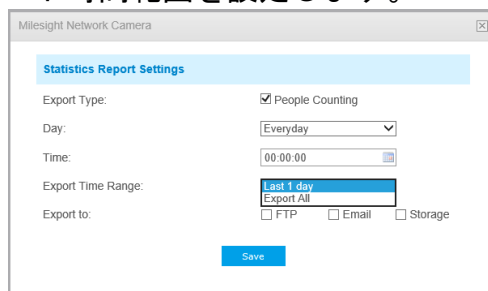
- ①エクスポートタイプを設定します。People Counting がチェックされている場合、灰色の項目は以下に示すように編集可能になります。
- ②日を設定します。[毎日]を選択して日次レポートをエクスポートし、ほかの日を選択して特定の曜日のレポートをエクスポートすることができます。



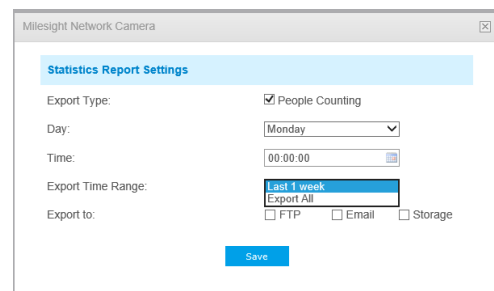
③時間を設定します。統計レポートを自動的にエクスポートする時刻を選択します。カレンダーアイコンをクリックして、次のクイック選択をポップアップ表示できます。



④エクスポート時間範囲を設定します。



毎日を選択



週を選択

⑤自動エクスポートされたレポートの宛先パスを設定します。レポートは、設定された曜日、時刻、およびエクスポート時間範囲に従って、Excel スプレッドシートの形式で FTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートできます。次に、「保存」をクリックします。

注意：

統計レポートが生成される場合には、レポートが csv フォームとして保存されます。

4.6.4 ヒートマップ（オプション）

ヒートマップ機能は、顧客の動きを分析し、必要に応じて時間または空間パターンで直感的で正確な統計分析結果を使用して、ビジネス管理を改善するための洞察を明らかにできます。

注意：

(1) 現在、ヒートマップは、360° パノラマフィッシュアイネットワークカメラの元のビューと 180° パノラマミニブレットネットワークカメラ、180° パノラマミニドームネットワークカメラの歪み補正ビューでのみサポートされています。

(2) ヒートマップ機能を使用するには、カメラを V43.7.0.72-r7 にアップグレードしてください。

(3) SD カードまたは NAS なしで、7 日以内にレポートを表示することのみが許可されます。

設定

ステップ 1：ウェブにログインした後、「詳細設定」→「ヒートマップ」に移動します。[ヒートマップを有効にする]チェックボックスをオンにして、以下に示すようにヒートマップ

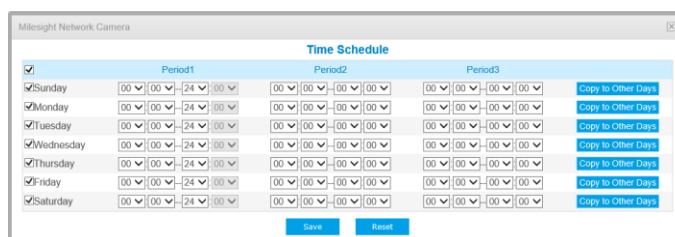
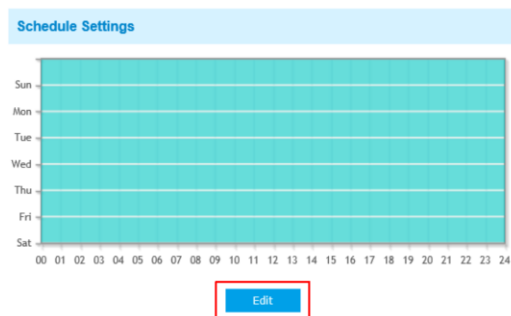
設定を設定します。

表 4-5-20 ボタンの説明

パラメータ	機能説明
Sensitivity	レベル 1～10 を調整可能です。デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、移動オブジェクトが記録されやすくなります。
Min. Object Size	最小オブジェクトサイズを 1～100 に設定します。デフォルト値は 10 です。この値より小さいオブジェクトは記録されません。
Min. Dwell Time	最小滞留時間を 1 から 300 に設定します。デフォルト値は 30 です。オブジェクトが設定された「最小滞留時間」よりも長いエリアに留まっている場合、記録されません。
Scene Change Adaptability	レベル 1～10 を調整可能です。デフォルトのレベルは 5 です。シーン変更適応性はシーンの変更に対するカメラの適応性を示し、検出の精度を高めることができます。値が高いほど、カメラは変化の速いシーンによりよく適応します。

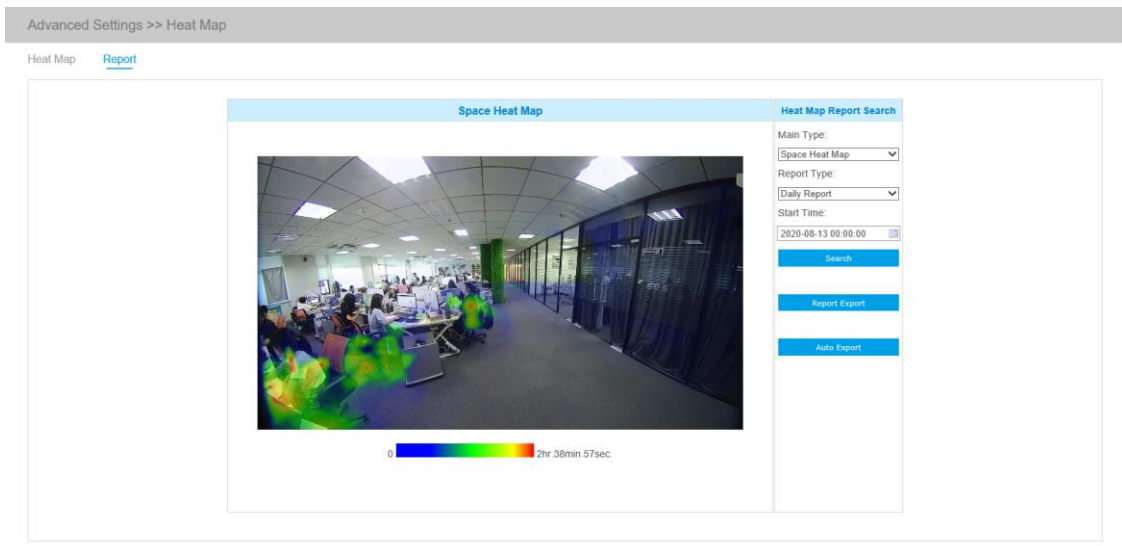
ステップ 2 : ヒートマップエリアを設定します。画面を描いて検出エリアを設定します。[すべて選択] ボタンをクリックしてすべてのエリアを選択するか、[すべてクリア] ボタンをクリックして現在の描画エリアを削除できます。

ステップ 3 : スケジュール設定。「編集」 ボタンをクリックして、スケジュールを作成できます。そして、設定が完了したら「保存」または「リセット」をクリックします。



レポート

結果は「レポート」インターフェースに表示されます。



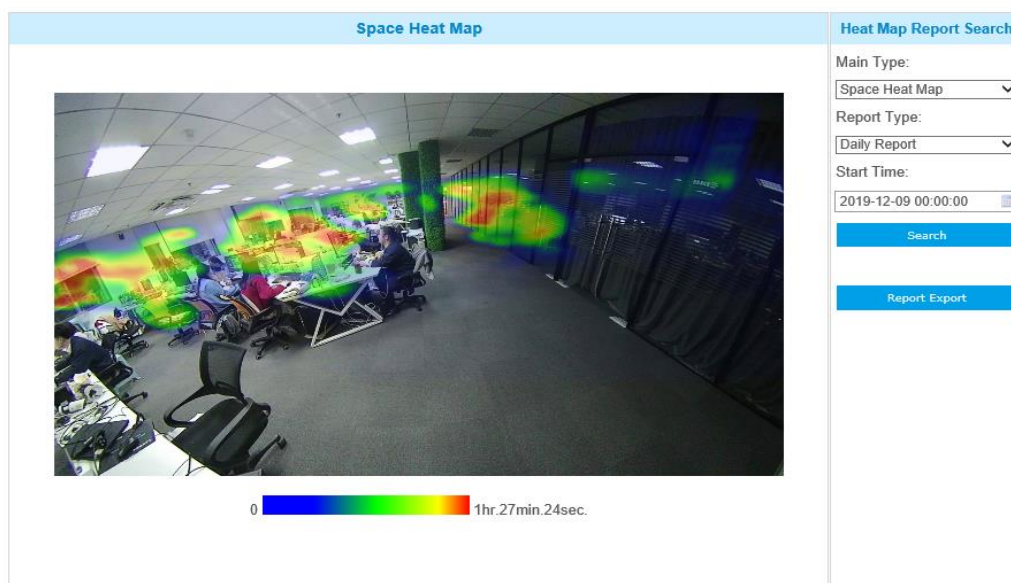
ステップ1: メインヒートマップタイプを選択します。

[スペースヒートマップ]: スペースヒートマップは、異なる色の画像として表示されます。異なる色は異なる人気程度を表します。赤は最高を表し、青は最低を表します。

[タイムヒートマップ]: タイムヒートマップは折れ線グラフで表示され、さまざまな時間のヒートを示します。

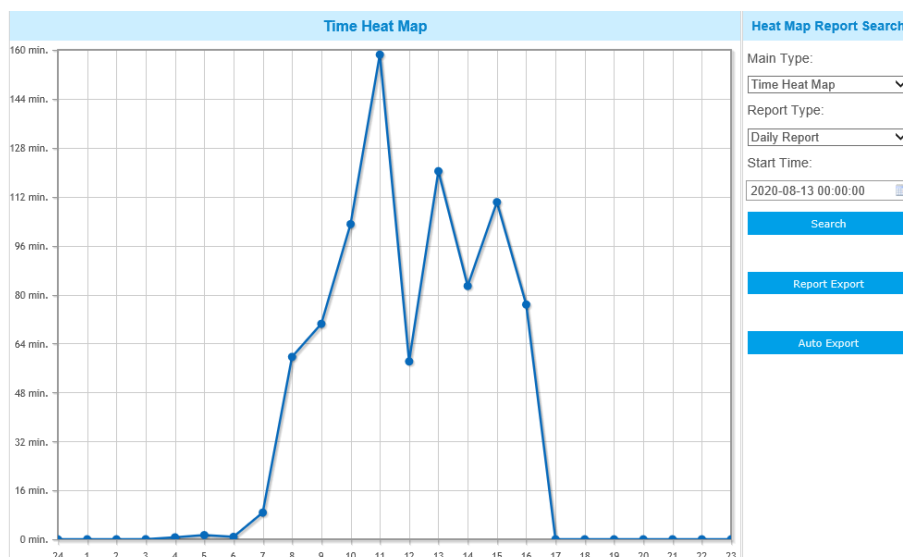
ステップ2: 日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートなどのレポートタイプを選択します。

ステップ3: 開始時間を選択し、「検索」ボタンをクリックすると、カメラは開始時間から（ユーザーに選択されたレポートタイプに基づいて）日/週/月/年のデータを自動的にカウントし、対応するデータを生成します。以下に示すようにレポートします。



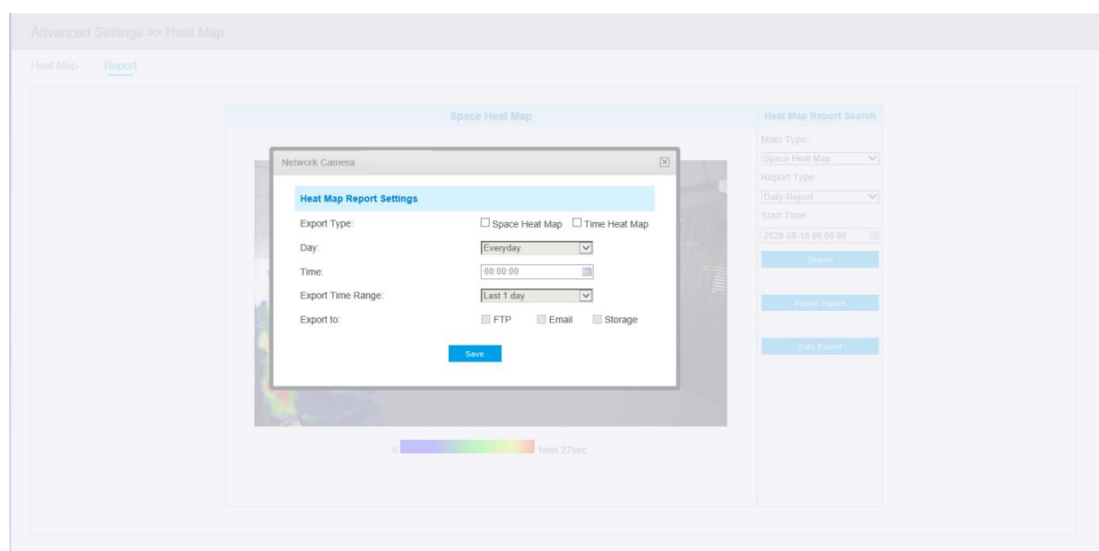
スペースヒートマップ

ステップ4: [レポートのエクスポート]ボタンをクリックして、レポートをローカルにエクスポートします。



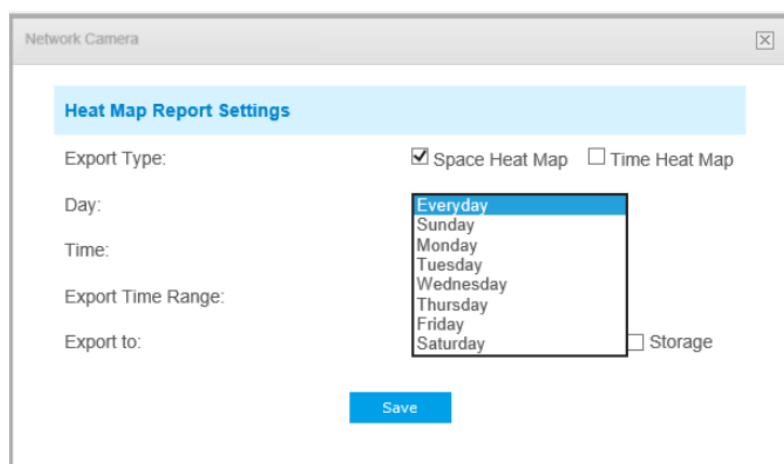
タイムヒートマップ

ステップ 5 : [自動エクスポート] ボタンをクリックして、以下に示すようにヒートマップレポート設定をポップアップします。

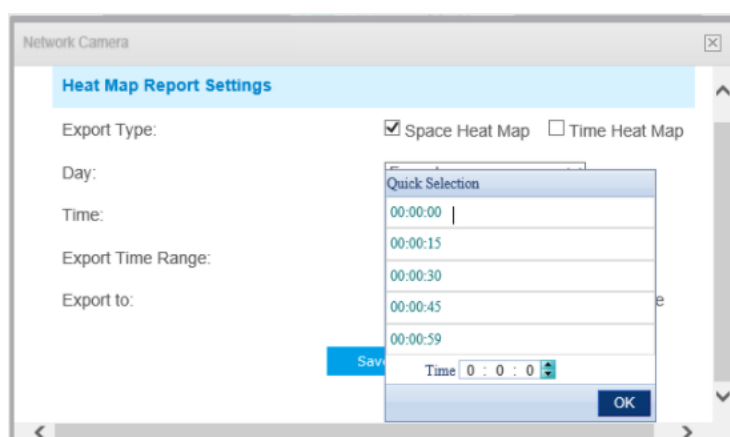


① エクスポートタイプを設定します。ユーザーは、スペースヒートマップまたはタイムヒートマップ、あるいはその両方をチェックできます。スペースヒートマップまたはタイムヒートマップのいずれかをチェックすると、灰色の項目は以下のように編集可能になります。

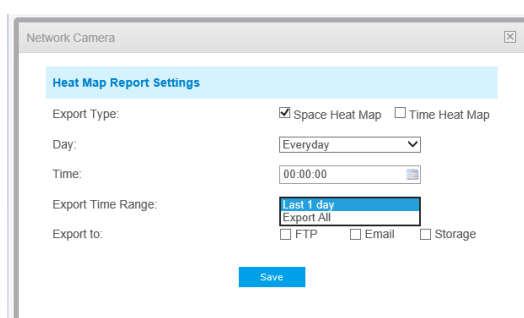
② 日を設定します。ユーザーは[毎日]を選択して日次レポートをエクスポートし、ほかの項目を選択して特定の曜日にレポートをエクスポートできます。



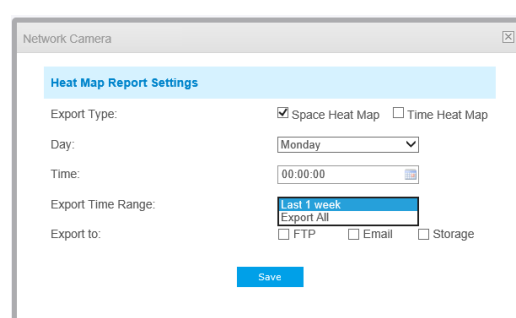
③ 時間を設定します。ユーザーは、ヒートマップを自動的にエクスポートする時刻を選択し、カレンダーアイコンをクリックして、次のクイック選択をポップアップ表示できます。



④ エクスポート時間範囲を設定します。

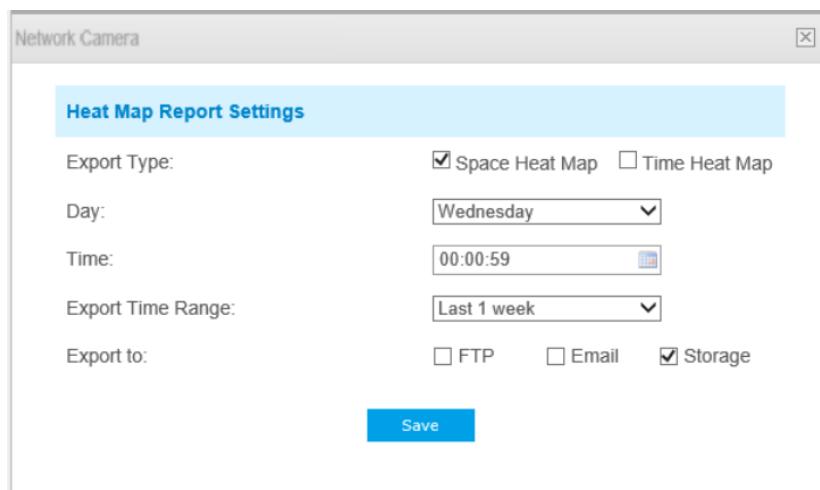


日（「毎日」を選択）



日（「週」を選択）

⑤ 自動エクスポートされたレポートの宛先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時刻、およびエクスポート時間範囲に応じて、Excel シートまたは画像の形式で FTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートできます。次に、「保存」をクリックします。



Network Camera

Heat Map Report Settings

Export Type: ☒ Space Heat Map ☐ Time Heat Map

Day: Wednesday

Time: 00:00:59

Export Time Range: Last 1 week

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☒ Storage

Save

現在のスペースヒートマップが生成されると、png 画像として保存されます。現在のタイムヒートマップが生成されると、csv 形式で保存されます。

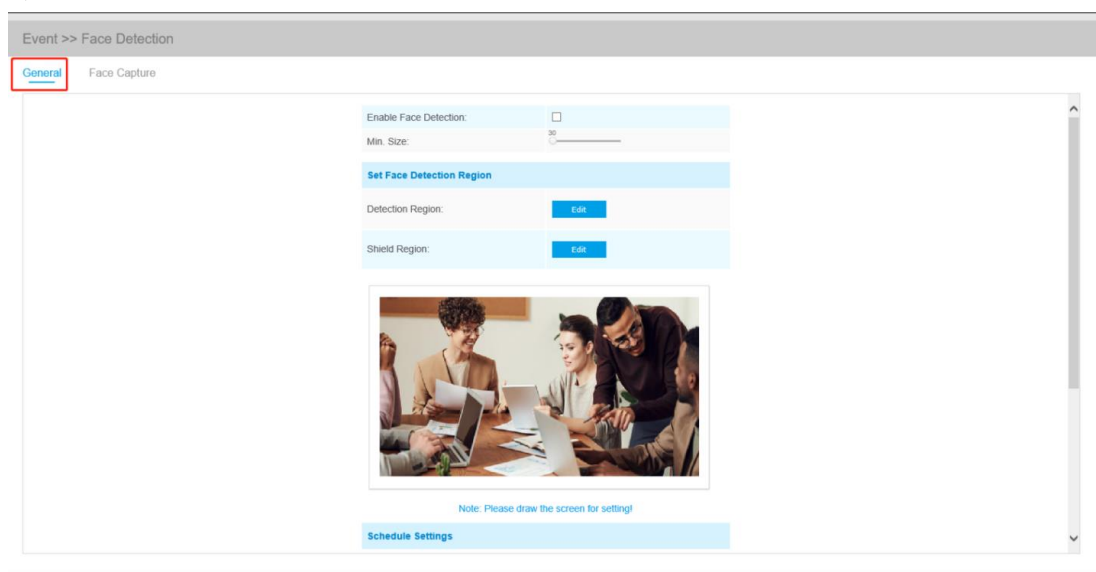
4.6.5 顔検知（オプション）

一般

顔検知（Face Detection）機能は、描画エリアに表示される顔を検知し、NAS、FTP、SMTP、HTTP 通知などに顔のスクリーンショットをアップロードすることをサポートします。

注意：

只今、顔検出は AI カメラでのみサポートされています。



Event >> Face Detection

General Face Capture

Enable Face Detection: ☐

Min. Size: 30

Set Face Detection Region

Detection Region: Edit

Shield Region: Edit



Note: Please draw the screen for setting!

Schedule Settings

設定手順は以下のとおりです。

ステップ 1：顔検出を有効にします。

ステップ2：最小オブジェクトサイズを設定します。

ステップ3：検出エリアを設定します。検出エリアをドラッグしてサイズを調整できます。このエリアにおいて、顔のみが検出されます。

ステップ4：シールドエリアの設定は、検出エリアのいくつかの場所の顔が検出されないようにすることです。最初にプレビューインターフェイスでシールドエリアを描画してから、[追加]ボタンをクリックします。描かれたシールドエリアは最大で4つあります。

ステップ5：検出スケジュールを設定し、「保存」をクリックします。

フェイスキャプチャ

ここでは、フェイスキャプチャスナップショットの設定ができます。

Face Capture Configuration	
Capture Mode:	Quality Priority ▼
Capture Quality:	1 <input type="range"/>
Snapshot Type:	Face Only ▼ ☒ Background
Snapshot:	1 ▼
Record Video Sections:	30 seconds ▼
Save Into NAS:	☐ File Format: Snapshot ▼
Upload Via FTP:	☐ File Format: All ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼

Face Detection Message Post Settings	
Enable Face Detection Message Post:	☒
Post Type:	HTTP ▼
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	Leah
Password:	••••••••

Save

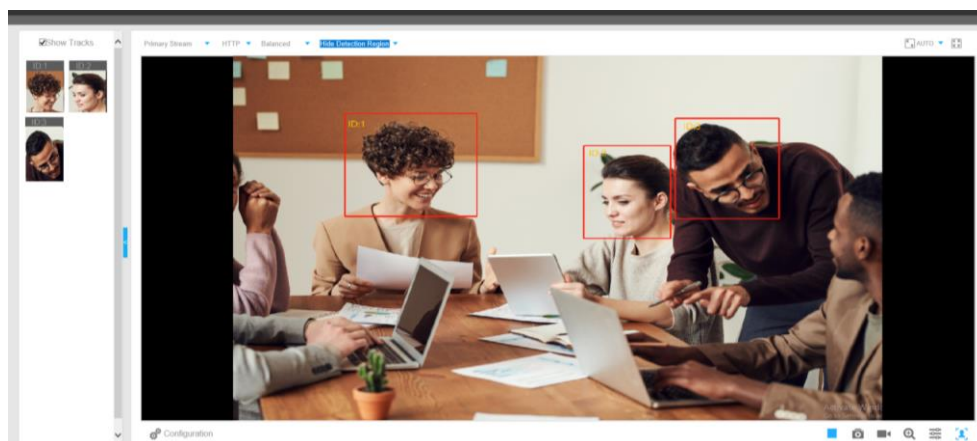
表 4-5-7 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Capture Mode	Quality Priority、Timeliness Priority、Customize が利用できます。 Quality Priority：このモードでは、顔が検知されると、最高品質の顔のスクリーンショットがプッシュ型配信されます。 Timeliness Priority：このモードでは、顔が検知されると、最短時間で顔のスクリーンショットがプッシュ型配信されます。

	Customize : このモードでは、Snapshot Interval、Oblique Face Angle Limit、Pitching Face Angle Limit、Side Face Angle Limit、Blur Limit など、いくつかの検知条件をカスタマイズできます。
Capture Quality	スナップショット品質のしきい値を設定します。キャプチャしたスナップショットの品質が設定値に達すると、ライブビューにプッシュされます。値が高いほど、スナップショットの品質が高くなります。
Snapshot Interval	80 ミリ秒、200 ミリ秒、500 ミリ秒、1 秒、2 秒、4 秒が利用可能です。 注意 : カスタマイズモードではオプションです。
Oblique Face Angle Limit	Oblique Face Angle Limit を 1~180 に設定します。値が大きいほど、検知できる顔の斜角が大きくなります。デフォルト値は 120 です。 注意 : カスタマイズモードではオプションです。
Pitching Face Angle Limit	Pitching Face Angle Limit を 1~180 に設定します。値が大きいほど、検知できる顔のピッチ角が大きくなります。デフォルト値は 120 です。 注意 : カスタマイズモードではオプションです。
Side Face Angle Limit	Side Face Angle Limit を 1~180 に設定します。値が大きいほど、検知できる横顔の角度が大きくなります。デフォルト値は 120 です。 注意 : カスタマイズモードではオプションです。
Blur Limit	Blur Limit を 1~10 に設定します。値が大きいほど、よりぼやけた顔が検知できます。デフォルト値は 5 です。 注意 : カスタマイズモードではオプションです。
Snapshot Type	Face Only 、 Upper Body 、 Whole Body が利用可能です。 Face Only : 顔のみのスクリーンショットを撮ります。 Upper Body : 上半身のスクリーンショットを撮ります。 Whole Body : 全身のスクリーンショットを撮ります。 「Background」オプションにチェックを入れれば、全体の画像の別のスクリーンショットが撮れます。
Snapshot	スクリーンショット数を 1~5 に設定します。設定したスナップショット間隔に基づいてスクリーンショットが撮られます。
Record Video Sections	6 つの異なる時間が利用可能です (5、10、15、20、25、30 秒)。
Save Into NAS	アラームファイルを NAS に保存します。
Upload Via FTP	FTP 経由でアラームファイルをアップロードします。
Upload Via Email	E メール経由でアラームファイルをアップロードします。
Enable Face Detection Message Post Settings	チェックボックスをオンにして、顔検出メッセージポストを有効にします。サードパーティのデバイスまたはソフトウェアに情報をプッシュします。情報は TCP または HTTP でプッシュできます。
Post Type	情報は TCP または HTTP でプッシュできます。
HTTP Notification	指定された HTTP URL にアラームニュースをポップアップすることをサポートします。
Enable	チェックボックスをオンにすると、HTTP 通知 URL が有効になります。

Trigger Interval	一部のサードパーティデバイスに情報をプッシュするカメラのトリガー間隔です。
HTTP Method	Post と Get を含む 2 つの HTTP プッシュ方法があります。
Snapshot	スナップショット付きの情報を一部のサードパーティのデバイスまたはソフトウェアにプッシュするかどうかを選択します。 注意： このオプションは、URL1 でのみ使用できます。
URL	カメラは、API URL を使用して、検出された顔がキャプチャされたときに LPR 情報をバックエンドデバイスに送信できます。API URL 形式は次のように入力されます。 http://IP:Port/api/lpr?
User Name	受信名
Password	受信者パスワード

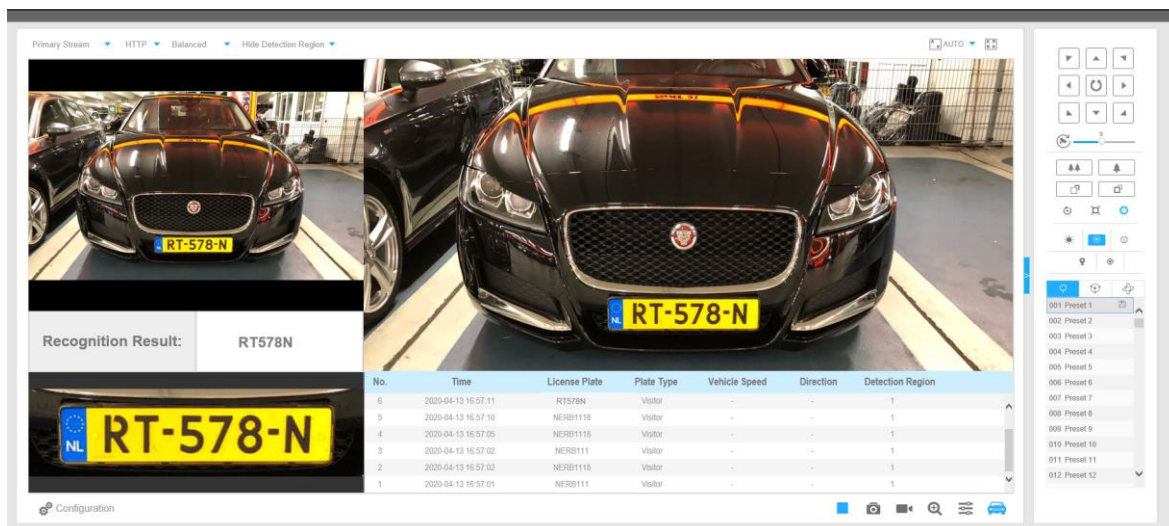
カメラは、設定した地域と条件に従ってライブビューで顔を検出します。[トラックを表示] オプションをオンにすると、ライブビューの左側に ID 付きの顔のスクリーンショットが表示されます。



4.7 LPR（オプション）

4.7.1 ライブビデオ

LPR カメラは、プロフェッショナル LPR ライブビューインターフェースをサポートし、リアルタイムのナンバープレート認識結果を表示し、検出されたナンバープレートのスナップショットも表示でき、スタンドアロンの LPR ソリューションを実現します。



注意：

スナップショット/録画（ / ）の場合、ボタンをクリックして現在の画像/ビデオをキャプチャ/録画できますが、プラグインで IE ブラウザーを使用している場合のみ、PC の設定済みパスに自動的に保存され、対応するフォルダーがポップアップします。また、プラグインフリーモードで Chrome/Firefox/Safari/Edge ブラウザを使用している場合、対応するフォルダが自動的にポップアップ表示されて詳細が表示されません。

4.7.2 設定

LPR 機能は、リアルタイムでナンバープレート自動的に検知してスクリーンショットを撮り、事前に定義されたリストと比較して、ナンバープレートが事前に定義されたブラックリストに載っていれば、アラートを生成するなどの適切な措置を取ります。

注意：

- (1) LPR は 12 倍速 AF 電動プロブレット、ミニ PoE PTZ ブレット、ABF プロボックス、バンドルブルーフ電動ミニブレット、電動プロブレット・ネットワークカメラではオプションです。
- (2) 現在、**LPR1**、**LPR2**、**LPR3** の 3 つの LPR バージョンがあります。LPR1 はアジア地域用、LPR2 はヨーロッパ地域用、旧ソビエト連邦用、LPR3 は韓国用です。
- (3) LPR カメラの[イベント]タブには、基本イベントのみがあります。

一般

LPR >> Settings

General List Management Black List Mode White List Mode Visitor Mode

Enable License Plate Recognition: ☐

License: a13d45b05507864dc1172

License Status: Valid

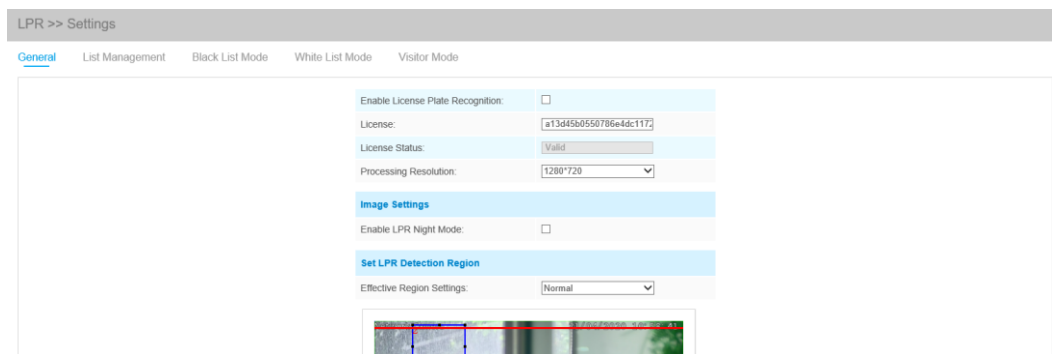
Processing Resolution: 1280*720

Image Settings

Enable LPR Night Mode: ☐

Set LPR Detection Region

Effective Region Settings: Normal



ステップ 1: ライセンスを入力して「Save」をクリックします。ライセンスステータスが「Valid」になると、カメラはナンバープレートの検知を開始できます。

Enable License Plate Recognition:	☒
License:	7325220EC7B6C181B38A
License Status:	Valid
Processing Resolution:	1280*720

注意: LPR 機能をアクティブにするには、ライセンスを入力する必要があるのは LPR2 と LPR3 のみです。

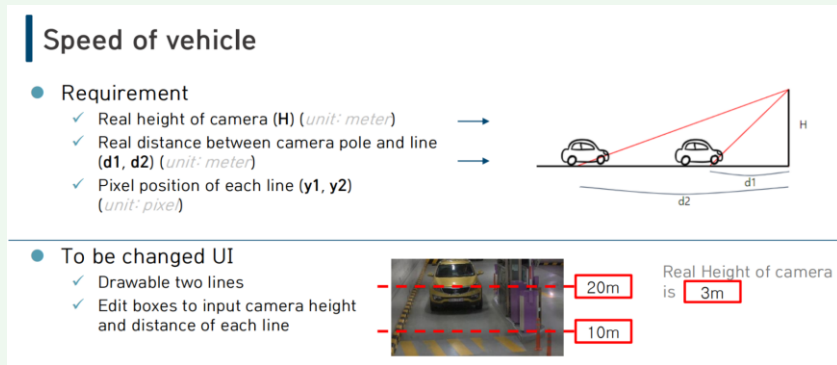
ステップ 2: LPR ナイトモードは、さまざまなパラメーターレベルを調整することにより、最適な LPR ナイト認識効果をサポートします。

Enable License Plate Recognition:	☒
License:	7325220EC7B6C181B38A
License Status:	Valid
Processing Resolution:	1280*720

ステップ 3: チェックボックス「Enable License Plate Recognition」にチェックを入れ、興味のある地域を選択してスクリーンを描くことができます。

表 4-6-16 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
License (LPR2 と LPR3 のみ)	カメラの情報によって生成されます。
License Status (LPR2 と LPR3 のみ)	Valid、Invalid など、現在のナンバープレートのステータスを表示します。
Processing Resolution	1920*1280、1280*720、640*360、320*176 を含む、LPR 分析用のストリームの解像度。
Country/ Region (LPR1 のみ)	国/地域を選択して、ナンバープレートを検出します。

Effective Settings (PTZ シリーズのみ)	Region	通常：現在のエリアの LPR 検出エリアを設定します。 アドバンス：さまざまな PTZ プリセットにさまざまな LPR 検出エリアを設定します（これまではプリセット 1~4 のみをサポートします）。																				
Enable Day/Night Detection Mode (LPR3 のみ)		このオプションを有効にすると、カメラはデイ/ナイトモードに応じて異なる検出モードを有効にします。																				
Enable Vehicle Speed Detection (LPR3 のみ)		このオプションを有効にすると、カメラは車速を検出し、「ログ」インターフェースに結果を表示します。 ライブビューに 2 本の線（Line1 と Line2）を描画し、カメラの設置高さ、水平距離 1 および水平距離 2 を入力する必要があります。カメラは、描画した線と入力されたデータを組み合わせて車両速度を計算します。 カメラ設置高さ：カメラの実際の高さ。 水平距離 1：カメラのポールとライン 1 間の実際の距離。 水平距離 2：カメラのポールとライン 2 間の実際の距離。 Speed of vehicle - Requirement - Real height of camera (H) (unit: meter) - Real distance between camera pole and line (d1, d2) (unit: meter) - Pixel position of each line (y1, y2) (unit: pixel) - To be changed UI - Drawable two lines - Edit boxes to input camera height and distance of each line 																				
Add		画面を描画して関心のあるエリアを選択し、「追加」ボタンをクリックしてエリアを追加します。4 つの認識エリアのみを追加できます。エリアの名前を編集するか、下のリストでエリアを削除できます。 <table><thead><tr><th>ID</th><th>Name</th><th>Edit</th><th>Delete</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>ROI_1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>ROI_2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>ROI_3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>ROI_4</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 注意： 認識できるのは、150 ピクセルを超えるプレートのみです。	ID	Name	Edit	Delete	1	ROI_1			2	ROI_2			3	ROI_3			4	ROI_4		
ID	Name	Edit	Delete																			
1	ROI_1																					
2	ROI_2																					
3	ROI_3																					
4	ROI_4																					
Clear		[クリア]ボタンをクリックして、描画中のエリアをクリアします。																				
Delete All		[すべて削除]ボタンをクリックして、追加したすべてのエリアを削除します。																				

ステップ 4：スケジュール設定。[編集]ボタンをクリックして、スケジュールを描画できます。

Schedule Settings

Edit

ステップ 5 : 検出設定と LPR メッセージ投稿設定を設定します。

Detection Settings

Detection Trigger:	Always ▼
Confidence Level:	4
Repeat Plate Checktime:	0 ▼ millisecond (0~60000ms)
Features Identification:	☐ All ☐ Direction ☐ Detection Region ☐ Region

LPR Message Post Settings

Enable LPR Message Post:	☒
Post Type:	HTTP ▼
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot Type:	All ▼
HTTP Notification URL:	▲ ▼
User Name:	
Password:	

表 4-6-17 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Detection Trigger	常に：このモードでは、カメラは常にナンバープレートを検出します。 アラーム入力：このモードでは、カメラはアラーム入力トリガーされている間のみナンバープレートを検出します。
Confidence Level	信頼レベルは 1~10 に設定できます。 ナンバープレートの信頼レベルが設定された信頼レベルよりも高い場合、ナンバープレートの画像がスマート検索インターフェイスにプッシュされます。
Repeat Plate Checktime	ナンバープレートを繰り返し読み取る間隔を設定して、駐車車両の重複識別を効果的に回避します。 プレートチェックタイムの繰り返しを 0~60 分または 0~60000 ミリ秒

	に設定できます。
Feature Identification	リージョン (LPR2 のみ) 、ROI_ID、方向、またはすべてをチェックして機能の識別を有効にすると、「ログ」インターフェースに対応する情報が表示されます。
Enable LPR Message Post	チェックボックスをオンにして、LPR メッセージポストを有効にします。それは、当社と互換性のある第三者のデバイスまたはソフトウェアに情報をプッシュします。
Post Type	情報は、RTSP、TCP、または HTTP によってプッシュできます。
HTTP Method	Post と Get を含む 2 つの HTTP プッシュメソッドがあります。
Snapshot Type	スナップショットには、すべて、ナンバープレート、フルスナップショットの 3 種類があります。[すべて]を選択すると、ナンバープレートスナップショットとフルスナップショットがプッシュされます。 注意： このオプションは、Post HTTP メソッドでのみ使用できます。
HTTP Notification URL	LPR カメラは API URL を使用して、ナンバープレートが認識されたときに LPR 情報をバックエンドデバイスに送信できます。API URL 形式は次のように入力されます。 http://IP:Port/api/lpr?
User Name	受信名
Password	受信パスワード

注意：

ナンバープレートシリアルフォーマット機能は、識別ルールの定式化をサポートし、追加の処理を自動的に実行し、非標準フォーマットでナンバープレートをフィルター処理して、よりインテリジェントで正確なナンバープレート認識を実現できます。

Settings

Add
Delete All

ID	License Plate Character Count	License Plate Serial Format	Enable	Edit	Delete
0	ALL	*	☐		
1	6	AA111A	☒		
2	7	AA111A*	☒		

☒ Filter out results with incorrect character count
A - Letters Only
1 - Numbers Only
* - Unrestricted Type
Example: AA111*

Save

アドバンス

インターフェイスでは、ライセンスプレート認識のスナップショットの表示情報を設定し

たり、FTP または電子メールを介してアップロードされたスナップショットのファイル名をカスタマイズしたり、ローカル LPR 画像ファイルパスに保存したりできます。

LPR >> Settings

General **Advanced** List Management Black List Mode White List Mode Visitor Mode

Snapshot OSD

Font Size: Medium

Font Color:

Background Color: ☐

OSD Position: Top

OSD Information:

☐ All

☐ Time

☐ Plate Type

☐ Direction

☐ Position

☐ Device ID

☐ License Plate

☐ Vehicle Speed

☐ Detection Region

☐ Device Name

☐ Line Break Character

Snapshot File Name

Separator:

Item of File Name:

☐ All

☐ Time

☐ Plate Type

☐ Direction

☐ Position

☐ Device ID

☐ License Plate

☐ Vehicle Speed

☐ Detection Region

☐ Device Name

Note: The file name of full-snapshot will be preceded by a number of 4.

Save

表 4-6-3 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明												
Font Size	OSD 情報には、小/中/大のサイズが利用できます。 注意 ：スナップショット OSD フォントサイズとイメージ OSD フォントサイズは対応しています。												
Font Color	OSD 情報に異なる色を設定できるようにします。 注意 ：スナップショット OSD フォントの色とイメージ OSD フォントの色は対応しています。												
Background Color	チェックボックスをオンにして、スナップショット OSD 情報の背景色を選択します。 注意 ：背景色をフォントの色と同じにすることはできません。												
OSD Position													
OSD Information	チェックボックスをオンにすると、OSD 情報の位置が表示されます。 OSD コンテンツをカスタマイズします。以下に示すように、OSD 情報を設定できます。 Snapshot OSD Font Size: Medium Font Color: Background Color: ☒ OSD Position: Top ☐ All ☒ Time ☐ Plate Type ☐ Direction ☒ Position ☐ Device ID ☒ License Plate ☐ Vehicle Speed ☐ Detection Region ☐ Device Name ☐ Line Break Character <table><tr><th>OSD Information</th><th>Space</th><th>Sorting</th></tr><tr><td>Time</td><td> 1 </td><td> ⇅ </td></tr><tr><td>License Plate</td><td> 1 </td><td> ⇅ </td></tr><tr><td>Position: Position </td><td> 1 </td><td> ⇅ </td></tr></table> ナンバープレートが認識され、アラームがトリガーされると、ナンバープレート認識のスナップショットは次のように表示されます。	OSD Information	Space	Sorting	Time	1	⇅	License Plate	1	⇅	Position: Position	1	⇅
OSD Information	Space	Sorting											
Time	1	⇅											
License Plate	1	⇅											
Position: Position	1	⇅											

	
Separator	「-」、「_」、およびスペースは、ファイル名区切り形式で使用できます。デフォルトの区切り文字は「-」です。
Item of File Name	選択した項目に応じて、スナップショットファイル名をカスタマイズできます。 チェックされるデフォルトの項目は、時間とナンバープレートです。

アイテムがチェックされるたびに、リストにはアイテム名と並べ替え操作を含むアイテム行が追加されます。  と  ボタンをクリックして、これらのアイテムを並べ替え、区切り文字を選択してこれらのアイテム名を接続できます。また、Position および Device ID のコンテンツをカスタマイズできます。すべての項目をチェックすると、機能インターフェイスは次のように表示されます。

Snapshot File Name

Separator:

-

Item of File Name:

☒All
☒Time
☒Plate Type
☒Direction
☒Position
☒Device ID

☒License Plate
☒Vehicle Speed
☒Detection Region
☒Device Name

Item of File Name	Sorting
Plate Type	 
Vehicle Speed	 
License Plate	 
Direction	 
Detection Region	 
Position: Position	 
Device Name	 
Time	 
Device ID: Device ID	 

Note: The file name of full-snapshot will be preceded by a number of 4.

注意:

少なくとも1つの項目をチェックする必要があります。

たとえば、次のようにアイテム、区切り文字、アイテムの並べ替えを選択できます。

Snapshot File Name

Separator:

-

Item of File Name:

☐All
☒Time
☐Plate Type
☐Direction
☐Position
☐Device ID

☒License Plate
☐Vehicle Speed
☐Detection Region
☐Device Name

Item of File Name	Sorting
Time	 
License Plate	 

Save

ナンバープレートが認識されると、スナップショットはFTP または電子メールでアップロードされるか、ローカルの LPR 画像ファイルパスに保存されます。次に、以下に示すよう

にカスタマイズしたスナップショットファイル名を確認できます。



フルスナップショット認識に成功



フルスナップショット認識に失敗



ナンバープレートスナップショット認識に成功



ナンバープレートスナップショットに失敗

注意:

- 1) チェックした項目が正常に認識されない場合、項目は特定の記号「#」で表示されます。
- 2) フルスナップショットのファイル名の前には 4 の数字が付きます。

リストマネージメント

Black または White タイプ（ブラック／ホワイトリスト）としてこのインターフェースにナンバープレートを追加してください。そうすれば、これらのナンバープレートに対して、対応するブラックリストモードまたはホワイトリストモードのインターフェースでアラームアクションを設定できます。これらのナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

表 4-6-4 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
-------	-------

Add License Plate	ナンバープレートのタイプを Black または White として選択し、ナンバープレートを入力し、「Add」ボタンをクリックすると、ナンバープレートが追加されます。
Batch Upload	追加したいナンバープレートの csv フォーマットが追加できます。「Browse」ボタンをクリックして、このインターフェースにフォームをインポートし、「Upload」ボタンをクリックしてください。ナンバープレートが追加されます。 注意： このインターフェースの参照として、最初にテンプレートをダウンロードできます。
List Search	ナンバープレートのタイプを選択するか、ナンバープレートの番号を直接入力し、「Search」ボタンをクリックすると、対応するナンバープレートが以下のリストに表示されます。
Export List	現在のリストのナンバープレートを csv フォームにローカルにエクスポートするには、「Export List」ボタンをクリックします。
Delete List	現在のリストにあるナンバープレートをすべて削除するには、「Delete List」ボタンをクリックします。

注意：1000 個のブラックリストとホワイトリストの追加をサポートしています。

ブラックリストモード

ステップ1：チェックボックスにチェックを入れてブラックリストモードを有効にします。

ステップ2：スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックすればスケジュールを描くことができます。

ステップ3：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4：Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot Type:	License Plate
Snapshot:	1
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	30 seconds
Play Audio Interval:	Auto

その後、「Black」とマークされたナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

ホワイトリストモード

LPR >> Settings

General
Advanced
List Management
Black List Mode
White List Mode
Visitor Mode

Enable White List Mode:
☐

Schedule Settings

Sun
Mon
Tue
Wed
Thu
Fri
Sat

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Edit

Alarm Action

☐ File Format: Snapshot
(Please mount storage device.)

☐ File Format: Record

☐ File Format: Snapshot

☐ (Please configure the External Output Action Time.)

☐ (Please open the SIP.)

ステップ1：チェックボックスにチェックを入れてホワイトリストモードを有効にします。

ステップ2：スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックするとスケジュールを描くことができます。

ステップ3：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4： Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot Type:	License Plate
Snapshot:	1
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	30 seconds
Play Audio Interval:	Auto

その後、「White」とマークされたナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

ビジターモード

LPR >> Settings

General
Advanced
List Management
Black List Mode
White List Mode
Visitor Mode

Enable Visitor Mode:
☐

Schedule Settings

Sun
Mon
Tue
Wed
Thu
Fri
Sat

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Edit

Alarm Action

Save Into Storage:
☐ File Format: Snapshot (Please mount storage device.)

Upload Via FTP:
☐ File Format: Record

Upload Via Email:
☐ File Format: Snapshot

External Output:
☐ (Please configure the External Output Action Time.)

Alarm to SIP Phone:
☐ (Please open the SIP.)

ステップ1： チェックボックスにチェックを入れてビジターモードを有効にします。

ステップ2： スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックするとスケジュールを描くことができます。

ステップ3： アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4: Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot Type:	License Plate
Snapshot:	1
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	30 seconds
Play Audio Interval:	Auto

その後、「Black」または「White」としてマークされていないナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

4.7.3 スマート検索

リアルタイムの検出結果はスマート検索ページの右側に表示され、検出された時間、ライブスクリーンショット、ナンバープレートなどを含まれています。

ステップ1: プレートタイプを選択するか、ナンバープレート番号を直接入力して、[開始時間]と[終了時間]を選択します。「検索」ボタンをワンクリックすると、関連するナンバープレート情報が以下のように表示されます。

LPR >> Smart Search

Smart Search

Plate Type: All
License Plate:

Start Time: 2020-01-04 00:00:00
End Time: 2020-01-04 11:15:08
Search

Network Camera
2020-01-04 11:13:32

Time: 2020-01-04 11:13:32
License Plate: EV309JQ
Vehicle Speed: -
Detection Region: 1

License Type: Visitor
Direction: Away
Country/Region: -

LPR Logs

☐ All

EV-309-JO

SR-935-P

EV-309-JO

M-LZ5876

1-UEJ-219

2020-01-04 11:13:32

2020-01-04 11:13:31

2020-01-04 11:13:30

2020-01-04 11:13:28

2020-01-04 11:13:25

1-UEJ-219

TB-696-N

SR-935-P

TB-696-N

SR-935-P

2020-01-04 11:13:21

2020-01-04 11:13:18

2020-01-04 11:13:15

2020-01-04 11:13:13

2020-01-04 11:13:09

SR-935-P

M-LZ5876

1-UEJ-219

EV-309-JO

TB-696-N

2020-01-04 11:13:06

2020-01-04 11:13:03

2020-01-04 11:13:01

2020-01-04 11:12:58

2020-01-04 11:12:55

1-UEJ-219

EV-309-JO

M-LZ5876

TB-696-N

1-UEJ-219

2020-01-04 11:12:51

2020-01-04 11:12:48

2020-01-04 11:12:43

2020-01-04 11:12:39

2020-01-04 11:12:35

SR-935-P

TB-696-N

EV-309-JO

M-LZ5876

TB696N

2020-01-04 11:12:33

2020-01-04 11:12:32

2020-01-04 11:12:26

2020-01-04 11:12:21

2020-01-04 10:07:18

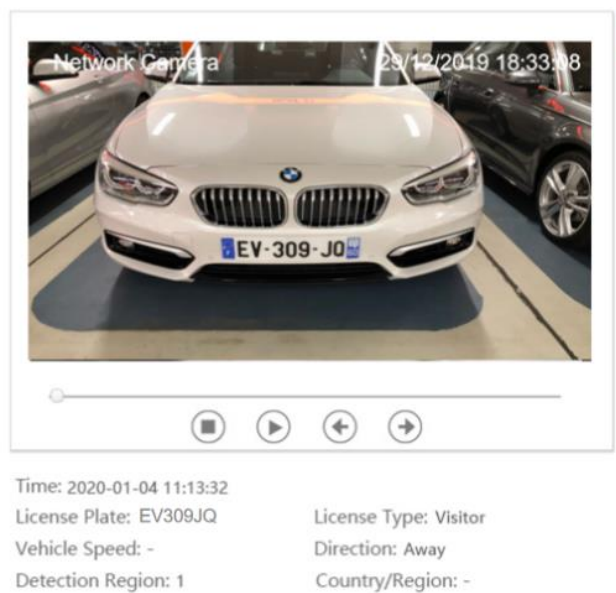
Showing 1 to 25 of 718 entries
First
Previous
Next
Last
Go

Export
Export All
Auto Export

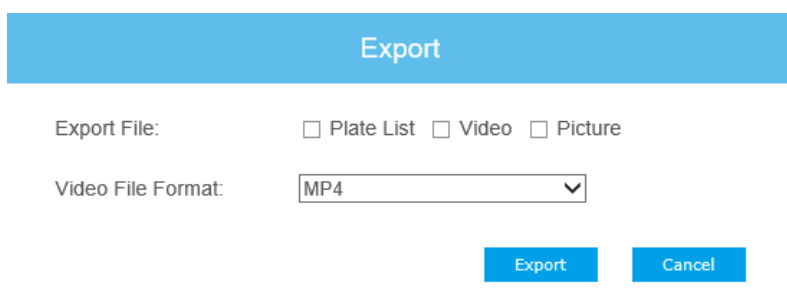
注意:

- (1) 4,000 件のログ表示に対応します。
- (2) ストレージ管理で SD カードまたは NAS が設定されている場合のみ、ログを保存してスマート検索ページに表示できます。

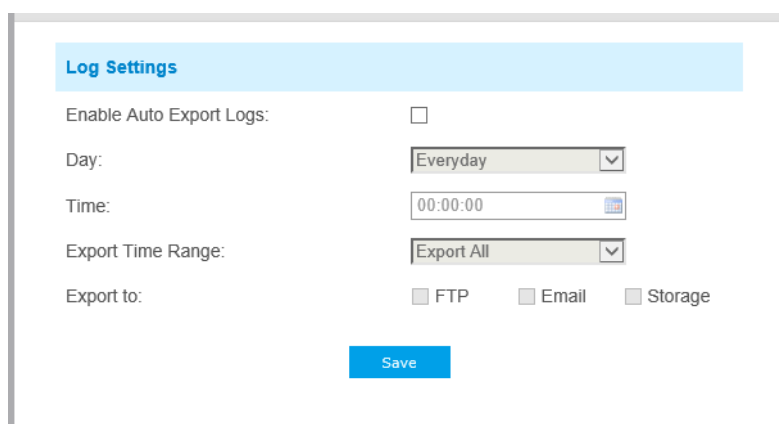
ステップ 2 : LPR ログの下サムネイル写真をクリックすると、以下のようにナンバープレートの詳細が表示されます:



ステップ 3 : 「エクスポート」または「すべてエクスポート」ボタンをクリックして、現在のリスト内の目的のファイルをローカルフォルダーにエクスポートします。



ステップ 4 : 「自動エクスポート」ボタンをクリックして、ログを FTP、E メールまたはストレージに自動的にエクスポートします。



4.8 システム

カメラのハードウェアとソフトウェアに関するすべての情報は、このページで確認できます。

System	
Device Name:	Pro Bullet
Product Model:	NC2964-FPB
Hardware Version:	V1.0
Software Version:	40.7.1.72
MAC Address:	1C:C3:16:21:09:91
Device Information:	SA100EE3F0N
Alarm Input:	1
Alarm Output:	1
Uptime:	21 days 8 hours 14 minutes

表 4-7-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Device Name	デバイス名はカスタマイズできます。ビデオファイルのファイル名で見られます。
Product Model	カメラの製品モデル
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョン
Software Version	カメラのソフトウェアバージョンはアップグレードすることができます。
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス
Device Information	アラーム入出力、クリッパーチップなど、機器の情報
Alarm Input	アラーム入力インターフェースの数
Alarm Output	アラーム出力インターフェースの数
Uptime	最後にデバイスを再起動してからの経過時間

注意：

アラーム入力／アラーム出力は、カメラにアラーム入力／出力インターフェースがある場合にのみ表示されます。

4.9 メンテナンス

4.9.1 システムメンテナンス

System Upgrade	
Software Version:	43.7.0.77
Local Upgrade:	Browse... Upgrade ☐ Reset after Upgrading
Online Upgrade:	Check

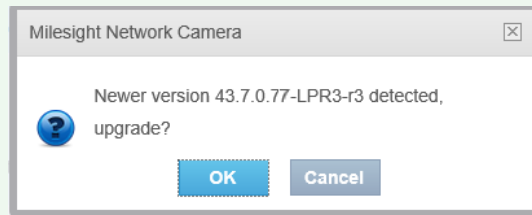
Note: Do not disconnect the power of the device during the upgrade.

Maintenance	
Reset ☒ Keep the IP Configuration ☒ Keep the User Information	Reset
Export Diagnose Information:	Export
Export Config File:	Export
Config File:	Browse...
Import Config File:	Import

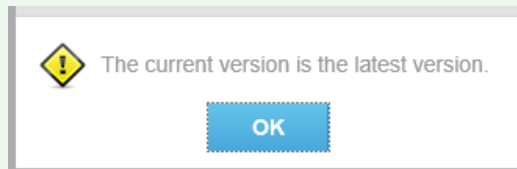
Reboot	
Reboot the Device:	Reboot

表 4-8-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
System Upgrade	Software Version: カメラのソフトウェアバージョン。 Local Upgrade: [参照]ボタンをクリックしてアップグレードファイルを選択し、[アップグレード]ボタンをクリックしてアップグレードします。システムが正常に再起動すると、更新が完了します。 「アップグレード後にリセット」をチェックして、アップグレード後にカメラをリセットできます。 「Reset after Upgrading」をチェックして、アップグレード後にカメラをリセットできます。 Online Upgrade: [確認]ボタンをクリックして、当社の Web サイトで現在の最新のファームウェアバージョンを確認し、[OK]をクリックしてこのバージョンにアップグレードします。



カメラがすでに最新バージョンである場合、「現在のバージョンは最新バージョンです」というメッセージが表示されます。



注意：更新中はデバイスの電源を切らないでください。アップグレードを完了するために、デバイスが再起動されます。

Maintenance

Reset settings：「リセット」ボタンをクリックしてカメラを工場出荷時の状態に戻します。

Keep the IP Configuration：カメラをリセットするときに IP 設定を保持するには、このオプションにチェックを入れます。

Keep the User information：カメラをリセットするときにユーザー情報を保持するには、このオプションにチェックを入れます。

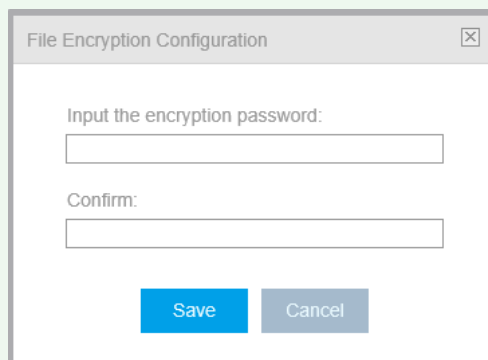
Export Config File：このボタンをクリックして設定ファイルをエクスポートします。

Import Config File：このボタンをクリックして古い設定ファイルをインポートします。

Export Diagnose Information：このボタンをクリックして、デバイスの動作ステータスのログとシステム情報をエクスポートします。

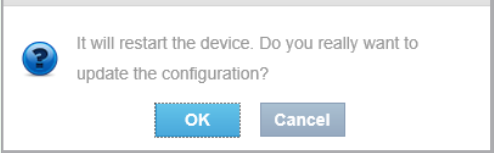
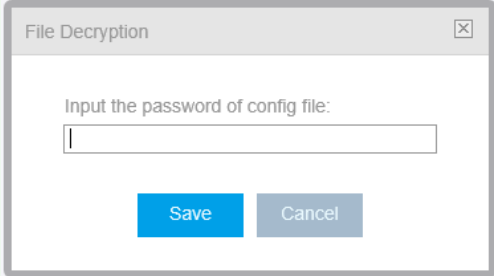
注意：ファイル形式は「.txt」です。

Export Config File：このボタンをクリックすると、次のようなウィンドウがポップアップ表示されます。



パスワードをもう一度入力して確認し、[保存]ボタンをクリックして設定ファイルをエクスポートする必要があります。

Import Config File：このボタンをクリックすると、ウィンドウがポップアップし、[OK]をクリックして設定を更新できます。

	 「設定ファイルのパスワードを入力してください」というプロンプトが表示されたら、パスワードを入力し、[保存]ボタンをクリックして設定ファイルをインポートします。  注意： 同じ設定ファイルをエクスポートおよびインポートします。パスワードは同じである必要があります。
Reboot	すぐにデバイスを再起動するには、「Reboot」ボタンをクリックしてください。

4.9.2 自動再起動

日付と時刻を設定して自動再起動 (Auto Reboot) 機能を有効にします。長時間撮影してカメラが過負荷になった場合、カスタマイズされた時間に従ってカメラは自動的に再起動します。

Auto Reboot Settings	
Enable Auto Reboot:	☐
Day:	Everyday ▼
Time:	00:00:00
Save	